

平成29年度

# 佐倉市立公民館のまとめ

佐倉市立公民館

# 目 次

1. 佐倉市の公民館	1
2. 平成29年度教育目標	2
3. 第2次・佐倉市立公民館活動計画	5
4. 公民館運営審議会	7

## 中央公民館

佐倉地区の概要	1
1. 公民館運営計画	2
2. 公民館利用状況	3
事業報告	4
1. 家庭教育事業	7
3歳児親子あそびうた教室	7
親子で食育講座	
「お父さん歓迎！親子で学ぶ食材選びと調理の仕方～簡単ちらし寿司とイワシの つみれ汁～」	8
2. 青少年教育事業	9
夏休み子どもゼミナール	9
佐倉つ子塾共通講座 夏休み子ども水辺探検ツアー	10
JOSHIBIワークショップ	10
子どもの居場所作り	11
「キアゲハを紙で創（つく）ろう！」	13
通学合宿	14
3. 成人教育事業	15
地域づくり講座	15
パソコンイベント2017～Wordで年賀状を作ろう！～	15
健康増進教室	16
佐倉学講座「印旛沼」カメラで覗いた印旛沼	16
佐倉学講座「佐倉藩堀田家の江戸屋敷～歴史的資料からみた屋敷のすがた～」	
「佐倉・城下町400年新町周辺歴史散策」	17
佐倉学講座「野村胡堂「町人十萬石」」	17
いんば沼公開講座	18
佐倉学講座「古今佐倉真佐子を歩く」	19
4. 高齢者教育事業	20
四年制高齢者大学校「佐倉市民カレッジ」	20
5. コミュニティ事業	46
さくら学び塾（学びあい講座）「郷土の古文書『白井八景』を繙く」	46

6. 団体育成事業	47
佐倉地区子ども会育成会連絡協議会	47
佐倉学体験講座～「佐倉民謡を語るボランティア派遣事業」	
「佐倉こどもかるた普及派遣事業」～	47
グループ懇談会	47
調理室利用グループによる調理室点検	48
7. 広報・展示事業	49
広報事業	49
8. 視聴覚ライブラリー事業	50
親子映画会	50
16ミリ映写機操作講習会	50

## 和田公民館

和田地区の概要	1
1. 公民館運営計画	2
2. 公民館利用状況	3
事業報告	4
1. 家庭教育事業	7
子育て教室	7
楽しく家庭教育講座	8
2. 青少年教育事業	9
和田剣道教室	9
軽スポーツ大会	9
夏休みおもしろ体験教室	9
佐倉っ子塾 料理教室	10
佐倉っ子塾 子ども映画会	10
佐倉っ子塾 伝統文化体験教室	11
3. 成人教育事業	12
佐倉・城下町400年記念事業 北条氏勝ゆかりの地めぐり	12
佐倉・城下町400年記念事業 ワラぞうりづくり	12
佐倉・城下町400年記念事業 ミニぞうりづくり	12
佐倉学体験講座 ふるさとの味工房	13
佐倉学入門講座 楽しく学べる和田地域塾	13
和田地区防災講習会	14
長命大学手芸教室	14
長命大学交流会	14

いきいき生活講座	14
4. コミュニティ事業	15
さくら学び塾『和みの生き方「和道」』～自然・社会・心と体の3つの調和～	15
5. 団体育成事業	16
和田地区青少年育成住民会議	16
和田小学校PTA民俗資料収集委員会	16
和田はたおり保存会	16
6. 広報・展示事業	17
公民館だより	17
歴史民俗資料室展示	17
7. 図書事業	18

### 弥富公民館

弥富地区の概要	1
1. 公民館運営計画	2
2. 公民館利用状況	3
事業報告	4
1. 家庭教育事業	6
親子遊びのつどい	6
家族で遊ぼう	7
2. 青少年教育事業	8
弥富剣道教室	8
星空観察会	8
手作りかご教室	8
佐倉っ子塾 なんでも体験弥富塾	8
3. 成人教育事業	10
春の弥富散策会	10
グラウンドゴルフ大会	10
竹炭づくり体験	10
健康づくり講座 ピラティス教室	10
佐倉・城下町400年記念事業 佐倉学入門講座「北条氏勝ゆかりの地めぐり」	10
佐倉学入門講座「中世の弥富」	11
佐倉学入門講座「弥富の民俗」	11
佐倉学体験講座「くらしの講座」	11
佐倉・城下町400年記念事業 佐倉学専門講座「塩古ざるづくり」	13
4. コミュニティ事業	13

さくら学び塾	
老後破綻を防ぐには～高齢者の現状。 iDeco と NISA、資産運用入門	1 3
5. 団体育成事業	1 4
地域まちづくり協議会 ふるさと弥富を愛する会	1 4
弥富地区青少年育成住民会議	1 4
6. 広報・展示事業	1 4
公民館だより	1 4

## 根郷公民館

根郷地区の概要	1
1. 公民館運営計画	2
2. 公民館利用状況	3
事業報告	4
1. 家庭教育事業	8
親子で遊ぼう ぼっぼちゃんくらぶ	8
子育て応援講座	
イヤイヤ期を上手に乗り切る子育てトレーニング講座	9
親子体験教室	1 0
子育てママのためのヨガ・ストレッチ講座	1 1
2. 青少年教育事業	1 2
通学合宿	1 2
おもしろ科学実験隊	1 3
勾玉作りに挑戦!	1 3
夏休み子ども水彩画教室	1 4
夏休み子ども茶道教室	1 4
夏休み子ども華道教室	1 5
クリスマスコンサート	1 5
佐倉っ子塾 共通講座 「夏休みこども水辺探検ツアー」	1 6
佐倉っ子塾 夏休み社会科見学	1 6
3. 成人教育事業	1 7
根郷寿大学	1 7
生活習慣予防講座 (根郷寿大学市民公開講座)	1 8
防犯、交通安全について (根郷寿大学市民公開講座)	1 8
シニアのためのスマートフォン・タブレット講座	1 8
パソコン広場	1 9
パソコン広場ミニ講座 iPad、iPhone を活用してみよう	1 9

パソコン広場ミニ講座 データの活用保存方法について……………	19
シニア向け健康づくり講座……………	20
50代からの健康づくり講座……………	20
ハンギングバスケット講座……………	21
防災講座……………	21
珈琲学入門講座……………	22
お気に入りの布で御朱印帳づくり！……………	22
終活：これだけ知れば安心終活講座～普通の終活講座では聞けないこと沢山～…	23
佐倉・城下町400年記念 佐倉学講座 郷土の刀と鐺を学ぶ……………	24
佐倉・城下町400年記念 佐倉学講座「佐倉藩と虚無僧」……………	25
佐倉学講座 鞠屋さんから学ぶ発酵の秘密……………	25
佐倉学講座 縄文時代体験講座……………	26
佐倉学講座 江戸時代の灯り 椿油を作ろう！……………	26
佐倉学講座 総武本線《佐倉一銚子間》開業120周年記念事業……………	27
佐倉学講座 根郷ふるさと探訪……………	27
佐倉学講座 中世の古道 下総道を歩く……………	28
佐倉・城下町400年記念 佐倉学講座 伝統の根郷産こんにゃく作り体験……………	29
4. コミュニティ事業……………	30
さくら学び塾	
スマホを持って旅に出ようーデジタル時代の海外旅行を考えるー……………	30
5. 団体育成事業……………	31
根郷地区青少年育成住民会議……………	31
南部地区子ども会育成会連絡協議会……………	31
6. 広報・展示事業……………	32
公民館だより……………	32
7. 図書事業……………	33

## **志津公民館**

志津地区の概要……………	1
1. 公民館運営計画……………	2
2. 公民館利用状況……………	3
事業報告……………	4
1. 家庭教育事業……………	8
お母さんと遊ぼう「ぼっぼちゃんのお家へいこう」……………	8
笑顔で子育て応援講座……………	9
2. 青少年教育事業……………	10

佐倉っ子塾「子どもクッキング教室」	10
佐倉っ子塾「子ども手づくり工房」	10
佐倉っ子塾「子ども自然教室」	11
佐倉っ子塾「子ども理科実験教室」	12
佐倉っ子塾「中高ちょこボラ」中学生・高校生のための公民館職場体験学習	12
3. 成人教育事業	14
しづ市民大学（第28期）	14
佐倉・城下町400年記念事業「佐倉道を歩く」	20
佐倉学入門講座「井野長割遺跡」を学ぶ	20
4. コミュニティ事業	22
さくら学び塾（学びあい講座）	
「病気対策に必要な栄養とは何か？」	22
5. 団体育成事業	23
第44回 志津公民館祭	23
定期利用サークル運営研修会	23
調理室利用サークル懇談会	23
志津地区の子ども会育成活動	24
志津ジュニア・リーダース・クラブ（志津JLC）	24
6. 広報・展示事業	25
志津公民館だより	25

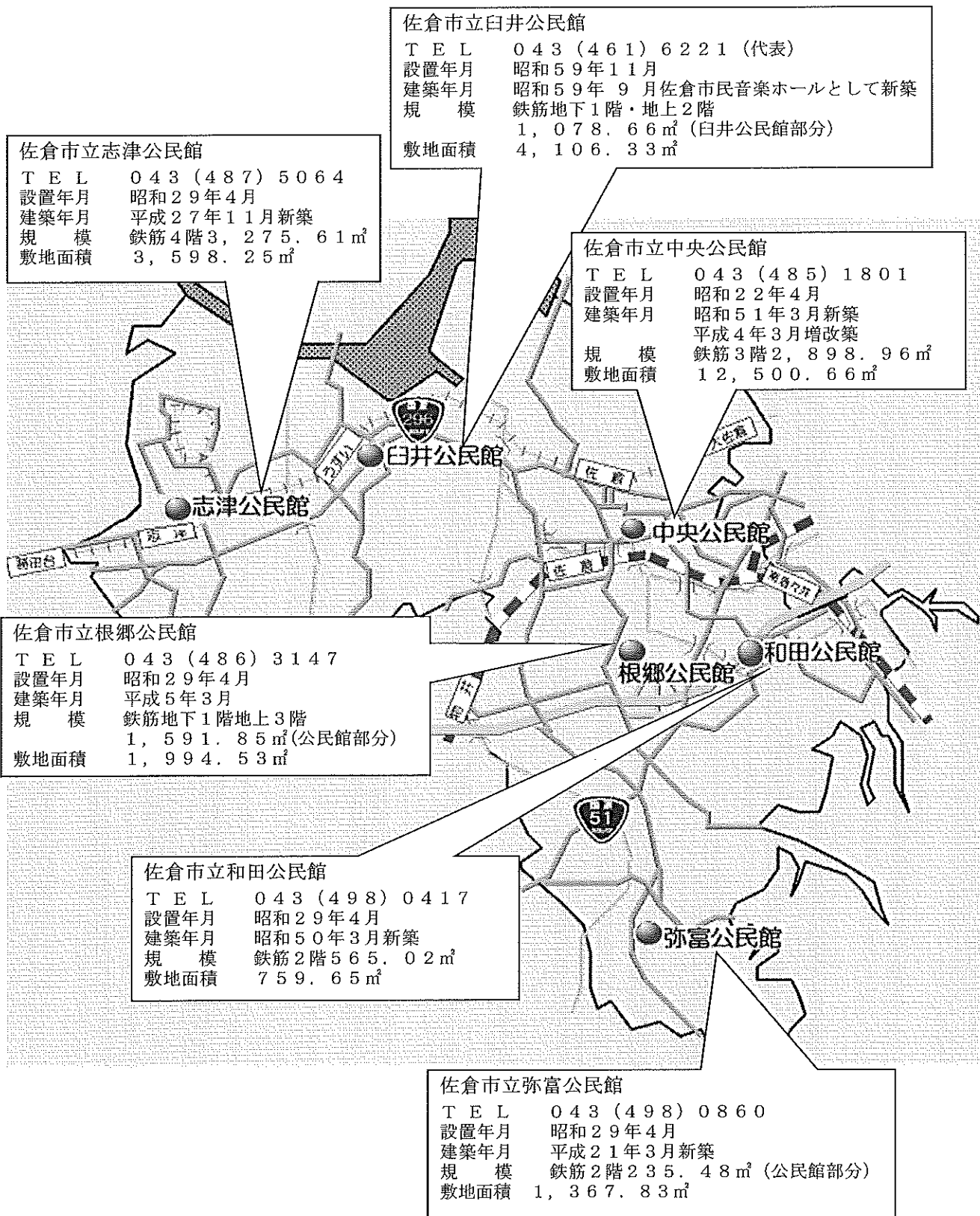
## 白井公民館

白井・千代田地区の概要	1
1. 公民館運営計画	2
2. 公民館利用状況	3
事業報告	4
1. 家庭教育事業	6
おはなし会	6
0歳児半～3歳児親子遊び「絵本のおはなし会 ちびちびクラブ」	6
2. 青少年教育事業	8
バック・ステージ・ツアー	8
佐倉っ子塾共通講座「自然講座」（夏休み こども水辺探検ツアー）	8
佐倉っ子塾共通講座「手作り講座」三角ヘリコプターを飛ばそう	8
星空観察教室	9
佐倉っ子塾共通講座「手作り講座」かんたんかわいいクリスマスリース作り	9
3. 成人教育事業	10

佐倉学専門講座「利根川図志赤松宗旦ゆかりの布川を訪ねて」	10
佐倉学専門講座「映像でたどる臼井・千代田」	10
佐倉学体験講座「ちょっといいところ見て歩き」～臼井の成田道を歩く～	10
4. コミュニティ事業	11
コミュニティカレッジさくら	11
さくら学び塾「裁判員制度と司法について考える」	16
5. 団体育成事業	17
臼井地区子ども会育成会連絡協議会（臼井地区子連）	17
かたりべの会	17
6. 広報・展示事業	18
公民館だより	18
まちづくり資料室の展示	18
展示室の貸し出し	18
7. 図書事業	20



# 1. 佐倉市の公民館



## 2. 平成29年度 教育目標

### 〔基本理念〕

よく学び、自ら考え進んで行動し、生きる喜びを分かち合う、  
心豊かな市民をめざす“佐倉の教育”の実現

### 〔平成29年度施策の特徴及び重点項目〕

平成29年度施策の主な特徴として、「①インクルーシブ教育、少人数指導支援、いじめ防止対策など、より充実した学校教育の推進」、「②各市民大学等の講座や、公民館・図書館等における事業推進による生涯学習・社会教育の振興」、「③歴史文化的資産と佐倉の魅力を活かした文化振興」、「④安心・安全な教育環境を確保するための学校施設の整備」、の4点が挙げられます。

この4点を含め、「佐倉教育ビジョン推進計画」及び以下の項目に基づき、各事業の進捗状況を把握し、着実かつ効果的に成果を上げられるよう、各施策を推進します。

#### (1) 地域の教育力の向上をはかります

- ・地域との連携を深め児童生徒の安全確保に努めるとともに、地域づくりの拠点として学校の活用を進めます。また、地域の声や評価を反映できる学校運営を目指します。
- ・幼稚園の教育環境を充実させるとともに、園児の就園を支援します。
- ・市立幼稚園における預かり保育時間の延長等を実施し、幼児教育の拡充を図ります。
- ・学校運営委員会等の学校・家庭・地域の連携を行う取り組みを推進します。
- ・青少年の健全育成を目的とした地域の活動を充実させます。
- ・学校や地域と連携した家庭教育を充実させます。
- ・人づくり、地域づくりを目指した公民館活動を充実させます。
- ・地域活動の担い手育成を目的としたコミュニティカレッジさくらを運営します。

#### (2) “佐倉の教育”への市民参加の促進をはかります

- ・佐倉の教育への関心を高めるため、「教育懇話会」や「佐倉市教育の日」関連行事を充実させます。

#### (3) 確かな学力の向上をはかります

- ・学習状況調査（国語、算数・数学、理科、英語）を実施し、授業・指導方法の改善に結びつけます。（英語は中学校のみ実施。）
- ・夏季休業中に全小中学校で「好学チャレンジ教室」を開催します。教員や学生・地域ボランティアが好学チャレンジプリント等の教材を活用しながら指導し、基礎・基本の定着を図ります。
- ・外国人英語指導助手<sup>\*1</sup>を全小中学校に派遣し、英語・外国語活動の授業や国際理解教育の一層の充実を図ります。
- ・経済的支援が必要な高校生を対象とした奨学金を支給します。

- ・経済的な理由により就学が困難な小中学生の教育に係る費用を援助します。
- ・理科教育支援員<sup>\*2</sup>を小学校2校に派遣し、理科学習指導や環境整備を支援します。
- ・弥富小学校の複式学級の解消と少人数によるきめ細かな指導を行うため、学校支援補助教員<sup>\*3</sup>を配置します。
- ・少人数指導支援のため、学校支援補助教員<sup>\*3</sup>を配置し、ティームティーチングなど、児童生徒個々への学習支援を充実させます。
- ・教育課題等の調査・研究や指導方法の改善に取り組み、児童生徒の学習意欲を高め、確かな学力の向上や体力を身につけるような取り組みを推進します。
- ・学習指導要領の趣旨を徹底させ、思考力・判断力・表現力を育み、探究・協同型の授業改善のため教職員の研修を充実させます。
- ・教育委員会訪問として、教育委員会が、校（園）長の求めに応じ学校（園）を訪問し、教育委員会のあらゆる機能を活用してもらうことにより、学校経営の改善に取り組みます。

#### （４）豊かな心と丈夫な体の育成をはかります

- ・佐倉の伝統や文化を生かした道徳の授業の充実と体験活動やボランティア活動等をとおり、道徳的実践力を高める教育を推進します。
- ・学校生活や学習活動を行う上で、児童生徒の必要に応じた支援を充実させます。
- ・特別支援教育支援員<sup>\*4</sup>を特別な支援を必要とする幼児児童生徒のいる幼小中学校に配置し、学校生活や学習活動を行う上で、一人ひとりのニーズに応じた支援を充実させます。
- ・インクルーシブ教育推進モデル事業の成果を活かし、言語通級指導教室設置校を中心に支援が必要な児童への効果的な支援体制を継続するとともに、学校支援コーディネーター<sup>\*5</sup>を派遣するなどの取り組みを進めます。
- ・児童生徒や保護者の様々な課題に対応するため、学校教育相談員<sup>\*6</sup>・心の教育相談員<sup>\*7</sup>を配置するとともに、スクールカウンセラー<sup>\*8</sup>や各関係機関等と連携し、各種教育相談体制を充実させます。
- ・「佐倉市いじめ防止基本方針」の策定に基づき、「いじめ対策調査会」、「いじめ問題対策連絡協議会」を設置するとともに、学校支援アドバイザー<sup>\*9</sup>を巡回派遣するなど、いじめ防止のための対策を推進します。
- ・児童生徒の情操を高め豊かな心を育むため、学校図書館司書<sup>\*10</sup>を全小中学校に派遣し、読書活動の推進や読書環境の充実に努めます。
- ・児童生徒の体力の現状を分析し、体力向上推進計画を作成することにより、体力の向上に努めます。
- ・学校プール施設がない学校における水泳指導を、民間との連携により授業に取り組み、小学校学習指導要領での水泳学習のねらいを達成させます。
- ・児童生徒の生活習慣病予防検診事業の継続と、健康教育を充実させます。
- ・学校給食を通じて児童生徒への食育を推進します。
- ・給食室の老朽化に伴う補修工事等の対策を実施します。

#### （５）「佐倉学」の推進をはかります

- ・佐倉学リーフレットを配付し、佐倉学の周知を図ります。
- ・佐倉学副読本や資料の活用により、「佐倉学」を一層充実させます。
- ・佐倉学事業の充実を図ります。

#### **(6) 新たな佐倉の魅力の発見と、芸術文化の普及をはかります**

- ・市の歴史や文化を表象する資産について、各種講座や見学会等を開催し、郷土への関心と愛着を高めます。併せてこれらの資産に関して、ホームページやチラシ等で広く情報発信を行い、佐倉の歴史文化的魅力について市内外に周知します。
- ・旧川崎銀行佐倉支店の改修工事等を行い、文化財の保存・活用を推進します。
- ・佐倉市の貴重な文化財等を紹介するための冊子として、『(仮称)新・佐倉細見』を発行します。
- ・芸術文化に関する様々な展覧会や演奏会等の実施をとおして、市民が芸術文化に親しむ機会を充実させます。また各種芸術文化団体の主体的な活動を支援し、その育成を行います。
- ・大学機関等との連携により、教育・文化の振興と発展、人材育成に資する事業を実施します。また地域の中で芸術文化の役割を探り、連携事業の展開を支援します。

#### **(7) 安心して学べる教育環境の整備をはかります**

- ・東日本大震災を教訓として、防災体制を充実させます。
- ・小中学校施設の安全対策と老朽化対策に取り組み、施設の維持管理に努めます。
- ・小中学校の教材備品を計画的に購入し、教育環境を整備します。
- ・児童生徒が安心して通学ができるように、安全の確保に努めます。
- ・小中学校のパソコン教室における機器を、タブレット端末としても使用できる機種に更新するとともに、コンピュータを活用した情報教育を充実させます。

#### **(8) 様々な場面で市民が学ぶことのできる機会の提供をはかります**

- ・各公民館、図書館等における事業を充実させます。
- ・コミュニティカレッジさくらの活動事業を推進します。
- ・市立美術館において、エスコ事業による空調設備の更新を行います。

## 3. 第2次・佐倉市立公民館活動計画

～魅力ある佐倉の人づくり、地域づくりをめざして～

近年、少子高齢化の進行、科学技術の進歩、高度情報化の進展等に伴い、価値観が多様化し大きな社会変化をもたらしています。また、地縁関係の希薄化、コミュニティの人間関係の希薄化、核家族化の進行など地域をとりまく環境は大変厳しい状況になっております。

これからの公民館は、地域課題を的確にとらえ、地域教育力の向上・地域コミュニティの再生に向けた社会教育事業が求められています。

平成17年の「佐倉市公民館活動計画」策定から5年が経過しました。この間、平成18年に半世紀以上の時を経て教育基本法が改正され、「教育の目標」「生涯学習の理念」「家庭教育」「社会教育」「学校・家庭・地域の連携」が規定されました。この改正に伴い、平成20年には、社会教育行政の体制の整備等を図るため、社会教育法も大きく改正されました。

社会教育に関する教育基本法の主な改正点としては、「個人の要望や社会の要請にこたえる国及び地方公共団体による社会教育の奨励」が規定。さらに、教育の目標の一つに「公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養う」ことが掲げられました。この点は、今後の社会教育行政の在り方を考える上で重要となります。

社会教育法の主な改正点としては、教育委員会の事務に「地域住民等による学習成果を活用した学校等における教育活動の機会の提供」「児童生徒に対し、放課後・休日に学習等の機会の提供」「家庭教育に関する情報の提供」「情報化の進展に対応し、必要な知識・技能に関する学習機会の提供」などが追加されました。また、運営の状況に関する評価等が新設され、「公民館は、運営状況に関する評価及び改善並びに地域住民等に対する情報提供に努めること」が新たに設けられました。また、改正社会教育法の施行に当たって、衆参両院の委員会から特段の配慮をすべき事項についての附帯決議もなされています。

このような状況を踏まえ、「第2次・佐倉市公民館活動計画」では、前計画の「公民館事業の展開」「職員の資質向上」の章に加え、「地域の人材育成」「公民館事業の評価」の二つの章を新設し、まったく新しい仕組みづくりに取り組みます。佐倉市教育ビジョン（23年度から32年度まで）の改定に伴って定められた、基本理念とめざすべき佐倉市民像の具現化をめざした事業展開をしていきます。

### 【教育ビジョンの基本理念】

よく学び、自ら考え進んで行動し、生きる喜びを分かち合う、心豊かな市民をめざす  
“佐倉の教育”の実現

### 【教育ビジョンのめざすべき佐倉市民像】

- (1) 佐倉に誇りと愛着を持つ人
- (2) よく学び、自ら考え進んで行動する人
- (3) 豊かな心と創造力に富む人

また、平成23年度から第4次佐倉市総合計画による施策が展開されることから、総合計画と整合性を図り、社会の変化に対応しながら事業を展開していきます。

## 第1章 公民館事業の展開

1. 前計画での課題等
2. 今後の事業展開

## 第2章 地域人材の育成

1. 敗戦後の地域人材育成
2. 生涯学習時代の地域人材育成
3. バブル崩壊後の地域人材育成
4. 社会教育法改正と地域人材育成
5. 地域人材育成の仕組みを構築

・既存の「市民カレッジ」「しづ市民大学」「寿大学」等と、新たに事業展開する「地域コミュニティ事業」との連携を図り、「興味・関心で集う活動」の担い手と、「居住地域の活動」の担い手を相乗的に生み出していく仕組みを構築していきます。

・社会教育課と全公民館が共同して「地域コミュニティ事業」の展開を図ります。

### 地域コミュニティ事業の構想

・地域の教育力の低下、地域コミュニティの希薄化が進む中、自ら居住する地域に目を向け、生活課題に対して感心を高めるための学習機会を提供し、自ら地域を形成していこうとする気概と行動をおこす、新しい時代の「地域活動の担い手づくり」を図ります。また、地域のたまり場作りのきっかけづくりを支援して、地域の人間関係を醸成します。

- ① コミュニティカレッジ（2年制）
- ② 地域学びあい講座（市民企画講座）
- ③ 地域出前講座

## 第3章 公民館事業の評価

1. 行政評価導入の背景
2. 行政評価とは
3. 公民館と行政評価の現状
4. 社会教育法改正と外部評価導入
5. 佐倉市公民館事業評価の視点と取り組み
6. 佐倉市公民館事業評価の概要図

・佐倉市行政評価を活かして、目的に対する効率性の測定に努めます。  
・共通アンケートや外部評価を活かして、事業成果を中心とした測定に努めます。  
・公民館事業評価をとおして、事業の改善と職員の資質向上に努めます。

## 第4章 職員の資質向上

1. 館長・主事合同の初任者研修
2. 社会教育主事資格の取得
3. 公民館運営審議会委員への事業報告

## 4. 公民館運営審議会

---

---

佐倉市公民館運営審議会委員（平成28年7月1日～平成30年6月30日）

氏名	所属等	備考
中原 章子	千葉県立佐倉南高等学校長	
天本 憲亮	佐倉市立志津中学校長	
沼田 正信	佐倉市立西志津小学校長	～H29.5.16
石川 昭彦	佐倉市立下志津小学校長	H29.5.17～
鷹野 千恵子	佐倉市子ども会育成連盟	
松崎 裕美子	人権擁護委員	
大野 直道	学識経験者	
高梨 直子	学識経験者	
浅井 俊彦	学識経験者	
奥津 友子	学識経験者	
慶田 康郎	学識経験者	
日向 和夫	学識経験者	
村上 勲	公募	
佐藤 光雄	公募	
楠 芳明	公募	
松井 強	公募	

中央公民館



## 佐倉地区の概要

佐倉地区は、京成電鉄軌道の北側の旧内郷村地区と南側の旧城下町地区とに大別される。

内郷地区は、宮前地区で宅地開発が進み、その他の地区は田畑が広がっている。また、印旛沼を北にのぞみ、佐倉草ぶえの丘、市民の森、岩名運動公園などの施設がある。

京成電鉄とJR総武本線、鹿島川にはさまれた旧城下町地区は、未だに城下町当時の面影が所々に残っており、国立歴史民俗博物館、佐倉城跡、武家屋敷、順天堂記念館、平成18年に国の重要文化財（建造物）に指定された旧堀田家住宅及び、庭園を含む一帯は「旧堀田正倫庭園」として平成27年3月に国の名勝に指定されるなど、歴史と文化の環境に恵まれている。平成28年4月には「北総四都市江戸紀行・江戸を感じる北総の町並み」として佐倉市、成田市、香取市、銚子市の四都市が「日本遺産」に認定された。また、城下町の面影を残す台地上に、市役所、裁判所、検察庁そして、佐倉図書館、市民体育館、市立美術館など公共施設が集中しており、商店街も形成している。

中央公民館は、この台地の南側の低地に佐倉保育園と並んで建っている。付近には、平成11年3月に建設された千葉県印旛合同庁舎がある。JR佐倉駅、京成佐倉駅ともに徒歩15～20分、最寄りバス停から5分の場所に位置する。

佐倉地区の人口は平成29年3月末日で、28,933人で昨年に比べ115人の減となっている。

### 佐倉地区のデータ

【平成30年3月末現在】

- 佐倉地区：面積 約20.6 km<sup>2</sup> (佐倉市：面積 103.69 km<sup>2</sup>)
- 佐倉地区：住基人口 28,818人 (佐倉市：住基人口 176,059人)
- 佐倉地区：人口密度 1,398人/km<sup>2</sup> (佐倉市：人口密度 1,697人/km<sup>2</sup>)

# 1. 公民館運営計画

---

## 運営方針

「佐倉教育ビジョン」及び「第2次・佐倉市立公民館活動計画」の基本理念を踏まえ、歴史のまち佐倉の生活・文化の向上と、ふるさと佐倉のまちづくりに携わる市民の連帯意識を高めるため、だれもが学習しやすい公民館、集会活動のよりどころとなる公民館、親睦を深める場となる公民館として生涯学習のねらいを達成すべく、社会教育活動の中心施設としてその役割を果たすことに努める。

## 努力目標

- 利用者に対して、快い適切な対応をするように努める。
- より多くの人に利用してもらうよう施設設備の提供に工夫をすると共に、安全管理に努める。
- 社会状況の変化を踏まえ、次代を見据えた学級・講座の充実に努める。
- 公民館に関係する各種団体との連携を図り、活動の支援に努める。

## 事業内容

### 1. 施設・備品の提供

地域住民各層の利用に応えるため、サービス業務の向上を図る。

#### (1) 施設の提供（団体、グループ単位）

- ① 開館時間 午前9時から午後9時まで。  
ただし、月曜日と祝日並びに夜間利用がない場合は、午後5時まで。
- ② 休館日 第2・第4月曜日、及び年末・年始（12月28日～1月4日）。

#### (2) 備品の提供（団体、グループ単位）

- 館外貸与できるもの  
机、椅子、拡声装置、視聴覚機器、視聴覚教材

### 2. 学級講座

学習機会の拡充と学習内容の充実に努めるため、学級講座の質的向上に努める。  
家庭教育講座、青少年教育講座、成人教育講座、佐倉市民カレッジ等の実施。

### 3. 団体育成事業

公民館利用グループ・サークル活動の育成と支援や、子ども会活動への支援、成人・高齢者グループの地域活動・ボランティア活動の支援を行う。

### 4. 広報事業

公民館の役割や各種文化行事等の情報提供。  
中央公民館だよりの発行、各種館外催物、各種ポスター等の掲示及びパンフレットの配布、公民館の役割や利用の仕方のパンフレット配布。

### 5. 展示事業

ロビー等の効果的活用を図る。  
利用者作品展、各種展示会の開催。

## 2. 公民館利用状況

### 年度別利用状況

区 分	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
利用件数 (件)	6,463	6,611	6,546	6,265	5,930
利用人数 (人)	101,664	115,841	112,173	110,218	103,212
開館日数 (日)	333	333	335	333	333

### 平成 29 年度施設別年間稼働率

施設名称	利用可能回数	利用回数	稼働率
大ホール	1,294	1,091	84.3%
研修室 1	1,294	861	66.5%
プレイルーム	1,294	380	29.4%
研修室 2	1,294	927	71.6%
研修室 3	1,294	900	69.6%
調理室	1,294	514	39.7%
和室	1,294	621	48.0%
会議室	1,294	887	68.4%
アトリエ	1,294	777	60.0%
工芸室	1,294	570	44.0%
学習室 1	1,294	799	61.7%
学習室 2	1,294	773	59.9%
学習室 3	1,294	792	61.1%

領域	事業名	対象	期間・回数	内容	
家庭教育	3歳児親子あそびうた教室	3歳児と保護者 20組	6/6 7組14人 6/13 6組12人 6/19 9組18人 6/27 6組12人 7/3 8組16人 10/3 11組23人 10/13 11組23人 10/17 10組20人 10/24 6組12人 10/31 12組24人	手遊び、音楽(リトミック活動)、体操を通して健やかな体と豊かな感受性、好奇心を育む。また、同年齢の幼児の触れ合い、保護者と幼児との触れ合い、保護者と保護者が交流する場として学習講座を開設した。	
	家庭教育共通講座 「お父さん歓迎！親子で学ぶ食材選びと調理の仕方～簡単ちらし寿司とイワシのつみれ汁～」	小学生と親 10組 ※多数時父親優先	2/17 9組20人	親子での食事作りを通して食材の知識を学び、食材を選ぶ能力を養う。また、父親の家事・育児参加を促すことにより男女平等参画の推進と家庭教育の充実を図るため、父親優先とした。	
青少年教育	夏休み子どもゼミナール	小学5・6年生 15人	7/25 9人 7/26 8人 7/27 9人 7/29 8人	宇宙業界に国内外で携わった経験をもつ宇宙アドバイザーの講師等を招いて、ロケットはなぜ飛ぶのか・人工衛星の役割は・宇宙飛行士になるに・地球から見た星は、をテーマとして実施した。	
	水辺観察会 「夏休み子供水辺探検ツアー」	小学4～6年生 22人	7/31 22人	印旛沼を取り上げ、各会場での水質と水源域に生息する水生生物について、地上と水上(屋形船)で観察した。屋外の観察等、楽しみながら印旛沼の抱えている問題点などについても考えて理解してもらう機会を得た。	
	佐倉市・女子美術大学連携協働事業 「JOSHIBIワークショップ」	小学4～6年生 20人	8/23 23人	女子美術大学教員・学生の指導を受けながら、佐倉に由来のある武士等の家紋を色付け・デザインしてタペストリーを作った。	
	公民館を利用しているサークル・団体が小学生を対象に指導し、日頃の学習の成果を披露した。				
	子ども俳句教室	小学生 15人	7/21 5人 7/27 1人	俳句茜会が指導。俳句のきまりを学んだ後、沢山の句を書き、その一部を色紙に清書し、互いの句について気に入った点などを話し合った。	
	夏休み和太鼓体験教室	小学生 15人	7/23 12人	鼓珀が指導。年齢に合わせた太鼓を用意し、和太鼓の基本から始めて、最後には簡単な合奏が楽しめるまでになった。	
	花とあそぼう・いけばな教室	小学生 15人	7/25 12人 7/26 4人 7/27 2人	佐倉市華道連盟が指導。3回異なる指導者、花材で実施。いけた花を絵に描かせたり、工夫したところや感想を発表させたりした。	
	佐倉こどもかるた	小学生 16人	7/26 9人	佐倉こどもかるた子都手留会(しってるかい)が指導。単なるかるた大会に終わることなく、時折解説を加えて佐倉について学んだ。	
	楽しい日本舞踊	小学生 10人	8/1 11人 8/2 16人 8/3 11人	佐倉華踊会が指導。講師が浴衣や扇などを用意し、日本舞踊の基本、座ってのお辞儀や扇の使い方を童謡に合わせて学んだ。	
	ペットボトルで作ったクワットをとぼそう	小学生 20人	8/3 19人	お～いあそぼうかいが指導。1年生でも無理なく作れるよう材料を用意する一方、個々に工夫できる部分もあった。完成後は公園で実際に飛ばして楽しんでいる様子が見られた。	
	夏休み子供料理教室	小学3～6年生 25人	8/4 23人	よもぎが指導。おのカーピラフ風、ウイナーとキャベツのどろどろ卵のつけ、豆蒸しパンを調理。衛生と安全の大切さについても学んだ。	
	子どもそば打ち体験教室	小学5・6年生 10人	8/7 7人	そば打ち愛好会が指導。粉をこねるところからそばを切るところまで子ども達に体験させ、手作りのつゆで試食した。	
	子どもそば打ち体験教室	小学5・6年生 10人	8/8 4人	C級グルメそば打ち迷人が指導。粉をこねるところからそばを切るところまで子ども達に体験させ、手作りのつゆで試食した。	
たのしい茶道教室	小学生 15人	8/9 12人	松葉会が指導。お抹茶やお菓子の頂き方、和室での立ち居振舞いやお辞儀の仕方などを勉強した。		

領域	事業名	対象	期間・回数	内容
	三角コプターを作るとばそう	小学生 20人	8/ 9 17人	飛ばそう会が指導。あらかじめ用意された骨組みに、子供達が好きな絵を描いた紙を貼り付けて作成し、ゴム動力のプラホウで高く飛ばして楽しんだ。
青少年教育	「絵手紙」を描こう	小学生 10人	8/11 9人 8/25 4人	佐倉城の辺地区社会福祉協議会が絵手紙の指導者を招いて実施。絵手紙を描くだけでなく、子供達が感想を述べ、指導者が良い所を評価した。
	夏休み学習ルーム	小学生から一般市民	計18回 延べ178人 7/27～8/31 利用者 100人	夏休み期間中、学習室1を自主学習の場として提供した。児童・生徒65人、一般35人
	キアゲハを紙で創ろう！	小学4年生以上 20人	8/ 2 17人	模写標本の作製をした。昆虫の生態等を学び、佐倉の自然環境に興味を持ってもらった。
	通学合宿	小学4～6年生 21人	9/18～21 3泊4日 (佐倉東小) 21人	異年齢の子どもたちが親元を離れ、共同生活体験をすることにより、自主性・協調性などを高めた。また、地域の住人との交流も図り、明るい地域づくりの一助とした。 6/30 募集チラシ配布 7/14 募集締切(定員 21人/応募40人) 7/10 カウンセラー説明会 8/22 検討会会議 9/ 4 参加抽選会 9/11 参加者及び保護者説明会  ボランティア協力 千葉県立佐倉高等学校、千葉敬愛短期大学、佐倉市民カレッジ佐倉地区同窓会、公民館利用サークル「ふきのとう」
	地域づくり講座	成人 20人	11/22 1回45人	地域人材による講習会を行ない、地域へのつながりと興味を深めた。
	パソコンイベント2017「Wordで年賀状を作ろう」	成人 各 10人	11/11 午後10人 11/12 午前10人 11/12 午後6人	パソコン等の機器に実際に触れ、操作することによって、どのようなものであるかを体験した。
	健康増進教育講座(佐倉ホワイエ共催事業)	成人 30人	10/21 22人 2/24 20人	介護予防に関する心身の健康に必要な方法や、家庭における健康管理に資する事を学んだ。
成人教育	佐倉学講座「印旛沼」	成人 50人	3/11 1回46人	佐倉の象徴として「印旛沼」を学び、かけがえのない豊かな自然環境を次の世代に伝えていくことの重要性を認識した。
	佐倉学講座「佐倉・城下町400年」	成人 講座 80人 散策 各 20人	9月～3月 講座 3/22 115人 散策 10/25 7人 11/8 8	講座と佐倉地区の史跡散策を行い、土井利勝が佐倉城とその城下町を整備してから約400年の歴史を学んだ。
	佐倉学講座野村胡堂「町人十萬石」	成人 90人	12/24 87人 3/17 118人	佐倉を学ぶ身近な題材として、民話や伝説そして、小説・映画・写真などから郷土への理解を深めると共に、佐倉を学んだ。
	いんば沼公開講座(環境政策課共催事業)	成人 90人	8/ 5 25人 9/ 2 83人 10/ 7 62人 11/ 4 49人 12/ 2 58人	佐倉市の自然環境の象徴である「印旛沼」について学ぶものである。佐倉市の自然と文化を学習し郷土佐倉の創生につなげることを目的にした。
	佐倉学講座「古今佐倉真佐子を歩く」	成人 20人	3/24 18人	古今佐倉真佐子に記された場所を散策し、古くて新しい佐倉についての身近な発見をすることを目的とした。

領域	事業名	対象	期間・回数	内容	
	佐倉市民カレッジ 《であい課程》 第1学年 第2学年 2年間の学習コース 《専攻課程》 第3学年 第4学年 2年間の学習コース (以下の4コース) あったか福祉コース ふるさと歴史コース さわやか情報コース ゆっくり元気コース	第1学年		高齡化社会のなかで、市民が健康で生きがいを持ち、地域と連携をもちながら、住みよいまちづくりを考え、実践をとおした生涯学習の場とするものである。 「であい課程」では、主に一般教養科目を学ぶ。その領域は、健康・家庭・生きがい・経済・佐倉の歴史・環境・市政・福祉・国際理解・仲間づくり等である。 「専攻課程」は、福祉・歴史・情報・元気の4分野に分かれて行う専門別学習コースであり、卒業後の実践活動に役立たせるために、体験学習、話し合い、発表等の学習方法を取り入れている。 公開講座、ミニセミナー等を拡充し、一般への学習機会の提供を図る。 ※平成29年5月13日現在：369人	
		1年1組 47人	5月～2月		
		1年2組 47人	61回		
		第2学年			
		2年1組 43人	5月～2月		
		2年2組 49人	65回		
		第3学年			
福祉 20人	5月～2月	41回			
歴史 27人					
情報 20人					
元気 26人					
第4学年					
福祉 20人	5月～2月	43回			
歴史 25人					
情報 15人					
元気 29人					
コミュニティ事業	さくら学び塾 「郷土の古文書『臼井八景』を繙く」	成人 100人	11/11 68人 12/9 53人 1/13 46人 1/27 54人	臼井八景の文学的魅力を互いに学びあい、文化的価値の素晴らしさを再発見する学習の場とした。	
団体育成	佐倉地区子ども会育成会連絡協議会	加盟子ども会 1団体	12/16 佐倉地区子連クリスマスパーティー 47人	子ども会の育成者を養成し、子ども会同士の交流を図ることを目的としているが、1団体が退会したことにより1団体となった。クリスマスパーティーでは、近隣子ども会にも声掛けを行うことにより、新規加盟団体の増に努めた。	
	中央公民館利用グループ懇談会	利用団体代表者	4/28 163団体	利用者団体の交流を図り、公民館活動のあり方について懇談した。	
	調理室利用者懇談会	定期利用団体	6/29 12団体 12/21 12団体	調理室の効果的利用方法を考えるとともに、懇談を通して利用サークル間の交流を図った。	
	「佐倉民話を語るボランティア派遣事業」、「佐倉こどもかるた普及派遣事業」	幼児・児童・成人	随時	佐倉に伝わる民話を題材とした語りを行うグループ「さくらっ古」と「佐倉こどもかるた子都手留会」を市内小学校等に派遣し、民話や佐倉こどもかるたを通じて郷土愛を育んだ。	
視聴覚ライブラリー事業	視聴覚機器貸出	登録団体	随時	視聴覚ライブラリー所有機材・教材の貸出を行った。映像ソフト98本を貸し出し、延べ5695人が観覧した。また、プロジェクター、スクリーン、音響セット等の機器を延べ198点貸し出した。	
	親子映画会	小学生・幼児と保護者	7/28 340人 12/27 295人 3/27 150人	モンスター・ホテル2 怪盗グルーのミニオン大脱走 スマーフ スマーフエットと秘密の大冒険	
	16ミリ映写機点検事業	16ミリ映写機保有施設	11月～3月 1回	各施設所有の16ミリ映写機を、老朽化に伴う上映使用時のトラブル防止のため、一括して点検を行った。	
	16ミリ映写機操作講習会	社会教育団体・一般 20人	6/17 5人	視聴覚機器の操作を習得する機会を提供し、映像教材の活用を図った。	
広報活動	中央公民館だより	佐倉地区	6/28 1,100部 3/1 410部	6/28 「中央公民館だより じゅにあ」として子供向け教育事業を掲載し、佐倉地区の小学校4校等に配布した。 3/1 「公民館だより」を作成し、公民館の事業紹介や募集、地域の様々な情報を提供した。	
	「なかま」	成人	毎月1回 1,500部	一般市民から広く原稿を募集し、市民による編集委員会により、編集・校正を行った。	
	ホームページ	市民	随時	中央公民館の主催事業等を掲載し、情報を提供した。	

# 1. 家庭教育事業

## 3歳児親子あそびうた教室

①開設趣旨 手遊びと音楽（リトミック）を通して、健やかな体と豊かな感受性、好奇心を育むことを目的とする。また、子どもと保護者、同年齢の子相互、保護者相互の触れ合いや交流をする場として学習講座を開設する。

②募集対象 3歳児とその親 15組

③プログラム

回	月日(曜日)	学習内容	講師
1	6月 6日(火) 10:00～ 11:00	音楽に合わせて準備体操。ピアノに合わせて遊具を使い運動をする。リトミックと手遊び。	山口 佳子 加藤 未来
2	6月13日(火) 10:00～ 11:00	歌と手遊び。読み聞かせ。	山口 佳子 美谷島 克子
3	6月19日(月) 10:00～ 11:00	音楽に合わせて準備体操。ピアノに合わせて遊具を使い運動をする。リトミックと手遊び。	山口 佳子 加藤 未来
4	6月27日(火) 10:00～ 11:00	歌と手遊び。「おおきなかぶ」の劇をみんなで。七夕飾りづくり	山口 佳子 美谷島 克子
5	7月 3日(月) 10:00～ 11:00	音楽に合わせて準備体操。リトミックと手遊び。健康増進課による相談会。	加藤 未来 健康増進課職員

回	月日(曜日)	学習内容	講師
1	10月 3日(火) 10:00～ 11:00	音楽に合わせて準備体操。ピアノに合わせて遊具を使い運動をする。リトミックと手遊び。	山口 佳子 加藤 未来
2	10月13日(金) 10:00～ 11:00	音楽に合わせて準備体操。ピアノに合わせて遊具を使い運動をする。リトミックと手遊び。	山口 佳子 加藤 未来
3	10月17日(火) 10:00～ 11:00	リトミックと手遊び。絵本の読みきかせ。	山口 佳子 美谷島 克子
4	10月24日(火) 10:00～ 11:00	音楽に合わせて準備体操。ピアノに合わせて遊具を使い運動をする。リトミックと手遊び。絵本読みきかせ。	山口 佳子 加藤 未来
5	10月31日(火) 10:00～ 11:00	ハロウィン・パーティー～「魔女の家」を回ってかぼちゃの顔を完成させよう～	美谷島 克子 山口 佳子 加藤 未来

- ④講座を終えて より良い講座にするため何度も講師との打ち合わせを行った。また1つの講座が終わるたびに、復習と反省・次回の講座の打ち合わせを行うことにより改善をはかった。前年度のアンケートによれば、「体操がよかった」という意見も多くあったが、読み聞かせへの高評価もいくつかあった。そこで、両者のバランスをとりつつイベントなどの新しい内容も取り入れることとした。

前半では子どもたちも参加する劇を行い、後半の最終日にはハロウィンパーティーを行い大きなイベントとなった。来年度も、参加者の満足度を高められるように、講師とアイデアを出しあってアンケート結果を踏まえつつ、いいイベントにしていきたい。

### 家庭教育共通講座「お父さん歓迎！親子で学ぶ食材選びと調理の仕方～簡単ちらし寿司とイワシのつみれ汁～」

- ① 開設趣旨 本講座は、佐倉市の食育推進事業と男女共同参画事業のひとつに位置づけられているものである。食材選びから始まり、調理をし、出来上がったものを食べる、この一連の作業を通して、「食」に関心を持っていただきたい。
- ② プログラム

回	月日(曜日)	学習内容	講師
1	2月17日(土) 10:00～ 13:00	食材について知る・食の機能と食文化について学ぶ。親子の交流を深める。	健康増進課職員

- ③講座を終えて 今年度の参加者は9組であった。平成22年度より男女共同参画の観点を取り入れ、対象をお父さんと子どもを優先にして募集した食育講座であったが、今回参加したお父さんは、親子9組中5名であった。当日は、中央公民館調理室での調理実習を行った。皆真面目に栄養士の説明に聞き入り、楽しんで料理を行い、怪我無く講座を終える事が出来た。

講座終了後に行ったアンケートでも、子どもたちからは「ちょっとむずかしかったけど楽しかった」「材料を入れ忘れてたり、少しバタバタした所もあったけど、自分たちで作れてとてもおいしく、楽しかったです」「最初は難しいと思ったけど、簡単にできてよかった」、保護者からは「たのしくやるきマンマンで子どもたちとできました」「とても良い体験ができました。」という意見があった。

アンケート結果からも満足度の高さが伺える。今後も継続していきたい事業である。



## 2. 青少年教育事業

### 夏休みこどもゼミナール

- ①開設趣旨 宇宙業界に長年携わった専門家の方々を講師に招いた。少人数制のゼミ形式の講座を開催することにより、佐倉市の将来を担う子ども達のコミュニケーションづくりの場を提供します。ロケット・人工衛星・宇宙飛行士・天体、の4つに的を絞って「宇宙の4つのナゾ」に関わる講義を行った。
- ②募集対象 小学生5年生～6年生 20人
- ③ プログラム

回	月日(曜日)	学習内容
1	7月25日(火) 10:00～ 11:30	エピソードⅠ ロケットはなぜ飛ぶの?～入浴剤で作る、プチロケット～ 「プチロケット」の手作りロケットを飛ばすことにより、ロケットの構造と飛び方について楽しく学ぶ。
2	7月26日(水) 10:00～ 11:30	エピソードⅡ 人工衛星はどんな役割があるのかな?～宇宙から見る私たちの地球～ ロケットが宇宙へ運ぶもの“人工衛星”について、どんな人工衛星があるのか、その役割などを学ぶ。
3	7月27日(木) 10:00～ 11:30	エピソードⅢ 宇宙飛行士になるにはどうしたらよいの? 宇宙飛行士と宇宙飛行士を支える人々についてご自身の経験を中心に講義いただき、宇宙業界に携わる可能性は誰にでもあるということを身近に感じてもらう。
4	7月29日(土) 19:00～ 20:30	地球から見る星はどうなっているのかな?夜空を眺めてみよう～宇宙と星のお話し～

- ④講座を終えて 昨年度に続いて熱心な生徒が多かった。アンケート結果から伺えるのは、「ロケット製作」にあるような「もの作り」の人気の高いということである。
- 他の講義も多少難しいものもあったが、大方楽しんで学習してもらえたようであった。対象年齢を「おおむね小学5年生以上」としたところ、小学1年生から中学3年生まで幅広い層の参加となった。
- もしも公開講座で番外編ができるならば、大人も対象にした講座を行いたいと考えた。また、最終日は保護者も一緒に星の観察を行う予定であったが、曇天のため残念な結果となった。来年度は予備日を設定するなどして備えたい。
- また、「星の観察」については自然の豊かな他館との共催事業としたり、バス仕立てにつくばにあるJAXA宇宙センターを訪問するツアーを組むなど、受講生の満足度を高められるような講座を今後も目指したい。

### 佐倉っ子塾共通講座 夏休みこども水辺探検ツアー

- ①開設趣旨 自然に親しみ、自然を大切にすることを養うとともに、環境の重要性を認識する機会とする。
- ②募集対象 小学4年生～6年生 22人
- ③プログラム

回	月日(曜日)	学習内容	会場
1	7月31日(月) 9:00～ 16:00	印旛沼や鹿島川に注ぐ水の流れや、生き物について学ぶ。	ふるさと広場 (印旛沼:学習船) 手繰川・畔田沢

- ④講座を終えて 印旛沼をはじめとする市内の水辺環境の重要性について子ども達に理解してもらうことを目的とし、毎年企画・実施している講座。午前は、臼井公民館で紙すきによるハガキの作成を行った後、印旛沼で観光船に乗って沼の観察を行い、午後は手繰川・畔田沢で水の色を観察した。また、それぞれの場所で水生動物(魚類等)を採取・観察した。参加者アンケートの結果「自然はすごく大事」という意見が出るなど、参加者が環境の重要性を認識したことがうかがえ、事業目的を達成できたものと考えている。

### JOSHIBI ワークショップ

- ①開設趣旨 本事業は平成24年4月2日付けで締結された「佐倉市と学校法人女子美術大学との連携協働に関する協定書」に基づき実施する。参加児童は芸術を手段として自分の「考えていること」「感じていること」「伝えたいこと」を表現することを体験し、学生は現場での実践をとおして芸術教育の意義を学ぶことをねらいとする。
- ②募集対象 小学3年生～6年生 20人
- ③プログラム

回	月日(曜日)	学習内容	講師
1	8月23日(水) 13:30～ 16:00	女子美術大学の学生の指導により、佐倉に由来のある武家等の家紋をステンシルシートにし、布にあてて色付け・デザインしてタペストリーを作る。	女子美術大学芸術学部アートプロデュース表現領域3年 (監修:日沼禎子准教授)

- ④講座を終えて 「こうほう佐倉」7月15日号、各公民館と佐倉小、内郷小、佐倉東小、白銀小へのチラシ配布を行った。応募者は25人。当日は23名が出席し、女子美術大学の指導のもと、佐倉に由来のある武家等の家紋をステンシルシートにし、布にあてて色付け・デザインしてタペストリーを作った。

アンケートの結果、参加児童・保護者の満足度は高く、低学年でも取り組みやすく、自由な発想でデザインできることが子どもたちの意欲を高めた様子。また、当日の様子からも見て取れたが、大学生による作成指導。支援は、参加児童や保護者からも好評であり、次回への期待が読み取れる。

## 子どもの居場所作り

### ① 開設趣旨

今日の少子化の流れの中で、子どもたちの社会性とコミュニケーション能力を育むため、地域の様々な人たちとの関わりが大切と言われている。しかし現状は、安全に楽しく遊ぶ場所や機会が失われつつあり、子ども自身の手で「居場所」を作ることが難しい環境となってきた。そうした中で、夏休みの子どもたちの居場所を公民館が提供し、公民館利用グループの学習に子どもたちを参加させることで、各グループの学習の成果を発揮し、子どもたちと地域グループの交流を目指す。

② 募集対象、募集人員 小学生（主に佐倉地区4小学校） 定員延べ256人

③ 開催期間 小学生の夏休み期間 全18回

### ④ 学習プログラム

回	月日(曜日)	学 習 内 容	講 師
1	7月21日(金) 10:00～ 12:00	子ども俳句教室	俳句茜会
2	7月23日(日) 14:00～ 16:00	夏休み和太鼓体験教室	鼓珀
3	7月25日(火) 10:00～ 12:00	花とあそぼう・いけばな教室	佐倉市華道連盟
4	7月26日(水) 10:00～ 12:00	花とあそぼう・いけばな教室	佐倉市華道連盟
5	7月26日(水) 10:00～ 11:30	佐倉こどもかるた	佐倉こどもかるた子都手留会
6	7月27日(木) 10:00～ 12:00	花とあそぼう・いけばな教室	佐倉市華道連盟
7	7月27日(木) 10:00～ 12:00	子ども俳句教室	俳句茜会
8	8月1日(火) 9:30～ 11:30	たのしい日本舞踊	佐倉華踊会

9	8月2日(水) 9:30～ 11:30	たのしい日本舞踊	佐倉華踊会
10	8月3日(木) 9:30～ 11:30	たのしい日本舞踊	佐倉華踊会
11	8月3日(木) 10:00～ 12:00	ペットボトルで作ったロケットをとばそう	お～いあそぼうかい
12	8月4日(金) 9:30～ 12:15	夏休み子ども料理教室	よもぎ
13	8月7日(月) 9:30～ 12:30	子どもそば打ち体験教室	そば打ち愛好会
14	8月8日(火) 9:30～ 12:30	子どもそば打ち体験教室	C級グルメそば打ち迷人
15	8月9日(水) 9:30～ 12:00	たのしい茶道教室	松葉会
16	8月9日(水) 10:00～ 12:00	三角コプターを作るとばそう	飛ばそう会
17	8月11日(金・祝) 9:30～ 12:00	「絵手紙」を描こう	佐倉城の辺地区社会福祉協議会
18	8月25日(金) 9:30～ 12:00	「絵手紙」を描こう	佐倉城の辺地区社会福祉協議会

⑤ 講座を終えて

平成17年度から始めた事業である。公民館利用グループの協力を得て、12団体の公民館利用グループにより実施した。今年度は全体で延べ178名の参加があった。一人で複数の教室に参加した児童もいた。毎年参加してくれる児童もいる。

今日の少子化の流れの中で、地域の住民と関わることにより、子どもたちが地域社会に馴染む機会を作る「子どもの居場所作り」は、とても有意義な事業と言える。また、講師役を務める公民館利用グループにとっても、子どもたちとの交流は新鮮な気持ちで活動することのできる貴重な体験となっている。

6月下旬に夏休み中の中央公民館主催の子ども向け事業を一覧にした「中央公民館だより“じゅにあ”」を佐倉地区4小学校に配布した。応募多数で抽選となる講座がある一方で、応募者の少ない講座もあった。

世代間交流の場として、地域に開かれた公民館の中の子供の居場所として、長く続けていきたい事業のひとつである。

**「キアゲハを紙で創(つく)ろう！」**

①開設趣旨 模写標本の作製をして昆虫の生態等を学び、身近な自然環境に興味を持ってもらう。

②募集対象 小学4年生以上 30人

③プログラム

回	月日(曜日)	学習内容	講師
1	8月2日(水) 9:30~ 12:30	昆虫の特性や構造について学んだ後、キアゲハを紙で作製した。	元千葉敬愛短期大学 学長 堀田 和弘

④講座を終えて この講座は、平成27年度に成人を対象として実施した講座「印旛沼周辺に棲む虫」を子ども向けに再構築したものであり、昆虫の特性や構造について学んだ後、キアゲハを紙で作製するという順序に進めた。受講者は、小学生が10人、成人が7人であったが、年齢を問わず、長時間、集中して作製に取り組んでいた。また、異年齢の受講者間で協力して作製を進めるという場面もあった。

講師が紙で作成する「キアゲハ」は、マスコミにも取り上げられるほど非常に精緻なものであり、「ペーパーインセクト」は講師自身の造語である。昨年度は作成にかなりの時間を要したため、今年度は対象を絞ることなど時間の削減へとつなげることができた。本物と見分けがつかないほど精緻な模写標本を作製することができ、昆虫の生態にも詳しい講師に直接学ぶことのできる機会は貴重であると考えている。また、小学生の集中力を高めるのにいい機会でもある。来年度以降も継続して実施していきたい。

## 通学合宿

- ①開設趣旨 小学校4年生～6年生が自宅を離れて集団生活を行い、生活体験をとおして「お互いの立場や役割を理解し、協力し合う心を育むこと」、「日常生活に必要な生活技能を習得すること」を目的とする。また、地域の方々が子どもの生活体験活動に関わることにより、地域のつながりを深め、地域の教育力のさらなる向上を目指し、併せて親が一定期間、子どもと離れて生活することで、日頃の親子関係を見直し、家庭の教育力の向上を目指す。
- ②募集対象 佐倉東小学校4年生～6年生 21人
- ③プログラム

回	月日(曜日)	スケジュール	会場	ボランティア協力
1	9月18日(月・祝) ～9月21日(木)	開校式・閉校式 献立決め・買物・朝食・夕食(調理、後片付け)・洗濯・入浴・清掃	千葉県立佐倉高等学校セミナーハウス	千葉敬愛短期大学、千葉県立佐倉高等学校、佐倉市民カレッジ佐倉地区同窓会、公民館利用サークル「ふきのとう」

- ④講座を終えて 佐倉東小学校の通学合宿では、児童21人募集のところ31人の応募があったため、抽選を実施し21人で通学合宿を実施した。当事業においては、市民カレッジ佐倉地区同窓会をはじめ、延べ30人のボランティアの方々に参加いただき、登下校の付き添い、夕食の調理補助、英語の特別授業等をサポートしていただいた。

通学合宿期間中は、子ども達が班毎に、約27人分の朝食・夕食の献立決めから、買い物、調理、盛付け片付けまでを行った。また、掃除、洗濯、宿題をしながら普段どおり学校に通うため、4日間大変厳しい過密スケジュールであったが、参加児童へのアンケートでは、回答のあった児童から、全員がまた参加したい。という意見や、「協力することは大事だということ」「家事の大変さ、大切さ」を学んだ、といった意見が寄せられた。保護者のアンケートからは、「家族全員がそろっていることの大切さを改めて感じた」「とても楽しく過ごせた様子がうかがい知れた」「多くの方の協力のもと、貴重な経験ができた」「親としても“子離れの時期”を考えさせられた」など好意的な意見が大半であった。

全体としては、事故・病気もなく、児童・カウンセラー全員が4日間充実した体験活動を行うことができ、参加者全員にとって非常に有意義な時間を過ごせたと感じている。これは、ボランティアの方々の協力のもと、カウンセラーが通学合宿のねらいを十分に理解し、本当によく考え頑張ってくれたことが大きい。また、事前に関心を持ってきた児童がおり、知っている知識についてお互いに教えあい、次に何をするかを考えて行動していた。児童とカウンセラーの関係は非常に良好で、閉講式では別れを惜しむ姿があちこちで見られた。

### 3. 成人教育事業

#### 地域づくり講座

①開設趣旨 地域で健康づくりの活動で活躍している人材を講師として招いて健康体操を実施し、地域住民の健康増進を図り、仲間づくり、地域づくりにつなげる。

②募集対象 成人 40人

③プログラム

回	月日(曜日)	学習内容	講師
1	11月22日(水) 10:00～ 12:00	“自力整体と笑いヨガ”体とこころの元気を目指そう!	秋田 美智子 (自力整体ナビゲーター)

④講座を終えて 日常生活でも実施しやすく健康維持に役立てることが出来、満足度の高い講座であった。日中の講座の参加者は、高齢の方が多く、3、40歳代や50歳代とみられる方の参加があった。また、高齢のご夫婦2組が、初めて参加した、とのことで楽しんでいただけた様子であった。参加者の多さからも、近年の健康に対する関心度が高いことが分かる。

#### パソコンイベント2017～Wordで年賀状を作ろう!～

①開設趣旨 初級者を対象にパソコンに興味を持ってもらう講座を開くとともに、情報分野の裾野を発展させるよう図る。

②募集対象、募集人数 成人 30人(各10人×3回)

③プログラム

回	月日(曜日)	学習内容	講師
1	11月11日(土) 13:00～ 14:50	Wordで年賀状を作ろう!	市民カレッジ情報コース卒業生21期・22期生
2	11月12日(日) 9:40～ 11:30	Wordで年賀状を作ろう!	市民カレッジ情報コース卒業生20期・21期生
3	11月12日(日) 13:00～ 14:50	Wordで年賀状を作ろう!	市民カレッジ情報コース卒業生20期・21期生

④講座を終えて 「Wordで年賀状を作ろう!」講座の内容を10年連続で実施している。昨年度同様、今年度も公民館所有のパソコン(Windows7、Word2010)10台のみを使用することとし、土曜日の午前を準備に充て、土曜日の午後・日曜日の午前・午後の3回で各回10名計30名の定員とした。土曜午後、日曜午前の部は「こうほう佐倉」の告知で早くから定員に達した。ワードで年賀状を作るという需要はまだある

企画・準備の段階から市民カレッジ情報コース卒業生の協力を得ながら進められた。受講者とスタッフがマンツーマンで丁寧に対応し、お孫さんや家族の写真の入った年賀状データを成果物として受講者にはお持ち帰りいただいている。

公民館で教わったことが自宅で活かされているか、また、新たな需要に対応しているかどうか今後の課題である。市民カレッジ情報コース卒業生の社会貢献の場として有意義なイベントと言える。

## 健康増進教室

- ①開設趣旨 高齢者が介護が必要な状態になることをできる限り予防し、自立した自分らしい生活を営むようにするため、地域の諸団体と連携をし、介護予防に関する心身の健康に必要な指導及び助言を行い、家庭における健康管理に資することを目的とする。
- ②募集対象 成人 30人
- ③プログラム

回	月日(曜日)	学習内容	講師
1	10月21日(土) 13:30~ 15:30	講演「栄養は老化防止の鍵」 懇談会「介護が必要になっても元気でいるために」	公益財団法人日産厚生会 介護老人保健施設佐倉ホワイエ
2	2月24日(土) 13:30~ 15:30	講演「年をとっても元気でいるために」 懇談会 全4回を振り返って	公益財団法人日産厚生会 介護老人保健施設佐倉ホワイエ

④講座を終えて 公益財団法人日産厚生会介護老人保健施設佐倉ホワイエとの共催で講座を開設した。昨年度から始まった全4回の講座の中の第3回、第4回にあたり、全4回が終了した。内容については、各回とも前半の講演から参加者に問いかけながら講演を進めたことで活発な意見交換の場となり、場の雰囲気も和み、多くの意見が出された。また後半の懇談会でも、活発に意見、質問が出て、演題に関する理解を深めるとともに、参加者の交流も深まった。

第4回目の懇談会では、第1回「ことばがこころを、こころがからだを動かす」、第2回「穏やかに病と付き合うために」と上記第3回の振り返りを行い、各担当者から、内容の説明もあり、初めて参加した方にも分かりやすく、また、参加しやすい講座となった。

## 佐倉学講座 「印旛沼」カメラで覗いた印旛沼

- ①開設趣旨 印旛沼の文化や自然をテーマに毎年開催している。佐倉・北総の豊かな自然を将来に残すためにはどうしたらいいか、講座を通して学習するものである。今回は、印旛沼を長年撮り続けたアマチュア写真愛好家に印旛沼の魅力を語っていただいた。
- ②募集対象 成人 50人
- ③プログラム

回数	月日(曜日)	学習内容	講師
1	平成30年3月11日(土) 13:30~15:00	印旛沼を長年撮り続けたアマチュア写真愛好家から印旛沼の魅力を学ぶ。	内田儀久氏(アマチュア写真愛好家)

④講座を終えて この講座は、成人を対象とした「佐倉学」の一講座である。印旛沼をこよなく愛する生徒と講師との集中した授業となった。  
講師は「アマチュア専門家」とは思えないほど完成度の高い写真データについてユーモアを交えながら説明していたが、長い時間と工夫を重ねて撮影された労作について、受講者も前傾姿勢で臨んでおり、熱心にメモをとったり講義終盤でも興味深く質疑応答



が行われた。プロと違って気楽にできるアマチュアの優位性などを時折笑顔で受講者も聞いている。このような講座は今後も続けていきたいと考えている。

### 佐倉学講座 「佐倉藩堀田家の江戸屋敷～歴史的資料からみた屋敷のすがた～」 「佐倉・城下町400年新町周辺歴史散策」

① 開設趣旨 これまで注目されてなかった佐倉藩の江戸屋敷（上屋敷・中屋敷・下屋敷）について講師がフィールドワークによって得た知識と豊富な歴史的資料・現地写真などから解説を行う。

② 募集対象 講演・成人 各100人  
散策・成人 各20人

#### ② プログラム

回	月日(曜日)	学習内容	講師
1	3月22日(水) 9:30～ 12:30	講演「佐倉藩堀田家の江戸屋敷～歴史的資料からみた屋敷のすがた～」	酒々井町文化財審議会会長 高橋 健一
2	10月25日(水) 9:30～ 12:30	新町周辺散策 佐倉市立美術館—裏新町—共同井戸—獄舎跡—新町郵便局脇の坂—松林寺—数屋酒店—勝寿寺—教安寺—妙隆寺—肴町—甚大寺—堀田家墓所—おはやし館(指定文化財山車人形)—旧駿河屋(NPO法人佐倉一里塚)—木村屋—吉田家—旧平井家—裏新町—山口家(市登録)—佐倉市立美術館新町周辺散策	NPO法人佐倉一里塚
3	11月8日(水) 9:30～ 12:30	散策経路: 10月25日(木)と同様	NPO法人佐倉一里塚

④ 講座を終えて 平成21年度から、佐倉城とその城下町が整備された時代をテーマとして開催している。これまでこの講座は、「土井利勝」に焦点を絞っていたものである。今年度は江戸にあった佐倉藩の大名屋敷を扱ったが、講師の人気度と内容の斬新さと相まって、大幅に定員を超えて「佐倉城下町400年記念事業」クロージングイベントに相応しい事業となった。来年度も継続してほしいとの声に参加者からも多く寄せられた。

散策は両日ともに天気に恵まれたこと、講演も歴代藩主の細かな史実を学ぶことができたことから、アンケートの結果も好評であった。

今後も継続していきたい事業である。

### 佐倉学講座 野村胡堂「町人十萬石」全2回

① 開設趣旨 本講座は、「佐倉学」を総合的に学ぶ場を提供し、「佐倉学」の普及を図りながら、「人材の育成」と「新しい地域文化の創造」を目指すとともに、郷土愛を育むこと、関心を高めることを目的として実施する。

今年度は、野村胡堂「町人十萬石」をテーマに、第1回目“胡堂と、江戸、そして佐倉へ”そして第2回目“痛快時代小説から見えて来る佐倉”として印旛沼開拓を題材に、佐倉の歴史と郷土への興味関心を深めることをねらいとする。

② 募集対象、募集人数 成人 90人

### ③プログラム

回	月日(曜日)	学習内容	講師
1	12月24日(土) 10:00～ 12:00	野村胡堂「町人十萬石」～胡堂と、江戸、そして佐倉へ～	エッセイスト 高比良 直美
2	3月17日(土) 10:00～ 12:00	野村胡堂「町人十萬石」～痛快時代小説から見えて来る佐倉～	エッセイスト 高比良 直美

④講座を終えて 天明期の印旛沼開発を背景に、江戸と佐倉を舞台にした時代小説「町人十萬石」。また、絶版となり読むことができなかつた「町人十萬石」を、印旛沼開拓50周年と言う節目の年に、当時の新聞の挿絵をふんだんに取り込んだ復刻版が出された。アンケート結果からも「大変満足」が多数を占めており、講座の趣旨にあるような参加者の興味・関心が持たれた様子が伺える。

### いんば沼公開講座

①開設趣旨 本講座は、印旛沼流域内・外の住民を対象として開催するもので、印旛沼及び流域における動植物の生態系や歴史・文化等について深く理解していただき、印旛沼への愛着を深めていただくことを目的としている。

②募集人数 100人

③プログラム

回	月日(曜日)	学習内容	講師
1	8月5日(土) 13:30～ 15:30	「印旛沼流域水循環健全化第2期行動計画」及び「第7期印旛沼に係る湖沼水質保全計画」の概要	鈴木 宏昌(千葉県県土整備部河川環境課) 長谷川 理(千葉県環境生活部水質保全課)
2	9月2日(土) 13:30～ 16:00	印旛沼の歴史(その1) ー利根川東遷事業、江戸期の掘割工事から明治・昭和期の利根川改修工事ー	本橋 敬之助(公益財団法人印旛沼環境基金・上席研究員)
3	10月7日(土) 13:30～ 16:00	いんば沼の歴史(その2) ー大正期の安食水門建設～昭和期の印旛沼開発(干拓)事業ー	本橋 敬之助(公益財団法人印旛沼環境基金・上席研究員)
4	11月4日(土) 13:30～ 16:00	いんば沼の水環境の変遷と水利用	本橋 敬之助(公益財団法人印旛沼環境基金・上席研究員)
5	12月2日(土) 13:30～ 16:00	いんば沼の生きものたち変遷	本橋 敬之助(公益財団法人印旛沼環境基金・上席研究員)

④講座を終えて 公益財団法人印旛沼環境基金が主催し、佐倉市環境政策課と中央公民館が共催する事業であり、平成17年度から継続して開催している。佐倉市民カレッジふるさと歴史コースの前年度卒業生が受付、資料配布、案内等のボランティアとして協力している。印旛沼について、興味と知識を持った参加者が多く集まり、活発な質疑応答が行われるなど、印旛沼の環境改善に対する意識向上に資する事業であったと考える。

### 佐倉学講座 「古今佐倉真佐子を歩く」

①開設趣旨 江戸時代中期、佐倉の領主であった稲葉氏の家臣渡辺善右衛門が記した「古今佐倉真佐子」には、当時の佐倉城とその城下町の様子が描かれている。これまでは佐倉の歴史といえば幕末・明治期が注目されてきたが、「古今佐倉真佐子」に記述された場所を散策し、作者が歩いた佐倉城とその城下町を参加者も実際に歩き、体感する。佐倉・城下町400年記念事業として、1611年に始まったと記録されている佐倉城築城関係の歴史を学ぶことによって、都市としての佐倉市の起源を知り、「歴史のまち佐倉」への愛着を深める。

②募集対象 成人 20人

③プログラム

回	月日(曜日)	学 習 内 容	講 師
1	3月24日(土) 9:00～ 12:00	散策経路：広小路→三の門→二の門→一の門→本丸→台所門→二の丸→椎木門→椎木曲輪→愛宕神社跡→田町門→ゴケ曲輪→杉坂・七曲がり坂下→姥ヶ池(ため池)→体育館前(解散)	特定非営利活動法人まちづくり支援ネットワーク佐倉

④講座を終えて 平成25年度から実施している事業で、今年度で5回目となる。

江戸時代中期、佐倉の領主であった稲葉氏の家臣渡辺善右衛門が記した「古今佐倉真佐子」には、当時の佐倉城とその城下町の様子が描かれている。普段何気なく歩いている佐倉城址公園を、絵図を見ながら、「古今佐倉真佐子」に記されている当時の様子がまざまざと目に浮かぶような解説を聞きながら散策することで、「歴史のまち佐倉」の理解、関心が深まるような、意義深い講座であったと思う。「他の地区の見学会も行いたい」、「また歩きたい」、「講師の説明はとてもよかった」、「お話がとても楽しかった」等のアンケート結果が得られた。

## 4. 高齢者教育事業

---

### 四年制高齢者大学校「佐倉市民カレッジ」

#### 1. 開設までの経緯

中央公民館では、年々増加する高齢者が、社会の変化とともに歩み、自己の能力を伸ばし社会活動へ参加し充実した生き方ができるよう、昭和53年5月に「佐倉市高齢者短期大学校」(以下短大)を開設した。短大が数年経過すると学生の学習意欲が高まり、卒業した学生からさらに学びたいという希望が生まれ、短大6期生より自主的に2年間の学習を行う「生きがい学園」が誕生した。また、短大生たちの中で4年間続けて学ぶことの意義が認識され、短大の学習内容のひとつである「市長への提言」にて「高齢者のための四年制の大学校の設置」という提言がなされた。そして、公民館運営審議会委員、福祉関係有識者、短大卒業生を含めた「高齢者の望ましい姿を考える会」が発足し、四年制大学校の設置の概要と方向性として、地域活動の実践、郷土佐倉を愛する心の育成、40歳以上への学習機会の提供などが示された。

このような経緯を踏まえて、公民館棟に接続して四年制大学校の専用校舎を建設し、「佐倉市民カレッジ」という名称のもと平成4年5月に開設した。初年度は40歳以上60歳未満の20人を含む第1学年100人、短大の卒業生が編入した第3学年96人の2つの学年によりスタートした。そして、平成5年度より新1年生と短大の編入生である新3年生を含めた4学年が揃い、本格的な四年制大学校としての歩みを始めた。

#### 2. 開設の趣旨

佐倉市民カレッジは、高齢化社会(現在は超高齢社会)の中で、市民が健康で生きがいを持ち、地域との連携をもちながら住みよいまちづくりを考え、実践をとおして生涯学習のできる場となるよう開設されている。

また、佐倉市民カレッジ(以下、市民カレッジという。)では高齢者のみならず、高齢準備期である40歳代からの人にも学習の機会を提供し、高齢者と互いに学び、支え合うことを大切なねらいとしている。

#### 3. 入学対象・定員

##### (1) 入学対象者

- ①佐倉市に在住する40歳以上で、4年間継続して通学できる人
- ②積極的に自主学習ができる人
- ③卒業後は地域活動に積極的に参加できる人

##### (2) 定員：100人(年齢別募集・定員を超えた場合は抽選)

※各学年の年齢構成は以下のとおり

60歳以上	80人
60歳以上で過去5年間に入学抽選に2回落選している方	10人
40歳から59歳まで	10人

なお、平成29年度の応募・入学状況は以下のとおりである。

募集学年	募集定員	応募数	入学者数
第1学年	60歳以上 80人	93人	93人
	60歳以上で過去5年間に 入学抽選に2回落選してい る方 10人	0人	0人
	40歳から59歳まで 10人	0人	0人
	計 100人	計 93人	計 93人

※平成29年度の学生数

学 年	クラス コース	入学・進級者		修了・卒業者	
		人 数	小 計	人 数	小 計
第1学年	1 組	47	93	47	93
	2 組	46		46	
第2学年	1 組	47	96	47	95
	2 組	49		48	
第3学年	福 祉	20	93	20	92
	歴 史	27		26	
	情 報	20		20	
	元 気	26		26	
第4学年	福 祉	20	89	20	88
	歴 史	25		25	
	情 報	15		15	
	元 気	29		28	
計			371		368

#### 4. 佐倉市民カレッジの学習内容

##### (1) 「であい課程」の学習

市民カレッジの学習期間は4年間であるが、その前半の2年間は「であい課程」である。主に一般教養として、佐倉の歴史、文化、健康、家庭、生きがい、法律、環境、市政、福祉、経済、等の広い分野を学び、共に学ぶ仲間をつくる。また、「であい課程」では、今までの生活になかった自分とであい、仲間とであい、地域とであう中で、新たな生きがいを見つけることを学習のねらいとしている。

「であい課程」2年間の学習日数は70日程度で、約132単位に及ぶ。その学習形態は講義形式のほか、話し合い、身近な公共施設などについて学ぶ市内めぐり、いくつかのグループに分かれ、テーマを設定してその内容について討議し、代表者が発表するグループ発表、また個人発表、健康運動などの実習などと様々である。このほか、学生が自ら考え、自己責任において行う地域活動の自己申告取得単位制度を設けている。

「であい課程」1年では、「私の生きがい」をどのようなものに求めているか、何が生きがいになっているのか等自分の生きがいについて考え、お互いに発表し合って相互理解を深め、文集「私の生きがい」にまとめる課題がある。

2年の「市政を学ぶ」の学習テーマでは、実際に市政に携わっている市役所の職員等を講師として招き、市民公益活動の推進、基本計画と財政、環境と環境保全、福祉と健康、教育施策「佐倉学」等について学習する。それをもとに、個々に自分の考えるまちづくり構想をもち、各グループに分かれて実践活動を行い、その成果を「まちづくり実践報告会」で発表した。一連の学習の過程で、個々に市政についての理解を深めるのが大きなねらいである。

なお、具体的には、千葉大学大学院准教授による「住民参加のまちづくり」では、付せんを利用して意見集約する手法の体験、千葉地方検察庁事務官による「裁判員制度について」では模擬裁判、佐倉市八街市酒々井町消防組合による「佐倉市の震災対策」では避難訓練等参加型の講義も実施している。

##### (2) 「専攻課程」の学習

3年生からの「専攻課程」では、講義と実践をとおして、卒業後も地域で生き生きと活動ができるようになることを目標として設置している。

また、他コース、他学年の講義を聴く聴講制度、さらに地域活動をすることで単位を取得する自己申告取得単位制度を設け、学生が自主的に学習できる体制を整えている。

「専攻課程」には4つのコースを設けている。学習日数は2年間で40日程度、約80単位に及ぶ。コースの名称は「あったか福祉コース」「ふるさと歴史コース」「さわやか情報コース」「ゆっくり元気コース」である。

##### ①「あったか福祉コース」

社会福祉一般の理論の学習や実習を通して、福祉活動を考え実践できることを主眼としている。3年生では一歩専門的な理論・技術を習得し、現場への実践を交えながら制度への理解を深め、介護を生活に身近な面からとらえ総合的視点で学習する。

4年生では3年時の学習に加え「他を認める」「話を聞く」「話をする」という、人と人の交流の基本を学び経験することは、人が生活し地域社会を構成していく中で必要な「コミュニティ」形成の原点を考え学んでいくことにつながり、市民カレッジ学習の基本である「地域づくり」を根本から学んでいくことにつながると考え、「傾聴」をテーマとした学習にも取り組んでいる。

##### ②「ふるさと歴史コース」

郷土佐倉の歴史、先覚者、歴史的町並みについて学び、郷土佐倉を愛する心を育てていく。その内容は講義形式の授業を受けるだけでなく、自主的にテーマを設定して研

究レポートを作成し、発表する主体的な学習を行っており、さらに、今後の地域活動につながるよう、他コースに佐倉の史跡を案内して教えるという「学び合い学習」を行っている。

現在、卒業生による「歴史ボランティア」グループが結成されており、歴史コースでの史跡散策案内や学習補助をボランティアで行っている。

### ③「さわやか情報コース」

デジタルデバイスと言われる情報格差を埋めると同時に、デジタル技術を使用した情報発信を学ぶことで地域の情報の共有化を進めることを目的として、様々な学習を行っている。

佐倉市の情報施策や、情報化社会一般の現状についての講義を聴くほか、情報を伝達する機器を利用して、自主的に地域活動ができるようになるために、3年生では基礎からのパソコン実習、「市民カレッジ情報紙」の作成。4年生ではパソコンの学習成果を活かしたイベントの企画・実施や、撮影実習を行っている。また、地域活動における名簿作り。会計資料作成に役立つように、表計算ソフトの講義も行っている。また学習日以外の、パソコン自主学習も盛んである。

そのほか、佐倉市の情報ネットワークの拠点である広域高速ネット296スタジオを見学し、高度情報化しつつある地域の現状についての理解を深める学習も行う。

平成24年度から卒業生のボランティアによってウイルスチェック等のパソコンメンテナンスが行われている。

### ④「ゆっくり元気コース」

自分の健康管理を自分で行うために必要な知識の習得を講義・実習をとおして行う。3年生では「歩くこと」を健康づくりの基本と考え、ウォークラリーのコースをカレッジ生が自主的に作成する。作成されたコースが市民カレッジや地域の行事に活用されることにより市民カレッジ生の地域参画が期待される。そのほか、生活習慣病（成人病）に対する理解と予防、地域ぐるみの健康づくりなどについて学ぶ。さらに、リズム体操や太極拳、ヨガなどの実習をとおして、自分に合った健康づくりを発見する。

4年生では、実践活動と今までの主体的な学習の過程や成果を通じて健康の維持と地域活動への導入を図る。また、各種スポーツイベントに参加し、多様な健康づくり、レクリエーション等への理解を深めるとともに事業の企画運営を考察する。そのほか、健康づくりに関する今後の自分たちの活動について話し合う学習も行っている。

「専攻課程」の学習のまとめとして、それぞれのコースで学習したことを他に伝え・教えることで「学び」を一層深めていく時間として「学び合い学習」を行った。

また「学んだことを活かす」というテーマでそれぞれのコース内で個人発表や話し合いを行い、そして、各コースの代表者による意見発表が行われた。

カレッジでの学習成果や、現在自分が行っている地域活動を紹介する中で、今後の自分の高齢者としての生き方について、長年蓄積した豊かな知識と経験から意見を発表する。それをいかに実践していくかが、市民カレッジを卒業してからの課題となる。

## 5. 佐倉市民カレッジの学習の特色

市民カレッジでは、学習の質を高め、より専門的な学習を行っていくために、他の機関・施設の協力を得て学習を展開している。国立歴史民俗博物館、農林水産省、千葉地方検察庁、千葉県警察、千葉県立中央博物館、佐倉市八街市酒々井町消防組合、広域高速ネット296、順天堂大学、女子美術大学、東京情報大学、福祉施設などから講師派遣・実習・見学の協力をいただいている。

また、これらを含めた平成29年度の主な校外学習は、以下のとおりである。

①1年 市内めぐり

6月9日、6月16日にクラス別にそれぞれ実施した。佐倉市・酒々井リサイクル文化センター・和田ふるさと館歴史民俗資料室など市内外の様々な施設を見学してまわった。また、昼食時には川村記念美術館庭園の散策等を行った。リサイクル文化センターではごみの処理について講義を受け、カレッジ生からも活発な質問が多くあった。和田ふるさと館では「はたおり保存会」が開催される「はたおり体験」を行った。体験により貴重な活動内容について見識を深めたと言える。佐倉市について理解を深めることができ、特にこれまで知る機会のなかった地域について理解を深めることができたとの感想がカレッジ生より多く寄せられた。

②専攻課程各コースの校外学習

3 学年	5月24日	歴史	大佐倉歴史散策
	6月 7日	元気	ウォークラリー
	6月 7日	福祉	佐倉ホワイエ見学・体験
	6月28日	情報	東京情報大学見学と講義
	6月28日	歴史	臼井の歴史散策
	9月27日	歴史	佐倉地区(城址公園)の歴史散策
	10月 4日	元気	ウォークラリーコースを作ろう
	9月27日	福祉	国際福祉機器展見学(東京ビッグサイト)
	10月11日	情報	広域高速ネット296スタジオ見学
	10月 6日	歴史	成田山の歴史を学ぶ(散策)
4 学年	11月22日	歴史	志津の歴史散策
	5月23日	歴史	新町の歴史散策
	7月15日	歴史	佐原のまちづくりを学ぶ(散策)
	9月12日	情報	情報発信の現場を見てみよう(読売新聞東京本社/印刷博物館)
	9月19日	4コース合同	草笛の丘で自然観察と陶芸
	12月 5日	福祉	佐倉ホワイエでの体験学習
12月 5日	歴史	国立歴史民俗博物館見学・講義	

6. 平成29年度の主な行事

(1) 始業式・入学式

5月13日(土)、始業式に引き続入学式が行われ、91人の新入生が晴れの日を迎えた。

市民カレッジ総長の蔵和雄市長から「佐倉市民カレッジの建学の精神である『為すことによって学び、学ぶことによりお互いを高めあい、他(た)に尽くす』を常に心掛け、知識と人格が共に備わったカレッジ生として、ご卒業を迎えられた後は、将来にわたり住み続けたいまち『ふるさと佐倉』の創生のため、地域活動のリーダーとしてご活躍いただきますことを心より切に願っております。」との祝辞をいただいた。続いて、在校生を代表して歓迎の言葉があり、これを受けて新入生93人を代表して「入学の言葉」があった。



## (2) 佐倉市民カレッジスポーツフェスティバル

市民体育館を会場に9月29日(金)に、クラスや学年を超えた新たな仲間づくりと健康づくりを目標としてカレッジ生全員により盛大に実施された。

種目は、ユニカール、スプーンレース、綱引き、ダンス、風船割り、玉入れ等があり、実行委員会を中心とした手作り運動会となった。

## (3) 文化祭

11月15日(水)から11月17日(金)にわたりグループ活動や展示活動が行われた。カレッジ生による実行委員会を中心に中央公民館大ホール・カレッジ棟を主な会場として実施された。昨年度に続き、卒業生からもグループ活動発表(パネル展示・研究発表等)への参加があり、多くの方々が交流と親睦を深めることができた。出品作品は、絵画・書道・手工芸・洋裁・和裁・盆栽と多岐の分野にわたり、それぞれに万感の思いが込められた力作揃いであった。

また、実習・見学でご協力いただいている福祉施設入居者の方々にも出品を依頼し、見学と喫茶コーナーにお越しいただいた。地域の方々の満足度を高められるようなカレッジ生による文化祭は今後も意義が大きいと思われる。

最終日の11月18日(土)舞台発表の部では、クラス・コース毎に練習の成果を発表し、楽しく有意義な一時が持たれた。

## (4) 「まちづくり実践報告会」(2年)

2学年は、私たちの考えるまちづくりについて、行動の為の具体策を話し合い「まちづくり実践報告会」を実施した。この学習は、カレッジ生個々の市政に対する学習の取り組みを重視する形を取り、市政の学習を基に自分ならこのようなビジョンを持つと個々に考えをまとめ、その後に課題意識を同じくする仲間グループ(課題部門別)を形成し、各グループ別に調査研究、討議を重ねた内容を実践し、それらの実践活動を、平成30年1月18日(木)に総長を迎えて、1・2年合同の学習形態で、代表者による発表を行った。

発表したグループは、「佐ちゃん・倉くん応援隊25」「寺子屋吉田書店」「佐倉まっぷ作ろう会」「彫刻保険隊25」「わいわい応援隊」「カレッジグラウンドゴルフ25」「さくら竹垣物語25」「佐倉の魅力発見25」の8グループであった。

## (5) 修了式・卒業式

平成30年2月10日(土)に修了式、続いて卒業式を行った。

皆勤者13人を含む佐倉市民カレッジ第23期生88人が、今後の活躍を胸に秘めながら卒業証書を手にした。

蕨総長は「市民カレッジの建学の精神には、「為すことによって学び、学ぶことによりお互いを高めあい、他に尽くす」とございます。これまでの経験を基礎に幅広い分野の学習と地域活動を積み上げてられました卒業生の皆様には、佐倉市のまちづくりの主役としての役割が期待されております。」との言葉を述べた。

## 7. 佐倉市民カレッジ生の課外活動

カレッジ生は自主的に団体を結成し、学習日以外にも積極的に活動している。日頃の学習とは異なり、趣味を深める活動、ボランティア活動及び地域活動など多岐にわたる。卒業生と現役カレッジ生と一緒に活動している団体もあり、その多くは、任意団体であるが、中には特定非営利活動法人もある。

中央公民館では、カレッジ園芸が、異学年や卒業生と交流を深めつつ、公民館周辺の花壇の管理、環境美化をボランティア活動として行っている。四季折々の花が来館者の目を楽しませている。

# 平成29年度 佐倉市民カレッジ 第1学年学習予定表 (1)

学習時間		午前10時～11時50分				午後1時10分～3時	
番号	日・曜日	学習テーマ	学習内容	講師	学習テーマ	学習内容	講師
1	5.13 (土)	カレッジ合同 式典	入学式 (入学式後写真撮影)	総長 館長	カレッジ合同 芸術鑑賞会	オープニング コンサート	千葉県警察音楽隊
2	5.19 (金)	オリエンテー ション	学ぶことの意義 -公民館で学ぶこと・市民カレッジの概要- 自己紹介・役員選出等				館長 社会教育指導員
3	5.26 (金)	地域を知る (1)	各地区の成り立ち 佐倉の歴史概要	文化課	地域活動 (1)	環境美化活動にみるボラ ンティアの楽しさ	カレッジ 卒業生・社会教育指 導員
4	6.2 (金)	健康づくり (1)	ウォークラリー -坂道・小径をたどり城下町佐倉を歩く- ※雨天の場合は座学				社会教育指導員 カレッジ元気 コース4年生
5	6.9 (金)	地域を知る (1)	1組 【バス見学】京成佐倉駅北口 午前9時00集合 午前9時10分出発 午後3時半京成佐倉駅北口解散 ※雨天決行 見学地：酒々井リサイクル文化センター 和田ふるさと館 DIC川村記念美術館庭園 ※バス見学 元社会教育指導員 内田儀久				
		生涯学習の 楽しさ(1)	2組 ホームルーム スポーツフェスティバル・文 化祭に向けて等	中央公民館主幹補 石井肇 社会教育指導員	地域活動(2)	2組 地域活動の実践者 に学ぶ(現地視察)	社会教育指導員
6	6.16 (金)	地域を知る (1)	2組 【バス見学】京成佐倉駅北口 午前9時00分集合 午前9時10分出発 午後3時半京成佐倉駅北口解散 ※雨天決行 見学地：酒々井リサイクル文化センター 和田ふるさと館 DIC川村記念美術館庭園 ※バス見学 元社会教育指導員 内田儀久				
		生涯学習の 楽しさ(1)	1組 ホームルーム スポーツフェスティバル・文 化祭に向けて等	中央公民館主幹補 石井肇 社会教育指導員	地域活動(2)	1組 地域活動の実践者 に学ぶ(現地視察)	社会教育指導員
7	6.23 (金)	自然と環境 (1)	水環境と人間生活	印旛沼環境基金 上席研究員 本橋敬之助	生涯学習の 楽しさ(2)	文化祭に向けて等 話し合い	社会教育指導員
8	6.30 (金)	芸術と文化 (1)	収蔵作品展2	佐倉市立美術館 学芸員	芸術と文化 (2)	房総ゆかりの作家 —波の伊八と葛飾北斎—	筑波大学 名誉教授 齊藤泰嘉
9	7.7 (金)	地域活動(3) わたしの生きが い(1)	1組 午前：私の生きがい(1) 午後：市民協働 自治人権推進課 2組 午前：市民協働 自治人権推進課 午後：私の生きがい(1)				
10	7.14 (金)	健康づくり (2)	食品衛生について —食中毒とアレルギー—	印旛健康福祉センター 上席専門員 黒田順子 技師 中原亜弥	高齢者を取り巻 く犯罪と交通の 知識	振込め詐欺と交通安全	千葉県警察 佐倉警察署
11	7.21 (金)	市政を学ぶ (1)	佐倉市の基本計画と 財政について	企画政策課 財政課	社会福祉 (1)	佐倉市の地域福祉	佐倉市社会福祉 協議会
12	9.1 (金)	私の生きがい (2)	私の生きがい発表				社会教育指導員
13	9.8 (金)	地域を知る (3)	佐倉市の農業	JA千葉みらい 組織指導課 課長 根本晴彦	文学 (1)	郷土の歌人 —香取秀真の 短歌に親しむ—	斉藤茂吉記念館長 秋葉四郎
14	9.15 (金)	健康づくり (2)	楽しみながらできる 健康づくり —理論とカレッジ体操—	順天堂大学名誉教授 武井正子	健康づくり (3)	リズムダンス	社会教育指導員/ 元気コース卒業生
15	9.29 (金)	生涯学習の 楽しさ(3)	【市民カレッジ スポーツフェスティバル】 会場 佐倉市民体育館				社会教育指導員 公民館職員
16	10.6 (金)	世代間交流 (1)	世代間交流に向けて 概要説明・DVD視聴等	社会教育指導員	生涯学習の 楽しさ(4)	文化祭に向けて	社会教育指導員

# 平成29年度 佐倉市民カレッジ 第1学年学習予定表 (2)

学習時間		午前10時～11時50分				午後1時10分～3時		
番号	日・曜日	学習テーマ	学習内容	講師	学習テーマ	学習内容	講師	
17	10.13 (金)	自然と環境 (2)	北総地域の環境から生まれた野菜行商	千葉県教育庁文化財課 主任上席文化財主事 小林裕美	文学 (2)	『白井八景』を語る	東京情報大学名誉教授 松田 喜好	
18	10.20 (金)	自然と環境 (3)	里山の生態	東京情報大学 教授 原 慶太郎	市政を学ぶ (2)	佐倉市の環境保全施策 佐倉市のごみの減量・再 資源化について	生活環境課 廃棄物対策課	
19	10.27 (金)	生涯学習の楽し さ (5)	カレッジ文化祭に向けて 研究・活動発表、作品展示の事前確認・舞台発表の練習				社会教育指導員	
20	11.10 (金)	健康づくり (4)	リズム体操	(財)日本体操協会 一般体操指導員 麻野和子	地域活動 (5)	佐原まちぐるみ博物館に学ぶ	佐原おかみさん会	
21		カレッジ合同 生涯学習の 楽しさ (6)	【市民カレッジ文化祭・研究・活動発表、作品展示など】 11.15 (水)～11.17 (金) 会場 佐倉市立中央公民館 大ホール、学習室3他				社会教育指導員 公民館職員	
22	11.18 (土)	カレッジ合同 生涯学習の 楽しさ (7)	【市民カレッジ文化祭・舞台発表】 会場 佐倉市立中央公民館 大ホール				社会教育指導員 公民館職員	
23	11.24 (金)	世代間交流 (2)	絆を引き継ぐ 世代間交流	東京都健康長寿医療 センター研究所 非常勤研究員 高橋知也	地域を知る (4)	印旛沼と人々の生活 －江戸時代の干拓事業－	元成田高校教諭 鏑木行廣	
24	12.1 (金)	世代間交流 (3)	小学生との交流に 向けて －話し合い－	社会教育指導員	世代間交流 (4)	小学生との交流に 向けて －活動準備－	社会教育指導員	
25	12.8 (金)	世代間交流 (5)	小学生との交流 －市内小学校で体験－	社会教育指導員	世代間交流 (6)	小学生との交流 －振り返り－	社会教育指導員	
26	12.15 (金)	*	*		1・2年合同 公開講演会	今年の国際情勢	敬愛大学 教授 水口 章	
27	1.12 (金)	自然と環境 (4)	水の都・佐倉 －佐倉の豊かな湧水－	元千葉敬愛短期大学学長 堀田和弘	社会福祉 (2)	海外の福祉から見る 日本の福祉	立教大学 前講師 久良木香	
28	1.18 (木)	*	*		1・2年合同 地域活動 (6)	2年生のまちづくり 実践報告を聞く	佐倉市長 藤 和雄	
29	1.19 (金)	地域活動 (7)	3年生のまちづくりに学ぶ				市民カレッジ 3年生	
30	1.26 (金)	文学 (3)	中国思想とことわざ	東金商業高校教諭 山本郁夫	自然と環境 (5)	千葉県の地質環境	茨城大学名誉教授 楡井 久	
31	2.2 (金)	社会福祉 (3)	高齢社会をどう生きるか －少子高齢社会の 日本の課題－	聖徳大学准教授 川口一美	ホームルーム	2年生に向けて	社会教育指導員	
32	2.10 (土)	カレッジ合同 式典	修了式 卒業式	総長 館長		*		

# 平成29年度 佐倉市民カレッジ 第2学年学習予定表(1)

学習時間		午前10時～11時50分			午後1時10分～3時		
番号	日・曜日	学習テーマ	学習内容	講師	学習テーマ	学習内容	講師
1	5.13 (土)	カレッジ合同 式典	始業式 入学式	総長 館長	カレッジ合同 芸術鑑賞会	オープニングコンサート	千葉県警察音楽隊
2	5.18 (木)	ホームルーム	役員選出 写真撮影	社会教育指導員	まちづくり (1)	私たちのまちづくり	社会教育指導員
3	5.25 (木)	まちづくり (2)	私たちのまちづくり	社会教育指導員	まちづくり(3) 地域活動(1)	カレッジ卒業生 まちづくり活動 実践者の発表	印旛沼ネットワークの 会、子都手留会、花と緑 の街づくり22、加賀清水 22期会
4	6.1 (木)	市政を学ぶ (1)	佐倉市の震災対策と 避難訓練	危機管理室、 佐倉市八街市 酒々井町消防組合	地域活動 (2)	住民参加のまちづくり	千葉大学大学院 准教授 森永良丙
5	6.8 (木)	共生社会 (1)	人権について	千葉県人権センター 常務理事 鎌田行平	地域活動 (3)	社会生活と ボランティア活動	神奈川大学 准教授 齊藤ゆか
6	6.15 (木)	まちづくり (4)	私たちのまちづくり	社会教育指導員	まちづくり (5)	私たちのまちづくり	社会教育指導員
7	6.22 (木)	市政を学ぶ (2)	佐倉市の児童・青少年 への取り組みについて	児童青少年課	佐倉の歴史 (1)	旧石器時代・縄文時代 -印旛沼周辺の人々-	印旛郡市 文化財センター 調査課 小倉和重
8	6.29 (木)	市政を学ぶ (3)	地域まちづくり協議会につ いて/ ファシリテーションの取り組み について	自治人権推進課/ 資産管理経営室	市政を学ぶ (4)	佐倉市の文化・ 文化財行政	文化課
9	7.6 (木)	健康づくり (1)	シニア世代の運動療法	順天堂大学 スポーツ健康科学部 助教 門屋悠香	病理と予防 (1)	シニア世代の心理	放送大学 客員准教授 星 薫
10	7.13 (木)	佐倉の歴史 (2)	佐倉城とその城主	文化課	まちづくり (6)	私たちのまちづくり	社会教育指導員
11	7.20 (木)	市政を学ぶ (5)	佐倉市の健康管理の 取り組みについて	健康増進課	市政を学ぶ (6)	佐倉市の景観計画について / 佐倉市の公園緑地について	都市計画課/ 公園緑地課
12	9.7 (木)	福祉	地域福祉とは	元佐倉市福祉部長 川根紀夫	ホームルーム	スポーツフェスティバル に向けて	社会教育指導員
13	9.14 (木)	家庭と法律 (1)	裁判員制度について	千葉地方検察庁	地域活動 (4)	佐倉の住みよさと 住まいの終活	千葉大学名誉教授 服部穹生
14	9.21 (木)	文学 (1)	房総と万葉集	万葉研究家 岡本 好	市政を学ぶ (7)	佐倉市の観光と 佐倉・城下町400年 記念事業	産業振興課
15	9.29 (金)	カレッジ合同 生涯学習の 楽しさ(1)	【市民カレッジ スポーツフェスティバル】 会場 佐倉市民体育館				社会教育指導員 公民館職員
16	10.5 (木)	自然と環境 (1)	河川湖沼の水辺環境と 水質浄化の考え方	千葉工業大学 名誉教授 瀧和夫	病理と予防(2)	メンタルヘルスについて	健康増進課
17	10.12 (木)	まちづくり (7)	私たちのまちづくり	社会教育指導員	ホームルーム	文化祭に向けて	社会教育指導員
18	10.19 (木)	文学 (2)	房総と文学 佐倉の文学風土	元江戸川大学教授 文芸評論家 鳥海宗一郎	まちづくり (8)	私たちのまちづくり	社会教育指導員

# 平成29年度 佐倉市民カレッジ 第2学年学習予定表(2)

学習時間		午前10時～11時50分			午後1時10分～3時		
番号	日・曜日	学習テーマ	学習内容	講師	学習テーマ	学習内容	講師
19	10.26 (木)	自然と環境 (2)	印旛沼周辺の野鳥	日本野鳥の会 浅野俊雄	佐倉の歴史 (3)	佐倉藩主 堀田正睦	元成田高校教諭 鏑木行廣
20	11.2 (木)	家庭と法律 (2)	身近な法律知識 訴訟と人権	弁護士 田村哲雄	民俗	今に生きる講と信仰	千葉県教育庁文化財課 主任上席文化財主事 小林裕美
21	11.9 (木)	佐倉の教育	佐倉学について	佐倉市史編さん委員 内田儀久 社会教育課	健康づくり (2)	ヨガでリフレッシュ 〔実技〕	健康運動指導士 荒谷美枝子
22		カレッジ合同 生涯学習の 楽しさ(2)	【市民カレッジ文化祭・研究発表、学習発表、作品展示など】 11.15(水)～11.17(金) 会場 佐倉市立中央公民館 大ホール、学習室3他			社会教育指導員 公民館職員	
23	11.18 (土)	カレッジ合同 生涯学習の 楽しさ(3)	【市民カレッジ文化祭・舞台発表】 会場 佐倉市立中央公民館 大ホール			社会教育指導員 公民館職員	
24	11.30 (木)	佐倉の歴史 (4)	佐倉の明治維新	元千葉県文書館 川本愉彦	まちづくり (9)	私たちのまちづくり	社会教育指導員
25	12.7 (木)	専攻課程の 学習	専攻課程の学習に 向けて 4年生コース代表説明	社会教育指導員	自然と環境 (3)	身近な自然環境に関する 最近の話題	千葉県立中央博物館 倉西良一
26	12.14 (木)	まちづくり (10)	私たちのまちづくり	社会教育指導員	佐倉の歴史 (5)	紀行文・物語に見る 地域文化	元成田高校教諭 鏑木行廣
27	12.15 (金)	情報社会 (1)	情報とリスク	東京情報大学 名誉教授 成瀬敏郎	1・2年合同公 開講演会	今年の国際情勢	敬愛大学 教授 水口章
28	1.11 (木)	市政を学ぶ (8)	高齢者福祉の取り組みと 認知症	高齢者福祉課	まちづくり (11)	私たちのまちづくり 実践報告に向けて①	社会教育指導員
29	1.18 (木)	まちづくり (12)	私たちのまちづくり 実践報告に向けて②	社会教育指導員	まちづくり (13) (1・2年合同)	私たちのまちづくり 実践報告	佐倉市長 藤 和雄
30	1.25 (木)	佐倉の歴史 (6)	佐倉の鉄道発達史	鉄道史研究家 白土貞夫	共生社会 (2)	メディアにおける 女男平等参画について	東海大学 教授 谷岡理香
31	2.1 (木)	佐倉の歴史 (7)	ポスター・チラシなどか らみた佐倉市のあゆみ	佐倉市史編さん委員 内田儀久	情報社会 (2)	人工知能 ～コンピュータにできることできな いこと～	東京情報大学 准教授 マッキン・ ケネスジェームス
32	2.8 (木)	病理と予防 (3)	シニア世代の かかりやすい病気	佐倉厚生園病院 院長 遠山正博	ホームルーム	3年生に向けて	社会教育指導員
33	2.10 (土)	カレッジ合同 式典	修了式 卒業式	総長 館長		*	

# 平成29年度 佐倉市民カレッジ 第3学年学習予定表

## 専攻課程 あったか福祉コース（1）

学習時間		午前10時～11時50分			午後1時10分～3時		
番号	日・曜日	学習テーマ	学習内容	講師	学習テーマ	学習内容	講師
1	5.13 (土)	カレッジ合同 式典	始業式 入学式	総長 館長	カレッジ合同 芸術鑑賞会	オープニング コンサート	千葉県警察音楽隊
2	5.17 (水)	ホームルーム	役員選出 写真撮影	社会教育指導員	オリエンテーション	コース概要	社会教育指導員 福祉コース卒業生
3	5.31 (水)	福祉サービス (1)	高齢者に多い疾患の基礎 知識と予防・対処方法	佐倉白翠園 看護師長 杉田眞佐子	健康づくり (1)	生活習慣病予防	健康運動指導士 加藤未来
4	6.7 (水)	施設見学・体験 (1)	佐倉ホワイエの見学 及び 車椅子の種類・構造、 介助方法について	佐倉ホワイエ	障害福祉 (1)	障害者(児)福祉制度 の概要とサービス内容	NPO法人 千葉市 視覚障害者協会 副理事長 高梨憲司
5	6.21 (水)	3年福祉・元気 合同講座	救急法を学ぶ	佐倉消防署	施設見学・体験 (2)	千葉県立千葉盲学校 —体験学習—	千葉県立 千葉盲学校
6	7.5 (水)	生活と健康 (1)	高齢期の栄養と食生活のあり方（調理実習）				料理研究家 六崎美知代
7	7.19 (水)	生活と健康 (2)	福祉サービス提供の 基本視点	社会福祉法人 誠友会 理事長 竹内 淳	子育て支援 (1)	子育て支援の 現状と課題	千葉敬愛短期大学 教授 吉村真理子
8	9.6 (水)	福祉サービス (2)	介護保険制度の概要と サービス内容	高齢者福祉課	福祉サービス (3)	地域包括支援センター について	臼井・千代田地域包 括支援センター
9	9.20 (水)	ボランティア活動の 実践に向けて	聴く技術	東京メンタルス チーフカウンセラー 淵上規后子	介護演習 (1)	介護技術の基礎 (1)	佐倉白翠園 介護次長 三浦恵子
10	9.27 (水)	体験学習	国際福祉機器展見学・東京ビッグサイト				社会教育指導員 公民館職員
11	9.29 (金)	カレッジ合同 生涯学習の 楽しさ(1)	【市民カレッジ スポーツフェスティバル】 会場 佐倉市民体育館				社会教育指導員 公民館職員
12	10.18 (水)	4コース合同 講演会(1)	過去の災害から学ぶ 防災対策 -私たちにできること-	日本防災士会 青木 信夫	話し合い学習	国際福祉機器展を 見学して	社会教育指導員

# 平成29年度 佐倉市民カレッジ 第3学年学習予定表

## 専攻課程 あったか福祉コース（2）

学習時間		午前10時～11時50分			午後1時10分～3時		
番号	日・曜日	学習テーマ	学習内容	講師	学習テーマ	学習内容	講師
13	10.25 (水)	施設見学・体験 (3)	特別養護老人ホーム佐倉白翠園の見学 集合 午前9時50分				特別養護老人 ホーム佐倉白翠園
14	11.1 (水)	介護演習 (2)	介護技術の基礎 (2)	佐倉白翠園 介護次長 三浦恵子	ホームルーム	文化祭に向けて	社会教育指導員
15		カレッジ合同 生涯学習の 楽しさ(2)	【市民カレッジ文化祭・研究発表、学習発表、作品展示など】 11.15(水)～11.17(金) 会場 佐倉市立中央公民館 大ホール、学習室3他				社会教育指導員 公民館職員
16	11.18 (土)	カレッジ合同 生涯学習の 楽しさ(3)	【市民カレッジ文化祭・舞台発表】 会場 佐倉市立中央公民館 大ホール				社会教育指導員 公民館職員
17	12.13 (水)	障害福祉 (2)	聴覚障害を理解する	障害福祉課	健康づくり (2)	コーディネーション 運動	(株)ツインリンク茂木 ハローウッズ 小瀧 綾
18	1.17 (水)	子育て支援 (3)	地域で子育て、 みんなで子育て (施設見学・交流、 講座)	佐倉保育園	生活と健康 (3)	噛む喜びと 食べることの意義	歯学博士 鳩貝尚志
19	1.31 (水)	施設見学・体験 (4)	佐倉ホワイエ体験学習 —移乗動作と 歩行介助—	佐倉ホワイエ	生活と健康 (4)	高齢者にやさしい住まい	一級建築士 小杉敬太郎
20	2.7 (水)	4コース合同 総長講話  /ホームルーム	心を写(映)す —書の技と心—  4年生に向けて	総長  社会教育指導員	4コース合同 講演会(2)	伊能忠敬の人間像 —人生を二度生きる—	伊能忠敬研究会 代表理事 鈴木純子
21	2.10 (土)	カレッジ合同 式典	修了式 卒業式	総長 館長		*	

# 平成29年度 佐倉市民カレッジ 第3学年学習予定表

## 専攻課程 ふるさと歴史コース（1）

学習時間		午前10時～11時50分			午後1時10分～3時		
番号	日・曜日	学習テーマ	学習内容	講師	学習テーマ	学習内容	講師
1	5.13 (土)	カレッジ合同 式典	始業式 入学式	総長 館長	カレッジ合同 芸術鑑賞会	オープニング コンサート	千葉県警察音楽隊
2	5.17 (水)	ホームルーム	役員選出 写真撮影	社会教育指導員	リエンテーション	コース概要	社会教育指導員
3	5.24 (水)	歴史散策 (1)	大佐倉の歴史散策 集合 9時25分 京成大佐倉駅改札口外 散策 午後3時現地解散予定			NPO法人まちづくり 支援ネットワーク 佐倉	
4	6.14 (水)	佐倉市の歴史 (1)	国指定史跡 井野長割遺跡について	文化課	佐倉市の歴史 (2)	本佐倉城跡と千葉氏	文化課
5	6.28 (水)	歴史散策 (2)	臼井の歴史散策 集合 9時20分 京成臼井駅北口下 散策 午後3時現地解散予定			佐倉ふるさと談話会 細道恭堂 (カレッジ卒業生)	
6	7.12 (水)	佐倉市の歴史 (3)	上杉謙信と臼井城合戦 —中世後期の佐倉—	市文化財審議委員 県立佐倉東高校教諭 遠山成一	佐倉市の歴史 (4)	本佐倉城跡と臼井城跡 の発掘成果と 東国の戦国時代	国立歴史民俗博物館 名誉教授 小野正敏
7	7.26 (水)	佐倉市の歴史 (5)	佐倉の歴史的建築物	市文化財審議委員、 国立歴史民俗博物館 名誉教授 濱島正士	佐倉市の歴史 (6)	古今佐倉真佐子に ついて	文化課
8	9.13 (水)	佐倉市の歴史 (7)	城下町佐倉の 祭礼文化について	祭礼文化研究家 山瀬一男	郷土の先覚者 (1)	津田 仙 —近代農業のさきがけ—	津田仙の曾孫 津田道夫
9	9.27 (水)	歴史散策 (3)	佐倉地区(城址公園)の歴史散策 集合 9時30分 市民体育館 散策 午後3時解散予定			NPO法人まちづくり 支援ネットワーク 佐倉	
10	9.29 (金)	カレッジ合同 生涯学習の 楽しさ(1)	【市民カレッジ スポーツフェスティバル】 会場 佐倉市民体育館			社会教育指導員 公民館職員	
11	10.6 (金)	日本遺産 町並み散策	【日本遺産北総四都市江戸紀行】成田山の歴史を学ぶ 集合 午前10時10分 JR成田駅改札口外 散策 午後3時現地解散予定			成田市文化財審議委 員会 委員長 小倉博	
12	10.18 (水)	4コース合同 講演会(1)	過去の災害から学ぶ 防災対策 —私たちにできること—	日本防災士会 青木 信夫	郷土の先覚者 (2)	浅井忠と 佐倉ゆかりの芸術家	佐倉市立美術館



# 平成29年度 佐倉市民カレッジ 第3学年学習予定表

## 専攻課程 ふるさと歴史コース（2）

学習時間		午前10時～11時50分			午後1時10分～3時		
番号	日・曜日	学習テーマ	学習内容	講師	学習テーマ	学習内容	講師
13	11.8 (水)	ホームルーム	文化祭に向けて	社会教育指導員	郷土の先覚者 (3)	佐藤泰然と佐倉順天堂	文化課
14		カレッジ合同 生涯学習の 楽しさ(2)	【市民カレッジ文化祭・研究発表、学習発表、作品展示など】 11.15(水)～11.17(金) 会場 佐倉市立中央公民館 大ホール、学習室3他				社会教育指導員 公民館職員
15	11.18 (土)	カレッジ合同 生涯学習の 楽しさ(3)	【市民カレッジ文化祭・舞台発表】 会場 佐倉市立中央公民館 大ホール				社会教育指導員 公民館職員
16	11.22 (水)	歴史散策 (4)	志津の歴史散策 集合 9時45分 ユーカリが丘線中学校駅 散策 午後3時現地解散予定				NPO法人 佐倉一里塚 (カレッジ卒業生)
17	12.6 (水)	佐倉市の歴史 (8)	村方文書から分かること —江戸時代の佐倉—	行政管理課 市史編纂室	佐倉市の歴史 (9)	佐倉牧	市文化財審議委員 京都造形芸術大学 講師 高見澤美紀
18	12.13 (水)	佐倉市の歴史 (10)	堀田正倫と幕末・ 明治の佐倉の人々	文化課	佐倉市の歴史 (11)	佐倉新町の景観	酒々井町 文化財審議会会長 高橋健一
19	1.24 (水)	佐倉市の歴史 (12)	佐倉藩士と沼津兵学校	国立歴史民俗博物館 教授 樋口雄彦	歴史コースの まとめに向けて	私の取り組みたい 研究論文について	市史編さん委員 内田儀久
20	2.7 (水)	4コース合同 総長講話 /ホームルーム	心を写(映)す —書の技と心 /4年生に向けて	総長 社会教育指導員	4コース合同 講演会(2)	伊能忠敬の人間像 —人生を二度生きる—	伊能忠敬研究会 代表理事 鈴木純子
21	2.10 (土)	カレッジ合同 式典	修了式 卒業式	総長 館長		*	

# 平成29年度 佐倉市民カレッジ 第3学年学習予定表

## 専攻課程

## さわやか情報コース（1）

学習時間		午前10時～11時50分			午後1時10分～3時		
番号	日・曜日	学習テーマ	学習内容	講師	学習テーマ	学習内容	講師
1	5.13 (土)	カレッジ合同 式典	始業式 入学式	総長 館長	カレッジ合同 芸術鑑賞会	オープニング コンサート	千葉県警察音楽隊
2	5.17 (水)	ホームルーム	役員選出 写真撮影	社会教育指導員	オリエンテーション	コース概要	社会教育指導員
3	5.24 (水)	課題学習 (1)	カレッジ情報紙を作ろう ① 編集会議	社会教育指導員	地域情報誌 づくり	情報紙の記事と レイアウト	千葉日報 編集局次長・論説委員 安原直樹
4	6.14 (水)	情報伝達の技術 (1)	パソコンに触れてみよう ①	パソコン インストラクター	情報伝達の技術 (2)	パソコンに触れてみよう ②	パソコン インストラクター
5	6.28 (水)	情報化時代の 学習 (1) 施設見学	東京情報大学施設見学と講義 午前10時中央公民館出発 午後3時中央公民館解散予定				東京情報大学
6	7.12 (水)	情報伝達の技術 (3)	ワードを使おう①	カレッジ卒業生 22期情報コース	情報伝達の技術 (4)	ワードを使おう②	カレッジ卒業生 22期情報コース
7	7.26 (水)	情報伝達の技術 (5)	ワードを使おう③	カレッジ卒業生 22期情報コース	情報伝達の技術 (6)	ワードを使おう④	カレッジ卒業生 22期情報コース
8	9.13 (水)	情報化時代の 学習 (2)	インターネット活用術①	パソコン インストラクター 小坂大輔	情報化時代の 学習 (3)	インターネット活用術②	パソコン インストラクター 小坂大輔
9	9.27 (水)	課題学習 (2)	カレッジ情報紙を作ろう ②	社会教育指導員	情報化時代の 学習 (4)	情報化社会と著作権	(一社)コンピュータウェア 著作権協会 専務理事 久保田 裕
10	9.29 (金)	カレッジ合同 生涯学習の 楽しさ (1)	【市民カレッジ スポーツフェスティバル】 会場 佐倉市民体育館				社会教育指導員 公民館職員
11	10.11 (水)	情報化時代の 学習 (5) 施設見学	広域高速ネット296スタジオ見学 講話「地域の情報発信－CATVの可能性－」 スタジオ見学－情報が発信されるまで－ 午前9時45分現地集合 午後3時現地解散予定				広域高速ネット 296
12	10.18 (水)	4コース合同 講演会 (1)	過去の災害から学ぶ 防災対策 －私たちにできること－	日本防災士会 青木 信夫	課題学習 (3)	カレッジ情報紙を作ろう ③	社会教育指導員

# 平成29年度 佐倉市民カレッジ 第3学年学習予定表

## 専攻課程

## さわやか情報コース（2）

学習時間		午前10時～11時50分			午後1時10分～3時		
番号	日・曜日	学習テーマ	学習内容	講師	学習テーマ	学習内容	講師
13	11.8 (水)	ホームルーム	文化祭に向けて	社会教育指導員	課題学習 (4)	カレッジ情報紙を作ろう ④	社会教育指導員
14		カレッジ合同 生涯学習の 楽しさ(2)	【市民カレッジ文化祭・研究発表、学習発表、作品展示など】 11.15(水)～11.17(金) 会場 佐倉市立中央公民館 大ホール、学習室3他				社会教育指導員 公民館職員
15	11.18 (土)	カレッジ合同 生涯学習の 楽しさ(3)	【市民カレッジ文化祭・舞台発表】 会場 佐倉市立中央公民館 大ホール				社会教育指導員 公民館職員
16	11.21 (火)	情報伝達の技術 (7)	タブレットを 体験してみよう	NTTドコモ インストラクター	情報伝達の技術 (8)	ヴィジュアルコミュニ ケーションとデザイン	女子美術大学 短期大学部 教授 佐藤真澄
17	12.22 (金)	情報化時代の 学習(6)	情報社会を考える	東京情報大学 教授 茨木正治	課題学習 (5)	カレッジ情報紙を作ろう ⑤	社会教育指導員
18	1.10 (水)	情報伝達の技術 (9)	パワーポイント①	カレッジ卒業生 22期情報コース	情報伝達の技術 (10)	パワーポイント②	カレッジ卒業生 22期情報コース
19	1.24 (水)	課題学習 (6)	カレッジ情報紙を作ろう ⑥	社会教育指導員	課題学習 (7)	カレッジ情報紙を作ろう ⑦(印刷)	社会教育指導員
20	2.7 (水)	4コース合同 総長講話 /ホームルーム	心を写(映)す 一書の技と心ー 4年生に向けて	総長 社会教育指導員	4コース合同 講演会(2)	伊能忠敬の人間像 ー人生を二度生きるー	伊能忠敬研究会 代表理事 鈴木純子
21	2.10 (土)	カレッジ合同 式典	修了式 卒業式	総長 館長		*	

# 平成29年度 佐倉市民カレッジ 第3学年学習予定表

## 専攻課程 ゆっくり元気コース（1）

学習時間		午前10時～11時50分			午後1時10分～3時		
番号	日・曜日	学習テーマ	学習内容	講師	学習テーマ	学習内容	講師
1	5.13 (土)	カレッジ合同 式典	始業式 入学式	総長 館長	カレッジ合同 芸術鑑賞会	オープニング コンサート	千葉県警察音楽隊
2	5.17 (水)	ホームルーム	役員選出 写真撮影	社会教育指導員	オリエンテーション	コース概要	社会教育指導員
3	5.31 (水)	課題学習 (1)	ウォークラリー コースを作ろう (1)	社会教育指導員	生活と健康 (1)	熱中症予防と水分補給 ～暑さに向かって～	NPOニッポン ランナーズ 萩谷正紀
4	6.7 (水)	健康づくり (1)	ウォークラリーで健康増進 ー初夏の風を受け、森林浴ー 予備日：6/14				社会教育指導員 公民館職員
5	6.21 (水)	3年福祉・元気 合同講座	救急法を学ぶ	佐倉消防署	課題学習 (2)	ウォークラリー コースを作ろう (2)	社会教育指導員
6	7.5 (水)	スポーツと健康	チームワークを考える	順天堂大学 スポーツ健康科学部 准教授 水野基樹	健康づくり (3)	みんなで楽しむ レクリエーション	元社会教育指導員 川口はぎ江
7	7.19 (水)	健康づくり (4)	太極拳 静かな動きを 体験しよう	佐倉太極拳同好会 嶋田桂子 服部陽子	地域活動	総合型地域 スポーツクラブ	NPOニッポン ランナーズ 齊藤太郎
8	9.13 (水)	健康づくり (5) 3・4年 元気コース合同	3・4年元気コース合同 イタリア文化とサッカーを学ぶ				一般社団法人 ゾナカルチョ
9	9.20 (水)	健康づくり (2)	ニュースポーツに チャレンジ	元気コース卒業生	病理と予防 (1)	生活習慣病と健康	日本ウェルネス スポーツ大学 教授 鈴木勝彦
10	9.29 (金)	カレッジ合同 生涯学習の 楽しさ (1)	【市民カレッジ スポーツフェスティバル】 会場 佐倉市民体育館				社会教育指導員 公民館職員
11	10.4 (水)	課題学習 (3)	ウォークラリーコースを作ろう (3) ー自分たちでルート (経路) を歩き、ウォークラリーコースを検証するー				社会教育指導員 公民館職員
12	10.18 (水)	4コース合同 講演会 (1)	過去の災害から学ぶ 防災対策 ー私たちにできることー	日本防災士会 青木 信夫	病理と予防 (2)	高齢期の健康法	順天堂大学 名誉教授 武井正子

# 平成29年度 佐倉市民カレッジ 第3学年学習予定表

## 専攻課程 ゆっくり元気コース（2）

学習時間		午前10時～11時50分			午後1時10分～3時		
番号	日・曜日	学習テーマ	学習内容	講師	学習テーマ	学習内容	講師
13	10.25 (水)	ホームルーム	文化祭に向けて	社会教育指導員	健康づくり (6)	健康体操 からだを動かして リフレッシュしよう	健康運動指導士 加藤未来
14	11.1 (水)	課題学習 (4)	ウォークラリーコースを作ろう(4) —自分たちでルート(経路)を歩き、ウォークラリーコースを検証する—				社会教育指導員 公民館職員
15		カレッジ合同 生涯学習の 楽しさ(2)	【市民カレッジ文化祭・研究発表、学習発表、作品展示など】 11.15(水)～11.17(金) 会場 佐倉市立中央公民館 大ホール、学習室3他				社会教育指導員 公民館職員
16	11.18 (土)	カレッジ合同 生涯学習の 楽しさ(3)	【市民カレッジ文化祭・舞台発表】 会場 佐倉市立中央公民館 大ホール				社会教育指導員 公民館職員
17	12.6 (水)	課題学習 (5)	ウォークラリー コースを作ろう(5)	社会教育指導員	健康づくり (7)	ヨガ ゆったりと リフレッシュしよう	インストラクター 岡本美鈴
18	12.19 (火)	健康づくり (8) 3・4年 元気コース合同	スポーツ健康科学	順天堂大学 スポーツ健康科学部 准教授 柳谷登志雄	健康づくり (9) 3・4年 元気コース合同	ニュースポーツ大会	社会教育指導員
19	1.17 (水)	生活と健康 (2)	私が行っている 健康づくり [個人発表]	社会教育指導員	健康づくり (10)	リズム体操 音楽に合わせて 動いてみよう	財日本体操協会 一般体操指導員 麻野和子
20	2.7 (水)	4コース合同 総長講話 /ホームルーム	心を写(映)す —書の技と心— 4年生に向けて	総長 社会教育指導員	4コース合同 講演会(2)	伊能忠敬の人間像 —人生を二度生きる—	伊能忠敬研究会 代表理事 鈴木純子
21	2.10 (土)	カレッジ合同 式典	修了式 卒業式	総長 館長		*	

# 平成29年度 佐倉市民カレッジ 第4学年学習予定表

## 専攻課程 あったか福祉コース（1）

学習時間		午前10時～11時50分			午後1時10分～3時		
番号	日・曜日	学習テーマ	学習内容	講師	学習テーマ	学習内容	講師
1	5.13 (土)	カレッジ合同 式典	始業式 入学式	総長 館長	カレッジ合同 芸術鑑賞会	オープニング コンサート	千葉県警察音楽隊
2	5.16 (火)	ホームルーム	役員選出 写真撮影	社会教育指導員	課題学習 (1)	学び合い学習に向けて ① 目的を知ろう	社会教育指導員
3	6.6 (火)	自主企画講座 (1)	学生がテーマを決めて 企画し補習学習する① (企画の話し合い)	社会教育指導員	ボランティア活動の 実践に向けて (1)	こころに触れる生かす カウンセリング	東京メンタルヘルス チーフカウンセラー 淵上規后子
4	6.20 (火)	施設見学・体験	木の宮学園の見学及び知的 障害の特性 集合 現地9時30分	木の宮学園施設長 稲阪 稔	課題学習 (2)	学び合い学習に向けて ② コースのテーマを 決めよう	社会教育指導員
5	7.4 (火)	4コース合同 生活と文化	文章作成の技術 卒業記念誌作成に 向けて	エッセイスト 高比良直美	ボランティア活動の 実践に向けて (2)	ボランティア活動への心 構え	佐倉白翠園 デイサービスセンター 所長 朝生明美
6	7.18 (火)	健康づくり (1)	笑いヨガと自力整体	自力整体セラピスト秋 田美智子	課題学習 (3)	学び合い学習に向けて ③ 発表準備をしよう	社会教育指導員
7	7.25 (火)	障害福祉	発達障害を理解する -子どもから大人までの 発達障害-	さくら教育研究所所 長 元千葉大学大学院教 育学研究科教授 小澤美代子	健康づくり (2)	色と心の関係	コミュニティカウンセラー 北村倫子
8	9.5 (火)	ボランティア活動の 実践に向けて (3)	傾聴心得	セルフ《自立》 カウンセリング 研究所 濱田はるみ	自主学习	学生がテーマを決めて 自主的に学習する	社会教育指導員
9	9.19 (火)	4コース合同 体験学習	草ぶえの丘で自然観察と陶芸を楽しむー卒業記念作品の制作ー 集合 午前9時50分 草ぶえの丘 内容 午前 草ぶえの丘で自然観察 午後 陶芸 午後3時現地解散				草ぶえの丘 職員
10	9.26 (火)	自主企画講座 (2)	学生がテーマを決めて 企画し補習学習する② (企画の準備と 役割分担)	社会教育指導員	健康づくり (3)	キラッとステキ☆ ウォーキング	文部科学大臣認定 スポーツプログラマー 高瀬 望
11	9.29 (金)	カレッジ合同 生涯学習の 楽しさ(1)	【市民カレッジ スポーツフェスティバル】 会場 佐倉市民体育館				社会教育指導員 公民館職員
12	10.10 (火)	学び合い学習 (1)	情報コースによる パソコンイベント	社会教育指導員	学び合い学習 (2)	歴史コースによる 佐倉の史跡案内	社会教育指導員

# 平成29年度 佐倉市民カレッジ 第4学年学習予定表

## 専攻課程 あったか福祉コース（2）

学習時間		午前10時～11時50分			午後1時10分～3時		
番号	日・曜日	学習テーマ	学習内容	講師	学習テーマ	学習内容	講師
13	10.24 (火)	学び合い学習 (3)	情報コースを招待して	社会教育指導員	学び合い学習 (4)	歴史コースを招待して	社会教育指導員
14	11.7 (火)	学び合い学習 (5)	元気コースを招待して	社会教育指導員	学び合い学習 (6)	元気コースによる 健康づくり	社会教育指導員
15		カレッジ合同 生涯学習の 楽しさ(2)	【市民カレッジ文化祭・研究発表、学習発表、作品展示など】 11.15(水)～11.17(金) 会場 佐倉市立中央公民館 大ホール、学習室3他				社会教育指導員 公民館職員
16	11.18 (土)	カレッジ合同 生涯学習の 楽しさ(3)	【市民カレッジ文化祭・舞台発表】 会場 佐倉市立中央公民館 大ホール				社会教育指導員 公民館職員
17	12.5 (火)	ボランティア活動の 実践に向けて (4)	佐倉ホワイエでの傾聴	佐倉ホワイエ	健康づくり (4)	元気なうちから始める介 護予防	高齢者福祉課 岩本絵己
18	12.19 (火)	自主企画講座 (3)	学生がテーマを決めて 企画し補習学習する③	社会教育指導員	ボランティア活動の 実践に向けて (5)	日本の高齢者、 ちょっと外から見れば —日本の高齢者と ボランティア—	立教大学 前講師 久良木 香
19	1.9 (火)	学習のまとめ	福祉活動の実践に 向けて —発表リハーサル—	社会教育指導員	ホームルーム	卒業に向けて	社会教育指導員
20	1.23 (火)	4コース合同 学ぶことの 意義	学んだことを活かす —各コース代表発表—	社会教育指導員	4コース合同 総長講話	佐倉の歴史から見た 人づくり	総長
21	2.6 (火)	4コース合同 講演会	新たな出発	佐倉市 社会福祉協議会 会長 左奈田雄一	4コース合同 式典予行	卒業式練習	社会教育指導員
22	2.10 (土)	カレッジ合同 式典	卒業式	総長 館長		*	

# 平成29年度 佐倉市民カレッジ 第4学年学習予定表

## 専攻課程 ふるさと歴史コース（1）

学習時間		午前10時～11時50分			午後1時10分～3時		
番号	日・曜日	学習テーマ	学習内容	講師	学習テーマ	学習内容	講師
1	5.13 (土)	カレッジ合同 式典	始業式 入学式	総長 館長	カレッジ合同 芸術鑑賞会	オープニング コンサート	千葉県警察音楽隊
2	5.16 (火)	ホームルーム	役員選出 写真撮影 コース概要	社会教育指導員	課題学習 (1)	学び合い学習に向けて ①	社会教育指導員
3	5.23 (火)	日本遺産 町並み散策 (1)	【日本遺産北総四都市江戸紀行】新町の歴史散策 10時00分 中央公民館出発 散策 午後3時現地解散予定				酒々井町文化財審議 会会長 高橋健一
4	6.13 (火)	自主企画講座 (1)・ 自主学習	学生がテーマを決めて 企画し補習学習するた めの話し合い 及び自主学習に向けて	社会教育指導員	佐倉市の歴史 (1)	佐倉道のあらまし	八千代市郷土 歴史研究会 村田一男
5	6.27 (火)	佐倉市の歴史 (2)	佐倉炭	千葉市立郷土博物館 市史編さん担当 土屋雅人	佐倉市の歴史 (3)	海を渡った佐倉人 －幕末・明治の 異文化体験－	市史編さん委員 内田儀久
6	7.4 (火)	4コース合同 生活と文化	文章作成の技術 卒業記念誌作成に 向けて	エッセイスト 高比良直美	課題学習 (2)	学び合い学習に向けて ②	社会教育指導員
7	7.15 (土)	日本遺産 町並み散策 (2)	【日本遺産北総四都市江戸紀行】「佐原のまちづくりを学ぶ」(散策) 集合 午前9時25分 JR成田駅改札口の中 成田駅→佐原駅下車 散策 午後3時 現地解散予定				NPO法人 小野川と 佐原の町並みを考え る会 副理事長 吉田昌司
8	7.25 (火)	佐倉市の歴史 (4)	堀田家農事試験場につ いて	東洋大学 教授 大豆生田 稔	佐倉市の歴史 (5)	佐倉を通り過ぎた 外国人 -明治の佐倉見聞-	市史編さん委員 内田儀久
9	9.12 (火)	課題学習 (3)	学び合い学習に向け て ③	社会教育指導員	佐倉市の歴史 (6)	佐倉連隊と 戦時下の佐倉	神奈川大学大学院 歴史民俗資料学研究科 特任教授 安田常雄
10	9.19 (火)	4コース合同 体験学習	草ぶえの丘で自然観察と陶芸を楽しむ－卒業記念作品の制作－ 集合 午前9時50分 草ぶえの丘 内容 午前 草ぶえの丘で自然観察 午後 陶芸 午後3時現地解散				草ぶえの丘 職員
11	9.29 (金)	カレッジ合同 生涯学習の 楽しさ(1)	【市民カレッジ スポーツフェスティバル】 会場 佐倉市民体育館				社会教育指導員 公民館職員
12	10.10 (火)	学び合い学習 (1)	元気コースを招待して 佐倉の史跡案内	社会教育指導員	学び合い学習 (2)	福祉コースを招待して 佐倉の史跡案内	社会教育指導員



# 平成29年度 佐倉市民カレッジ 第4学年学習予定表

## 専攻課程 ふるさと歴史コース（2）

学習時間		午前10時～11時50分			午後1時10分～3時		
番号	日・曜日	学習テーマ	学習内容	講師	学習テーマ	学習内容	講師
13	10.24 (火)	学び合い学習 (3)	元気コースによる 健康づくり	社会教育指導員	学び合い学習 (4)	福祉コースによる 家庭介護実習	社会教育指導員
14	11.7 (火)	学び合い学習 (5)	情報コースを招待して 佐倉の史跡案内	社会教育指導員	学び合い学習 (6)	情報コースによる パソコンイベント	社会教育指導員
15		カレッジ合同 生涯学習の 楽しさ(2)	【市民カレッジ文化祭・研究発表、学習発表、作品展示など】 11.15(水)～11.17(金) 会場 佐倉市立中央公民館 大ホール、学習室3他				社会教育指導員 公民館職員
16	11.18 (土)	カレッジ合同 生涯学習の 楽しさ(3)	【市民カレッジ文化祭・舞台発表】 会場 佐倉市立中央公民館 大ホール				社会教育指導員 公民館職員
17	11.28 (火)	自主企画講座 (2)	学生がテーマを決めて 企画し補習学習する②	社会教育指導員	自主学習	学生がテーマを決めて 自主的に学習する	社会教育指導員
18	12.5 (火)	地域活動	これからの博物館で必要なこと・歴博を楽しむ 〔国立歴史民俗博物館を見学〕 集合 9時40分 国立歴史民俗博物館玄関外 15時現地解散予定				国立歴史民俗博物館 館長 久留島 浩
19	1.9 (火)	学習のまとめ	研究論文の発表	社会教育指導員	ホームルーム	卒業に向けて	社会教育指導員
20	1.23 (火)	4コース合同 学ぶことの 意義	学んだことを活かす ー各コース代表発表ー	社会教育指導員	4コース合同 総長講話	佐倉の歴史から見た 人づくり	総長
21	2.6 (火)	4コース合同 講演会	新たな出発	佐倉市 社会福祉協議会 会長 左奈田雄一	4コース合同 式典予行	卒業式練習	社会教育指導員
22	2.10 (土)	カレッジ合同 式典	卒業式	総長 館長		*	

# 平成29年度 佐倉市民カレッジ 第4学年学習予定表

## 専攻課程

## さわやか情報コース（1）

学習時間		午前10時～11時50分			午後1時10分～3時		
番号	日・曜日	学習テーマ	学習内容	講師	学習テーマ	学習内容	講師
1	5.13 (土)	カレッジ合同 式典	始業式 入学式	総長 館長	カレッジ合同 芸術鑑賞会	オープニング コンサート	千葉県警察音楽隊
2	5.16 (火)	ホームルーム	役員選出 写真撮影	社会教育指導員	課題学習 (1)	学び合い学習に向けて ①	社会教育指導員
3	5.23 (火)	情報伝達の技術 (1)	ワード	カレッジ卒業生 22期情報コース	情報化時代の 学習 (1)	映像作品ができるまで	広域高速ネット 296放送制作部 係長 平川裕
4	6.13 (火)	情報伝達の技術 (2)	エクセルにチャレンジ ①	カレッジ卒業生 22期情報コース	情報伝達の技術 (3)	エクセルにチャレンジ ②	カレッジ卒業生 22期情報コース
5	6.27 (火)	情報伝達の技術 (4)	エクセルにチャレンジ ③	カレッジ卒業生 22期情報コース	情報伝達の技術 (5)	エクセルにチャレンジ ④	カレッジ卒業生 22期情報コース
6	7.4 (火)	4コース合同 生活と文化	文章作成の技術 卒業記念誌作成に 向けて	エッセイスト 高比良直美	自主企画講座 (1)	学生がテーマを決めて 企画し補習学習する① (企画の話し合い)	社会教育指導員
7	7.25 (火)	課題学習 (2)	学び合い学習に向けて ②	社会教育指導員	情報化時代の 学習 (2)	おカネとITの 経営戦略	東京情報大学 准教授 樋口大輔
8	9.12 (火)	情報化時代の 学習 (3) 施設見学	<b>【情報発信の現場を見に行こう】</b> 会場 読売新聞東京本社/印刷博物館 地下鉄「大手町駅」C3出口 午前10時20分 現地集合 午後2時 現地解散				社会教育指導員 公民館職員
9	9.19 (火)	4コース合同 体験学習	草ぶえの丘で自然観察と陶芸を楽しむー卒業記念作品の制作ー 集合 午前9時50分 草ぶえの丘 内容 午前 草ぶえの丘で自然観察 午後 陶芸 午後3時現地解散				草ぶえの丘 職員
10	9.29 (金)	カレッジ合同 生涯学習の 楽しさ (1)	<b>【市民カレッジ スポーツフェスティバル】</b> 会場 佐倉市民体育館				社会教育指導員 公民館職員
11	10.3 (火)	課題学習 (3)	学び合い学習に向けて ③	社会教育指導員	課題学習 (4)	学び合い学習に向けて ④	社会教育指導員
12	10.10 (火)	学び合い学習 (1)	福祉コースを招待して パソコンイベント	社会教育指導員	学び合い学習 (2)	元気コースを招待して パソコンイベント	社会教育指導員

# 平成29年度 佐倉市民カレッジ 第4学年学習予定表

## 専攻課程 さわやか情報コース（2）

学習時間		午前10時～11時50分			午後1時10分～3時		
番号	日・曜日	学習テーマ	学習内容	講師	学習テーマ	学習内容	講師
13	10.24 (火)	学び合い学習 (3)	福祉コースによる 家庭介護実習	社会教育指導員	学び合い学習 (4)	元気コースによる 健康づくり	社会教育指導員
14	11.7 (火)	学び合い学習 (5)	歴史コースによる 佐倉の史跡案内	社会教育指導員	学び合い学習 (6)	歴史コースを招待して パソコンイベント	社会教育指導員
15		カレッジ合同 生涯学習の 楽しさ(2)	【市民カレッジ文化祭・研究発表、学習発表、作品展示など】 11.15(水)～11.17(金) 会場 佐倉市立中央公民館 大ホール、学習室3他				社会教育指導員 公民館職員
16	11.18 (土)	カレッジ合同 生涯学習の 楽しさ(3)	【市民カレッジ文化祭・舞台発表】 会場 佐倉市立中央公民館 大ホール				社会教育指導員 公民館職員
17	11.28 (火)	情報化時代の 学習(4)	報道の現場から	元日本テレビ 放送網報道局 町田博祐	自主学習	学生がテーマを決めて 自主的に学習する	社会教育指導員
18	12.12 (火)	自主企画講座 (2)	学生がテーマを決めて 企画し補習学習する②	社会教育指導員	情報化時代の 学習(5)	高齢期(者)の インターネット活用	パソコン インストラクター 小坂大輔
19	1.9 (火)	学習のまとめ	情報コース卒業生 の活動紹介	カレッジ卒業生 22期情報コース 社会教育指導員	ホームルーム	卒業に向けて	社会教育指導員
20	1.23 (火)	4コース合同 学ぶことの 意義	学んだことを活かす —各コース代表発表—	社会教育指導員	4コース合同 総長講話	佐倉の歴史から見た 人づくり	総長
21	2.6 (火)	4コース合同 講演会	新たな出発	佐倉市 社会福祉協議会 会長 左奈田雄一	4コース合同 式典予行	卒業式練習	社会教育指導員
22	2.10 (土)	カレッジ合同 式典	卒業式	総長 館長		*	

# 平成29年度 佐倉市民カレッジ 第4学年学習予定表

## 専攻課程 ゆっくり元気コース（1）

学習時間		午前10時～11時50分			午後1時10分～3時		
番号	日・曜日	学習テーマ	学習内容	講師	学習テーマ	学習内容	講師
1	5.13 (土)	カレッジ合同 式典	始業式 入学式	総長 館長	カレッジ合同 芸術鑑賞会	オープニング コンサート	千葉県警察音楽隊
2	5.16 (火)	ホームルーム	役員選出 写真撮影	社会教育指導員	課題学習 (1)	学び合い学習に向けて ①	社会教育指導員 元気コース卒業生
3	6.2 (金)	地域活動 (1)	実践活動 ウォークラリー 一坂道・小径をたどり城下町佐倉を歩くー (1年生のウォークラリーの際のスタッフとして活動)				社会教育指導員
4	6.20 (火)	課題学習 (2)	学び合い学習に向けて ②	社会教育指導員	自主企画講座 (1)	学生がテーマを決めて 企画し補習学習する① (企画の話し合い)	社会教育指導員
5	7.4 (火)	4コース合同 生活と文化	文章作成の技術 卒業記念誌作成に 向けて	エッセイスト 高比良直美	健康づくり (1)	コーディネーション運動 自ら楽しむ健康	(株) ツインリンク茂木 ハローウッズ 小瀧 綾
6	7.18 (火)	健康づくり (2)	高齢者のための 3B体操	公益社団法人 日本3B体操協会 鈴木静江	地域活動 (2)	ターゲットバード ゴルフ 晴天：佐倉市ターゲット バードゴルフ場 雨天：大ホール	ターゲットバード ゴルフ協会
7	9.5 (火)	課題学習 (3)	学び合い学習に向けて ③	社会教育指導員	自然観察の すすめ	都市近郊の 野鳥の生態 晴天：フィールド 雨天：室内座学	日本野鳥の会 浅野俊雄
8	9.12 (火)	健康づくり (3)	健康を保つ食事作り (調理実習)	高齢者福祉課	自主企画講座 (2)	学生がテーマを決めて 企画し補習学習する② (企画の話し合い)	社会教育指導員
9	9.13 (水)	健康づくり (4) 3・4年 元気コース合同	3・4年元気コース合同 イタリア文化とサッカーを学ぶ				一般社団法人 ゾナカルチョ
10	9.19 (火)	4コース合同 体験学習	草ぶえの丘で自然観察と陶芸を楽しむー卒業記念作品の制作ー 集合 午前9時50分 草ぶえの丘 内容 午前 草ぶえの丘で自然観察 午後 陶芸 午後3時現地解散				草ぶえの丘 職員
11	9.29 (金)	カレッジ合同 生涯学習の 楽しさ (1)	【市民カレッジ スポーツフェスティバル】 会場 佐倉市民体育館				社会教育指導員 公民館職員
12	10.10 (火)	学び合い学習 (1)	歴史コースによる 佐倉の史跡案内	社会教育指導員	学び合い学習 (2)	情報コースによる パソコンイベント	社会教育指導員

# 平成29年度 佐倉市民カレッジ 第4学年学習予定表

## 専攻課程 ゆっくり元気コース（2）

学習時間		午前10時～11時50分			午後1時10分～3時		
番号	日・曜日	学習テーマ	学習内容	講師	学習テーマ	学習内容	講師
13	10.24 (火)	学び合い学習 (3)	歴史コースを招待して 健康づくり	社会教育指導員	学び合い学習 (4)	情報コースを招待して 健康づくり	社会教育指導員
14	11.7 (火)	学び合い学習 (5)	福祉コースによる 家庭介護実習	社会教育指導員	学び合い学習 (6)	福祉コースを招待して 健康づくり	社会教育指導員
15		カレッジ合同 生涯学習の 楽しさ(2)	【市民カレッジ文化祭・研究発表、学習発表、作品展示など】 11.15(水)～11.17(金) 会場 佐倉市立中央公民館 大ホール、学習室3他				社会教育指導員 公民館職員
16	11.18 (土)	カレッジ合同 生涯学習の 楽しさ(3)	【市民カレッジ文化祭・舞台発表】 会場 佐倉市立中央公民館 大ホール				社会教育指導員 公民館職員
17	12.5 (火)	自主企画講座 (3)	学生がテーマを決めて 企画し補習学習する③	社会教育指導員	自主学習	学生がテーマを決めて 自主的に学習する	社会教育指導員
18	12.19 (火)	健康づくり (5) 3・4年 元気コース合同	スポーツ健康科学	順天堂大学 スポーツ健康科学部 准教授 柳谷登志雄	健康づくり (6) 3・4年 元気コース合同	ニュースポーツ大会	社会教育指導員
19	1.23 (火)	4コース合同 学ぶことの 意義	学んだことを活かす —各コース代表発表—	社会教育指導員	4コース合同 総長講話	佐倉の歴史から見た 人づくり	総長
20	1.30 (火)	学習のまとめ	卒業後の健康づくり まちづくり [個人発表]	社会教育指導員	ホームルーム	卒業に向けて	社会教育指導員
21	2.6 (火)	4コース合同 講演会	新たな出発	佐倉市 社会福祉協議会 会長 左奈田雄一	4コース合同 式典予行	卒業式練習	社会教育指導員
22	2.10 (土)	カレッジ合同 式典	卒業式	総長 館長		*	

## 5. コミュニティ事業

---

### さくら学び塾（学びあい講座）「郷土の古文書『臼井八景』を繙く」

①開設趣旨 本講座は、市民公募による講師の企画に基づき、コミュニティ事業・さくら学び塾（学びあい講座）として開設する。

②募集対象、募集人員 成人 100人

③プログラム

回	月日(曜日)	学習内容	講師
1	11月11日(土) 13:30～ 15:30	「臼井八景」の概要(序を中心に)	松田喜好
2	12月9日(土) 13:30～ 15:30	「臼井八景」作者と背景(歴史的立場から)	森秀夫
3	1月13日(土) 13:30～ 15:30	「臼井八景」の印旛沼(文学的立場から)	村上勲
4	1月27日(土) 10:00～ 12:00	「臼井八景」漢詩と詩吟(跋(ばつ)を含む)	松田喜好 塚越輝男

④とても充実した講座となった。全4回は、講義やDVD上映・全員参加の詩吟など、多彩な内容と多彩な講師陣となった。

生徒も意識が高く、学ぶ側も教える側もレベルの高い内容となった。

それだけに、全4回ではコマ数が少ないように感じるとのアンケート結果も多かった。主催者としては、他講座での「続編」などを考えていきたい。

## 6. 団体育成事業

### 佐倉地区子ども会育成会連絡協議会

- ① 開設趣旨 佐倉地区子連は、佐倉地区の子ども会及び子ども会を取り巻く諸関係機関団体との連絡・調整を図り、各単位子ども会の健全な発展に寄与することを目的として結成された。会の運営は、役員が中心となって行い、総会・役員会・各事業などを実施している。中央公民館では、事務局としての役割、子ども会安全会等の申込みの受付、佐倉市子ども会育成連盟との連絡、備品の貸与等を行っている。しかし、近年少子化に伴い佐倉地区子連に加入する子ども会が減少傾向にある。今年度は1団体になり、協議会としての維持が難しくなっている。
- ② 対象 単位子ども会 1団体（会員数63人）
- ③ 活動内容 平成29年12月16日（日）クリスマス会 47人参加

### 佐倉学体験講座

#### ～「佐倉民話を語るボランティア派遣事業」「佐倉こどもかるた普及派遣事業」～

- ①開設趣旨 佐倉学関連事業の一つとして、市内小学校、教育センター、中央公民館が連携して、子どもたちに「佐倉学」を総合的に学べる場を提供するとともに、佐倉学の普及を図るため、佐倉市民カレッジ卒業生で結成された、民話を語るボランティア団体「さくらっ古」と「佐倉こどもかるた子都手留会」を市内小学校の児童を対象に派遣し、佐倉に伝わる民話の語りへの派遣や佐倉こどもかるた普及を通して、郷土愛を育むことを目的とする。
- ②対象 幼児、市内小学生1年生～6年生（「佐倉こどもかるた子都手留会」については一般も対象）
- ③開催期間 平成29年4月1日～平成30年3月31日
- ④事業を終えて この事業は、佐倉市民カレッジ「まちづくり」の授業から誕生している2団体の派遣事業である。『さくらっ古』は平成17年6月から活動を行っており、昨年度からは曜日に関係なく派遣依頼を受け付けることになった。毎年多くの小学校からの派遣依頼があるが、他校からの紹介で今回初めて派遣依頼をされた学校もあり、これまでの活動が着実な成果を見せている。ただし、さくらっ古と子都手留会とともに派遣回数が増えつつある中で、構成メンバーの人数に限りがあり、すべての小学校等の要望にこたえられないという課題がある。

市内小学校・教育センター・中央公民館が連携して子どもたちに「佐倉学」を総合的に学ぶ場を提供するのがこの事業の趣旨であり、アンケート結果等からも、実際に佐倉に伝わる民話や佐倉こどもかるたをとおして、郷土愛を育むことの一助となっている。また、「佐倉学」について子どもたちが民謡を聞いたり、かるたを使って学ぶのによい機会を提供できていることもアンケート結果から推察することもできる。そのため、中央公民館としても継続していきたい事業のひとつであると考えている。公民館の活動をきっかけとして活動を始めてもらい、最終的に個々の公民館利用団体が主体的に活動するようになることで、社会教育の意義にかなうようになると思われる。

### グループ懇談会

- ①開設趣旨 中央公民館を利用しているグループに対し、公民館利用方法、公民館としての立場からグループ活動に期待する事を説明し、利用者との共通理解と連携を図る。
- ②対象 中央公民館を利用しているグループ 220団体
- ③開催期日 平成29年4月28日（金）10:00～11:30
- ④内容 1) 公民館使用方法についての説明、注意事項  
2) 子どもの居場所作り（夏休み主催事業）についての協力依頼  
3) 質疑応答

### **調理室利用グループによる調理室点検**

- ①開設趣旨 調理室を定期利用しているグループに対し、お互いの交流の機会を作ると共に、調理室の効率的な活用と適正な運営を図る。
- ②対象 調理室を定期利用しているグループ13団体
- ③開催 1. 平成29年6月29日(木) 午前10時～11時30分  
2. 平成29年12月21日(木) 午前10時～11時30分
- ④内容 1) 調理室の清掃 2) 公民館備品の整理・点検 3) グループ備品の整理  
4) グループ間の懇談 5) 公民館への要望



## 7. 広報・展示事業

---

### 広報事業

#### 『公民館だよりじゅにあ』（平成29年6月28日発行）

- ①ねらい 中央公民館での子ども向け事業などを紹介する。
- ②発行回数 年1回
- ③発行部数 1100部
- ④配布先 佐倉地区の小学校4校等で配布
- ⑤内容 夏休み中の子ども向け教育事業を掲載
- ⑥展望 佐倉市の広報紙と連携をとりながら、幅広い紙面づくりに心がけたい。

#### 『中央公民館だより』（平成30年3月1日発行）

- ①ねらい 中央公民館主催事業や中央公民館の使用申込みについてなどを紹介する。
- ②発行回数 年1回
- ③発行部数 500部
- ④配布方法 各公民館、図書館、コミュニティセンター
- ⑤内容
  - (1) 佐倉市民カレッジ 平成30年度受講生募集、であい課程・専攻課程の概要、文化祭、スポーツフェスティバルまちづくり実践報告会、サークル活動ほか
  - (2) 公民館利用申し込みについて
  - (3) 中央公民館主催イベントのご案内 佐倉学講座「古今佐倉真佐子を歩く」、春休み親子映画会「ペット」
- ⑥展望 佐倉市の広報紙と連携をとりながら、幅広い紙面づくりに心がけたい。

#### 『なかま』

- ①ねらい 市民の手による、市民の「心の交流の場」づくりをめざす。
- ②発行回数 年12回（毎月1回）
- ③発行部数 毎月1,500部（年間1,500部×12ヵ月＝18,000部）
- ④配布方法 市内公民館・図書館・保健福祉センター・佐倉一里塚・市内各駅等で配布。  
また、編集委員による配布や市民ハイキング参加者への配布も行っている。
- ⑤編集方法 佐倉市民カレッジ生とその卒業生からなるボランティア編集委員15名が編集会議を毎月2回開催している。  
編集会議では、原稿の内容上の個々の事項についての検討とその処置、校正・割付けなどの編集作業と、年間計画やこれからの方向性などについて話し合いを行う。  
また平成17年度からは佐倉市民カレッジ情報コース卒業生がボランティアで版下作成を行っている。
- ⑥内容 A4版4ページの体裁で、1面は市長及び編集委員の原稿、2・3面は市内在住の市民の方から頂いた投稿文を掲載している。4面は中央公民館の主催事業や公民館からのお知らせ、コラム的なさくら道、編集委員によるあとがきを掲載している。  
平成20年6月には編集会議が、(社)日本善行会から特別表彰善行賞を受賞した。

## 8. 視聴覚教材ライブラリー事業

### 親子映画会

- ①開設趣旨 親子映画会として実施し、映画をとおして友達の輪を広げ、青少年の健全育成を図る
- ②対象 小学生・幼児と保護者 各500人
- ③学習内容 親子で映画を見ることで、楽しみながら映像文化に親しむ。
- ④プログラム

回	月 日(曜日)	上映作品	学習内容	会 場
1	7月28日(木) 10:00～ 11:30	モンスター・ホテル2	子ども向け名画鑑賞を実施した。	市民音楽ホール
2	12月27日(水)1 0:00～ 11:00	怪盗グルーのミニオン大脱走	子ども向け名画鑑賞を実施した。	市民音楽ホール
3	3月27日(火) 10:00～ 11:00	スマーフ スマーフェットと秘密の大冒険	子ども向け名画鑑賞を実施した。	中央公民館

- ④ 業を終えて 市内の子ども達を対象に夏休み・冬休み・春休みを利用して映画鑑賞会を3回実施した。映画を通して、子ども達に友情の大切さや思いやりの心を育ててもらえたと思う。また、長い休みには、子どもの居場所が心配になる保護者にとってもこの事業は安心できるような子どもの居場所になっていると思われる。

### 16ミリ映写機操作講習会

- ①開設趣旨 視聴覚16ミリ映写機器の操作を習得する機会を提供し、視聴覚教材の普及と利用促進を図る
- ②対象 社会教育団体・一般 20人
- ③プログラム

回	月 日(曜日)	学習内容	講 師
1	6月17日(土) 10:00～ 16:00	・視聴覚概論 ・映写技術の理論と実際	(有)教育映像 齋藤 和雄

- ④講座を終えて 市内の社会教育団体・一般を対象に募集をしたが、市外の方からも申し込みがあった。現在の視聴覚教材においてアナログのものがデジタル化されてきている中で、印旛管内においても佐倉市以外での講習が実施されていない様である。本ライブラリーのフィルム資産は充実しており、末永く活用していくためにも今後も受講の促進を図りたい。なお、16ミリフィルムと映写機の貸与は、本講習の修了証を持つことが要件とされている。

# 和田公民館

## 和田地区の概要

和田地区は佐倉市の最東端に位置し、古くは「和田村」と称し、明治22年頃は14の村落で構成されていた。昭和29年の市制発足以降より12の地区より構成されている。面積は市全体の約14%に当たる約14.4平方キロ、人口は約1.1%に当たる1,852人、世帯数は781世帯で、農業が盛んな地域である。

大正頃までの農家の主な産物は米・養蚕であったが、昭和初期になると養蚕が衰え、里芋・落花生・甘藷に変わる。戦後、豚の飼育が盛んになり、昭和27年頃には全国的に有名な養豚地区となる。その後、養豚・酪農・大和芋と専門化され、大型機械の導入も盛んに行われた。

このように専門化された農業地域であるが、年々従事者は減少し、後継者育成は大きな課題となっている。地区全域が市街化調整区域であり、大きい人口増加を見込める計画等もない状況でもある。少子高齢化、核家族化などの進展、青年層の流出など純農村として構成されていた地域社会は大きな変化をし続けている。

一方で地区内を国道51号線と東関東自動車道が通り、佐倉インターチェンジが隣接しているため、企業の物流基地が進出するなど、新たな変化が見られる。

平成11年12月、和田地区の中核施設として和田ふるさと館が開館した。和田出張所、和田コミュニティセンター、和田地域防災集会所、和田農産加工実習所の複合的機能を持つ施設となっている。

また平成12年度には、和田公民館分館として歴史民俗資料室の展示工事を実施し、平成13年4月1日に和田ふるさと館歴史民俗資料室が開室した。

### 和田地区のデータ

【平成30年3月末現在】

- 和田地区：面積 約14.4km<sup>2</sup>（佐倉市：面積 103.69km<sup>2</sup>）
- ＃＃：住基人口 1,852人（＃＃：住基人口 176,059人）
- ＃＃：人口密 128人/km<sup>2</sup>（＃＃：人口密度 1,679人/km<sup>2</sup>）

# 1. 公民館運営計画

## 運営方針

佐倉市立公民館活動計画を基本として、常に地域の実態をとらえながら、使いやすく、親しみのある教育施設として住民の自主的交流・集会・学習などの活動を助成し、地域社会教育活動の中心としてその役割をはたすことに努める。

## 努力目標

- 使いやすく、親しみのある館の環境づくりに努める。
- 地域性を生かした学習内容の充実をはかる。
- 公民館事業と地域団体活動等を効果的・有機的に結びつけていく努力をする。
- 佐倉城下町400年記念事業を積極的に実施し、郷土に対する理解や関心を高めていく。

## 事業内容

### 1. 学級講座に関する事業

参加者との会話を大切にしながら、趣味・教養的学習から専門的学習に至るまで、日常生活に密着した幅の広い学習を展開し共通の課題を探り、参加者がそれぞれの立場で考え、学習しながら実践に結びつけていくための足がかりとする。

### 2. 施設・設備・備品の提供

開館 月～日曜日・祝日 午前9時～午後5時

(第2第4月曜日、12/28～1/4は休館)

(火・金曜日は午後9時まで(祝日を除く・夜間の利用がない場合は午後5時まで)

### 3. 団体育成に関する事業

はたおり保存会・和田小PTA民俗資料収集委員会等の社会教育的団体が、自主的、継続的に活動ができるよう資料の提供や、各機関との連絡調整などの援助を行う。また、各種の住民団体が円滑な活動を進められるよう援助・協力をする。

### 4. 広報に関する事業

「公民館だより」を年4回発行

### 5. 歴史民俗資料室展示事業

平成13年4月1日に和田ふるさと館内に開室した歴史民俗資料室において、和田地区民俗資料(佐倉市指定文化財)を中心として、展示・収蔵・調査研究・教育普及活動、及び伝統技術等の保存継承活動を行い、地区の歴史環境・自然環境及び地域の人材を活用した事業を展開する。

### 6. 図書事業

市立図書館との連携により、図書案内を充実し、リクエスト制度などにより利用増を図る。

(蔵書約1,800冊 貸出し1人10冊 15日間)

## 2. 公民館利用状況

### 年度別利用状況

区分	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
利用件数 (件)	464	490	540	620	627
利用人数 (人)	5,532	6,355	8,284	8,060	7,345
開館日数 (日)	333	333	335	333	333

### 平成 29 年度施設別年間稼働率

施設名称	利用可能回数	利用回数	稼働率
和室	767	232	30.2%
調理実習室	767	223	29.1%
団体室	767	114	14.9%
会議室	767	344	44.9%

領域	事業名	対象	期間・回数	内容
家庭教育	子育て教室	2・3歳児と 保護者	5/24 2組4人 6/28 3組6人 7/12 3組6人 8/ 8 3組6人 9/27 3組6人 10/ 8 3組6人 11/22 3組6人 12/5 3組6人 12/15 3組6人 1/11 3組6人	楽しい親子遊びを通して、幼児の自立のための親の役割、環境作りや遊びの意義などについて共に考える機会とする。 第1回は自己紹介を含め、ふれあい遊びで親子のスキンシップ・コミュニケーションを図り友達づくり。第2回は新聞紙で遊ぼう。身近にある古新聞をフル活用し新聞棒を作りいろいろな動きを体験。第3回は前回作成した新聞棒とビニール袋を使ってお一人様テント作り。第4回は弥富公民館と合同で、身近にあるものを工夫して魚つり遊び。ミニプールに入って思いっきり水遊び。第5回は草ぶえの丘へ遠足。第6回は弥富公民館と合同でマジックバルーンづくり。第7回は色々な運動遊びを体験しながら、運動機能の発達を促す講座を行った。第8回目は地域の栄養士より、食事に係るレクチャーを受け、おやつ作りを行った。第9回目はクリスマス会、第10回目は地域伝統行事の成木づくりにより、情操の向上を図った。
	楽しく家庭教育講座	地区内の幼児及び小学生の保護者	9/13 13人 12/13 10人	子どもがよりよく育つために、家庭の役割や家族のあり方などを学習する機会として捉え、地域のPTAである家庭教育学級と共催で実施した。第1回目は講師を招きアメリカン陶芸を行った。第2回目は公民館利用団体サークルの指導を仰ぎ、スタンドグラスづくりを行った。
青少年教育	和田剣道教室	地区の小学生 20人	5月～3月 毎週土曜日 40回 17人	異年齢集団の中で、剣道をとおして心身の育成と社会人として必要な習慣を身に付けた。
	軽スポーツ大会	地区の小学生 20人	10/15 76人	地域の協力で軽スポーツを実施し、異世代間の交流、子どもの健全育成を図った。
	夏休みおもしろ体験教室	地区の小学生 20人	7/31 21人	夏休み期間の一日を使い実施した。 午前の科学実験は、小学校の理科室で、子どもたちの五感を刺激し科学のもつ不思議さを楽しく体感した。またお昼は地域の方の協力で調理実習を行い食の大切さ、方法、自主性・協調性を学んだ。午後は、プロのサッカーコーチを呼びサッカーの楽しさ、ボールさばき・戦術・マナーを学んだ。
	佐倉っ子塾 料理教室	地区の小学生 各20人	6/4 20人 10/8 16人 2/4 12人	子どもの自立を促すとともに、ふるさとへの愛着を深めるため、地域で収穫された米・野菜を活かした料理教室を3回実施した。

領域	事業名	対象	期間・回数	内容
	子ども映画会	地区の小学生	8/16 68人 3/28 46人	子どもたちに映画などの文化芸術等にふれあう機会を提供する事で、その素晴らしさや楽しさを感じてもらうために実施した。第1回は夏休みに地区小学生向けに映画会、第2回は春休みに地区の小学生、園児向けにマジックバルーンづくりを行った。
	佐倉っ子塾 伝統文化体験教室	地区の小学生 各15人	7/23 12人 8/29 14人 12/17 15人	創造力を育むとともに、異世代間交流を図るために、育成団体や公民館事業講座生を講師として実施。第1回ははたおり保存会によるはたおり体験。第2回は夏休み編み物体験を実施。長命大学手芸教室の講師と受講生が子どもたちに編マフラーを指導した。第3回目は地域の青少年指導員による彦一凧作りを行った。
佐倉 学 成 人 教 育	佐倉・城下町 400年事業 北条氏勝ゆかりの地 めぐり	市内の成人 20人	10/22 14人 10/29 17人	弥富公民館と連携して、和田・弥富地区にある北条氏勝ゆかりの地において、郷土の歴史を学習した。第1回目は弥富公民館で居城岩富城に係る講義、第2回目は菩提寺である宝金剛寺(和田地区)において地区の中世の講義を、専門家の指導により実施した。
	佐倉・城下町 400年事業 「ワラぞうりづくり 体験」	市内の成人 10人	1/21 10人	江戸時代より主流となった日本の伝統的な履物であるぞうりづくりを房総のムラより講師を招いて実施した。本物のワラを使い、当時のワラぞうりを再現した。
	佐倉・城下町 400年事業 「ミニぞうりづくり 体験」	市内の成人 12人	2/4 12人	地区小学校PTA関連団体の指導により、江戸時代の作り方そのまま現代風にアレンジした”ぞうりストラップ”作りを行った。
	佐倉学体験講座 ふるさと味工房	市内の成人 各15人	6/27 12人 11/11 12人 11/28 10人 1/24 8人 2/20 10人	地元の食材や食文化についての講座により、郷土への愛着を深めるとともに、和田地区への魅力・関心を高める事業として実施した。第1回及び第4回は和田の新鮮野菜料理づくり、第2回及び第5回は太巻き祭り寿司づくり、第3回こんにゃく作りを行った。
	佐倉学入門講座 楽しく学べる和田地域 塾	市内の成人 17人	6/24 14人 7/15 14人 8/19 13人 9/9 16人 10/28 11人 11/12 12人 12/17 16人 1/14 16人	和田に対する関心を高め、魅力を再発見するため、地域住民の協力を得ながら和田地区の歴史・自然・生活・民俗等を学び、実際に体験し、豊かな自然を体感するものであり、計8回実施。環境に配慮した農業体験、豊かな自然の観察、地区に根付く工芸体験、特産品を使った料理作りなどを実施した。
	和田地区防災講習会	市内の成人 50人	1/28 25人	地域づくりの実践現場で役立つ防災や防犯について実践的な講習等を実施した。消防署員を講師として招き、煙体験・AED講習などを行った。



領域	事業名	対象	期間・回数	内容
	長命大学手芸教室	60歳以上の地区の成人 10人	4/14 6人 5/12 6人 6/ 9 5人 7/14 6人 8/29 4人 9/ 8 4人 10/13 6人 11/ 8 5人 12/ 8 5人 1/12 6人 2/ 9 5人 3/ 9 4人	高齢者向け講座として手芸を通して生きがいをづくりを行った。また地区小学生向けの編み物教室を指導してもらい、世代間交流を図った。
	長命大学交流会	地区の成人 40人程度	3/17 49人	長命大学生と地区の高齢者が集い、心身ともに健康で生き甲斐のある生活を過ごせるように、和田地区交流バス見学会を実施した。
	いきいき生活講座	和田地区の高齢者(おおむね60歳以上の方)	8/8 16人	地区の高齢者を対象に、警察署員から自動車運転・日常歩行時等における交通安全などの講義をしてもらった。
コミュニティ事業	さくら学び塾 『和みの生き方「和道」』～自然・社会・心と体の3つの調和～	成人 20人	11/ 5 13人 12/ 9 14人 1/20 12人 2/18 9人	さくら学び塾(学びあい講座)として、市民公募による講師の企画に基づき開設、実施した。先人たちによる「幸せに生きる知恵」により、新しい情報に振り回されず、地に足を付けた確かな暮らし「和みの生き方～和道」を専門講師の指導により、連続で実施した。日本の伝統行事等の由来、それらを生かして現代風にアレンジするモダンな生き方の講義などが行われた。
団体育成	団体育成事業	和田小PTA民俗資料収集委員会・和田はたおり保存会・和田地区青少年育成住民会議	通年	地域の社会教育団体、住民団体等が継続的に活動できるよう、協力援助した。
広報展示活動	公民館だより発行	和田地区全世帯	年4回(9月・10月・12月・2月)	公民館情報や地域情報を和田地区全世帯に配布した。(各780部)
	歴史民俗資料室展示	一般	通年 1,205人	和田ふるさと館歴史民俗資料室の展示及び市内小学校の社会科見学の際に解説を行った。
図書	図書貸し出し	一般	通年	公民館図書コーナーの図書提供のほか、市立図書館と連携しリクエスト図書の提供を実施した。

# 1. 家庭教育事業

## 子育て教室

①開設趣旨 楽しい親子遊びを通して、幼児の自立のための親の役割、環境づくりや遊びの意義などについて学習する。

②募集対象・募集人数 地区の2～3歳児とその保護者 12組

## ③プログラム

回	実施日(曜日)	学習内容	講師
1	5月24日(金) 10:00～11:30	ふれあい遊びで親子のスキンシップを深める	蓮 淳子
2	6月28日(金) 10:00～11:30	新聞紙を使って遊ぶ	〃
3	7月12日(火) 10:00～11:30	新聞紙とビニール袋を使ってお一人様テントづくり	〃
4	8月 8日(火) 10:00～11:30	弥富のお友だちと一緒に身近にある材料を工夫して魚つり遊びをする	〃
5	9月27日(金) 10:00～11:30	草ぶえの丘へ遠足(お友だちと共に自然と触れ合い、ミニ鉄道に乗って、お弁当食べて、楽しい思い出を作る)	〃
6	10月 8日(日) 10:00～11:30	弥富のお友だちと一緒にマジックバルーンづくり	〃
7	11月22日(金) 10:00～11:30	色々な運動遊び ・身近にある材料を使って、手作りクリスマスツリーを作る	〃
8	12月 5日(金) 10:00～11:30	地域の栄養士より食事に係るレクチャーを受け、おやつづくり	・栄養士 高田 美佐代 ・食生活推進委員
9	12月15日(金) 10:00～11:30	サンタさんと一緒に楽しいクリスマス会	蓮 淳子
10	1月11日(金) 10:00～11:30	・地域の伝統行事を体験する(成木作り) ・講座のまとめと意見交換	〃

## ④講座を終えて

昨年に引き続き、教室を修了した親が講師補助として事業に参画するなど、地域の中で助け合いながら家庭教育を学習の場にする事が出来た。また地域の福祉団体とも協力しながら子育ての悩み相談等ができる場の提供が出来た。少子化の中、参加者確保は大変だが、少ない中でも子ども同士・親同士が積極的にコミュニケーションをとり、情報交換ができる環境を提供することが出来た。近隣の弥富公民館とも合同で実施するなど広域的に実施した。

### 楽しく家庭教育講座

①開設趣旨 子どもがよりよく育つために、家庭の役割や家族のあり方などを学習する。

②募集対象・募集人数 地区内の幼児及び小学生の保護者 15人

③プログラム

回	実施日(曜日)	学習内容	講師
1	9月13日(木) 9:30~11:30	アメリカン陶芸:世界各地で親しまれ、ポタリーペインティングとも言われている。	藤原 真由美
2	12月13日(水) 10:00~11:30	ステンドグラス:和田公民館利用団体指導によるステンドグラスづくり。	ステンドグラス同好会

④講座を終えて

アメリカン陶芸は日本の陶芸のように、陶土から色を付けたり、ビスク(既に素焼きして、色々な形になったもの)に色付ける方法がある、講座としては後者の方法を行った。参加者は地元幼稚園・小学校の保護者であり専門家の指導により絵付けを行った。

従来の陶芸とは異なり洋風であり、参加者一人一人が思い思いの模様を描いていた。

ステンドグラスづくりは、和田公民館を長年利用している団体のほぼマンツーマンの指導で実施された。普段作ることのない工芸品であり、ハンダ付けなど慣れない手順があり、完成させるまでは時間が掛かったが、その分満足度も大きかったようで来年度もぜひ体験したいなどの声もあった。

日頃から子育てで忙しい参加者に、様々な体験してもらおう事でリフレッシュしてもらい、新しい気持ちで子育てにいそしんでくれたらと思う。

## 2. 青少年教育事業

### 和田剣道教室

- ①開設趣旨 異年齢集団の中で、剣道をとおして心身の育成と社会人として必要な習慣を身につける。そのために協力して共育（共に育て合う）の場となるよう努める。
- ②募集対象・募集人員 和田地区在住の小学生 20人
- ③開設期間 平成29年5月～平成30年3月 40回
- ④指導者 片岡 康平、江野澤 清美、藤崎 英樹、鶴田 潤子
- ⑤講座を終えて 剣道の「礼に始まり 礼に終わる」を基本に子どもの心身の育成や仲間づくりを図ることができ、親の会についても昨年に引き続き、自主稽古を企画するなど活発に活動した。また、7月29日～30日には佐倉草ぶえの丘にて一泊二日の剣道合宿を行い、厳しい稽古とともに楽しい思い出をつくることができた。

### 軽スポーツ大会

- ①開設趣旨 地域の協力で各種軽スポーツを実施し、子どもの健全育成を図る。
- ②募集対象、募集人数 地区の小学生 50人
- ③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	10月16日（日） 10:00～12:00	グラウンドゴルフ （和田小学校グラウンドで実施）	和田地区 スポーツ推進員

- ④講座を終えて 和田地区青少年育成住民会議、社会福祉協議会和田支部と共に実施し、地域の子供と地域住民が交流し、青少年の健全育成を地域で実践する場になっている。チーム分けでは、小学生と地区の大人と一緒にプレーすることができるようにし、異世代間交流を図った。

### 夏休みおもしろ体験教室

- ①開設趣旨 保護者と地域の協力により、子どもたちに共同生活体験の機会を提供し、子どもの自主性、協調性、社会性を高める。
- ②募集対象・募集人数 地区の小学生 20人
- ③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	7月31日（月） 9:00～16:00	・科学実験 ・食事づくり ・サッカー	・西澤保雄 ・六崎 美知代、 高梨 直子 ・ホンダソルティエロ（株）

- ④講座を終えて  
この講座は現在学校で何に取り組み、子どもたちは何に興味・関心があるのかをリサーチし、夏休み期間を使って、公民館で様々な体験事業を実施するものである。  
酸性・アルカリ性などの事、偏光シートを活用するなど普段授業では行わないような科学実験を通して学習を深める事が出来たと思う。食事作りでは、高学年の子どもたちが低学年の子どもたちの面倒を見るなど、思いやりの気持ちや協力し合うことの大切さを感じてもらった機会となった。佐倉市に教室を持つホンダソルティエロ（株）に協力を仰いで、実施したサッカーも子供たちにとって新鮮であったようである。

### 佐倉っ子塾 料理教室

①開設趣旨 地域の食材を生かした料理教室を実施し、子どもの自立と育成を図る。和田地区青少年育成住民会議と公民館が共催で実施した。

②募集対象・募集人数 地区の小学生 20人

③プログラム

回	実施日(曜日)	学習内容	講師
1	6月 4日(日) 9:30~12:30	(1) 牛丼 (2) ウィンナーのとろとろ卵のつけ (3) ジャム蒸しパン・豆蒸しパン	六崎 美知代 高梨 直子
2	10月 8日(日) 9:30~12:30	(1) 豆腐の肉巻きステーキ (2) 豚肉とキャベツ、しめじのごまマヨ炒め (3) アップルチーズパイ (4) もちもちパン	六崎 美知代 高梨 直子
3	2月 4日(日) 9:30~12:30	(1) 春のまぜご飯 (2) キャベツと豚肉のカレー風味 (3) オニオンベーコンのケーキサレ (4) チョコライスボール	六崎 美知代 高梨 直子

④講座を終えて 子ども料理教室は、子どもたちが男女に関係なく生きるために『食生活』において自立することを目的としている。子どもたちは料理に興味をもち、作る楽しさ・出来たときの喜びを感じていたようであり、低学年から高学年まで、多くの児童が参加する人気事業となっている。

### 子ども映画会

①開設趣旨 子どもたちに映画などの文化芸術等に触れ合う機会を提供する事で、親子等の参加も促しながら、その素晴らしさを感じてもらう。

②募集対象・募集人数 地区の小学生等 50人

③プログラム

回	実施日(曜日)	学習内容	講師
1	8月16日(水) 9:30~11:00	子ども映画会	和田公民館
2	3月28日(水) 10:00~11:30	マジックバルーンで遊ぼう	菊地 賢

④講座を終えて

子ども映画会では幼児から小学生児童が楽しめる短編映画を5本上映した。

夏休みのひと時を映画という文化芸術に触れる機会を提供出来た。

マジックバルーンで遊ぼうでは、専門講師を招いてその方のショーを見たり、実際に作る体験を実施した。春休みに貴重な体験を提供出来た。

**佐倉っ子塾 伝統文化体験教室**

①開設趣旨 和田のはたおりや手工芸、凧作りなど伝統文化の体験学習を通じて創造力を育む。

②募集対象・募集人数

・はたおり親子体験	市内小学生親子	午前午後各6組
・夏休み編み物体験	地区の小学生	15人
・凧づくり体験	地区の小学生	30人

③プログラム

回	実施日(曜日)	学習内容	講師
1	7月23日(土) 10:00~12:00 13:00~15:00	はたおり親子体験	和田はたおり保存会
2	8月29日(水) 10:00~14:00	夏休み編み物体験教室	手芸教室講師 手芸教室生徒
3	12月17日(日) 9:00~14:00	凧づくり教室	和田地区青少年育成住民会議 和田地区青少年相談員 和田子ども会

④講座を終えて はたおり体験は、和田はたおり保存会を講師として親子対象に、佐倉市では特に和田地区で行われていたはたおりという伝統工芸の体験をするものであり、その機会の提供ができた。

夏休み編み物体験は、長命大学で公民館を利用している高齢者が小学生を指導することにより、世代間交流ができたとともに、子どもたちが、一つの編み物作品を作り出す喜びを味わうことができた。

今年度も、14人と多くの参加があり手作りの楽しさをあらためて知ったようであった。

凧づくりは、和田地区青少年育成住民会議、和田子ども会、和田青少年相談員の共催で実施し、親子で伝統的な彦一凧作りを行った。作ることに大変さはあるが、それも一つの学びであり、伝統的な凧づくりを通して貴重な機会が提供出来ていると捉えられる。

お昼には、子ども会の保護者等の方々が料理作りをして下さり、みんなで楽しく美味しくいただきました。

### 3. 成人教育事業

#### 佐倉・城下町 400 年記念事業 北条氏勝ゆかりの地めぐり

- ①開催趣旨 和田・弥富地区にある北条氏勝ゆかりの地をめぐり郷土の歴史を学ぶ。  
 ②募集対象・募集人数 市内成人 20人  
 ③プログラム

回	実施日(曜日)	学習内容	講師
1	10月22日(日) 13:30~16:00	居城岩富城について	外山 信司 氏
2	10月29日(水) 13:30~16:00	菩提寺宝金剛寺について	遠山 成一 氏

#### ④講座を終えて

この事業は佐倉・城下町 400 年事業の最終年度という事で弥富公民館と共催で実施したものである。両地区においてゆかりのある北条氏勝を取り上げる事で今まであまりクローズアップされてこなかった小田原北条家の房総における展開や中世の歴史全般を学習する事が出来た。参加者の満足度も高かった。地域のアイデンティティを醸成する機会ともなった。

#### 佐倉・城下町 400 年記念事業 ワラぞうりづくり

- ①開催趣旨 本物のワラぞうりを作る貴重な機会とする。  
 ②募集対象・募集人数 市内成人 20人  
 ③プログラム

回	実施日(曜日)	学習内容	講師
1	1月21日(日) 13:00~15:30	ワラぞうりづくり	千葉県房総のムラ

#### ④講座を終えて

この事業も佐倉・城下町 400 年事業の最終年度に合わせて実施したものであり、千葉県房総のムラより講師を招いて行った。

江戸時代より主流となった日本の伝統的な履き物を自分で作り上げていく貴重な体験を提供出来た。

#### 佐倉・城下町 400 年記念事業 ミニぞうりづくり

- ①開催趣旨 江戸時代の作り方で現代風にアレンジした“ミニぞうりのストラップ”を作る。  
 ②募集対象・募集人数 市内成人 12人  
 ③プログラム

回	実施日(曜日)	学習内容	講師
1	2月 4日(日) 13:00~15:30	ミニぞうりストラップの作成	和田小PTA団体

#### ④講座を終えて

毎年、和田小PTA団体が講師となり、懇切丁寧な指導を行ってくれるので参加者はとても満足していた。

### 佐倉学体験講座 ふるさと味工房

①開設趣旨 地域の伝統的食材を生かして地域間交流を図り、食文化の伝承を図る。

②募集対象・募集人数 市内の成人 15人

③プログラム

回	実施日(曜日)	学習内容	講師
1	6月27日(火) 9:30~13:00	和田の新鮮野菜料理講座	佐々木 寿美子
2	11月11日(土) 9:30~13:00	太巻き祭り寿司講座①	伊藤 芙美子 (伝統料理研究家)
3	11月28日(火) 9:00~13:00	こんにゃく作り体験	牛玖 昌弘
4	1月24日(水) 9:30~13:00	和田の新鮮野菜料理講座	食生活改善推進員 和田支部
5	2月20日(火) 9:30~13:00	太巻き祭り寿司講座②	石渡 暁子 (伝統料理研究家)

④講座を終えて

ふるさと味工房については、和田地区の農業の特長を活かし、地元の新鮮な食材を使用して食文化の伝承を図るとともに、地域の食文化について考える場となった。この講座は、とても人気があり多くの方の参加をいただき、調理をしながら・食事をしながらいろいろな裏ワザや食に関する情報の提供ができ、参加者は楽しく講座に参加していた。

### 佐倉学入門講座 楽しく学べる和田地域塾

①開設趣旨 地域住民の協力を得ながら、和田地区の歴史・自然・生活・民俗を学び、実際に伝統文化等の体験をし、豊かな自然を体感することにより、郷土に対する関心を高め、魅力を再発見する。

②募集対象・募集人数 市内の成人 15人

③プログラム

回	実施日(曜日)	学習内容	講師
1	6月24日(土) 13:00~15:00	オリエンテーション 田んぼの生き物観察	和田未来農業研究会 藤崎 言行 氏
2	7月15日(土) 19:00~21:00	和田の蛍鑑賞会	和田未来農業研究会 藤崎 言行 氏
3	8月19日(土) 9:30~12:00	陶芸体験①	地元陶芸家 安本 幸世 氏
4	9月 9日(土) 9:30~12:00	陶芸体験②	地元陶芸家 安本 幸世 氏
5	10月28日(土) 9:30~16:00	和田の野草と地域散策	佐倉野草会 近藤維久子
6	11月12日(日) 9:30~12:00	和田野菜収穫体験	和田未来農業研究会 藤崎 言行 氏
7	12月17日(日) 9:30~12:00	陶芸体験③	地元陶芸家 安本 幸世 氏
8	1月14日(日) 9:30~12:00	和田食材料理づくり	佐々木 寿美子 氏



- ④講座を終えて 佐倉学入門講座として本事業を開設しており、和田で行われている新しい農業の取組みの体験等を行った。地元住民との交流の中で歴史・自然・伝統文化等を知るための貴重な機会になった。

### 和田地区防災講習会

- ①開設趣旨 地域づくり活動として現場で役立つ防災や防犯についての実践的な講習、訓練等を行う。  
 ②募集対象・募集人数 地区の成人 50人  
 ③プログラム

回	実施日(曜日)	学習内容	講師
1	1月28日(土) 13:30~15:30	消火器・煙体験・AED講習・災害に係る講話	佐倉市八街市酒々井町 消防組合佐倉消防署

- ④講座を終えて  
 和田地区社会福祉協議会と共催し、佐倉市八街市酒々井町消防組合佐倉消防署を講師として招き、様々な体験、講習を実施して災害に係る講話を聞いた。  
 災害の備えの重要性や事故などの突然の状況への対応方法なども学習出来た。

### 長命大学手芸教室

- ①開設趣旨 手芸を通して親睦交流を深め、生きがいづくりを図る。また、受講生が再利用を通じて物を大切にすることを子どもたちに指導する。  
 ②募集対象・募集人数 60歳以上の成人 10人  
 ③実施期間 平成29年4月14日~平成30年3月9日 12回  
 ④講座を終えて 長年にわたる活動により、手芸技術はかなり高度なものになってきているが、新しい編み方の教授・指導を受ける中で、受講生の学びに対する意欲が高まっている様子が伺えた。  
 また、夏休みには、編み物体験教室を開催し、受講生が講師となり、子どもたちとの交流を持つ中で、教えることの喜び・生きがいを感じる場を提供することができた。

### 長命大学交流会

- ①開設趣旨 長命大学生と地区の成人が集い、心身ともに健康で生きがいのある生活を過ごし、また、世代間の交流を図るため和田地区交流バス見学会を実施する。  
 ②募集対象・募集人数 地区の成人(子・孫の参加可) 40人程度  
 ③実施日 平成30年3月17日 1回  
 ④講座を終えて  
 館山を中心に南房総の歴史や地場産食材を味わうなど、学習・交流を図る事が出来て有意義な機会となった。世代間交流を進める事は相互理解を図るというになり、そのために高齢者はもとより、多様な世代にとって魅力ある事業とする事が重要である。今後も地域住民のニーズを見定め事業展開をする必要がある。

### いきいき生活講座

- ①開設趣旨 高齢者向けに詐欺に遭わないための防止対策を行う必要がある。  
 ②募集対象・募集人数 地区の高齢者  
 ③実施日 平成29年8月8日 1回  
 ④講座を終えて 佐倉警察署より講師を招き、高齢者向けに様々な詐欺に遭わないようにするための防止対策について講義が行われた。参加者も十分納得していたようであり、今後に活かされるものと感じた。

## 4. コミュニティ事業

さくら学び塾 『和みの生き方「和道」』～自然・社会・心と体の3つの調和～

①開設趣旨 本講座は、地域そのものや地域課題への関心を高める学習機会を提供することで「共に生き、支えあう」地域づくりに寄与する人材の育成を図る「コミュニティ事業・さくら学び塾」として、市民公募による講師の企画に基づき開設する。

②募集対象・募集人数 市内の成人 20人

③プログラム

回	実施日(曜日)	学習内容	講師
1	11月 5日(日) 10:00～12:00	「和みの生き方」と「和道」の由来について	和のコンセプトデザイナー 廣瀬 輝子 氏
2	12月 9日(土) 10:00～12:00	年中行事に込められた先人たちの命への思い	〃
3	1月20日(土) 10:00～12:00	日常の挨拶、話し方から日本人のたしなみを学ぶ	〃
4	2月18日(日) 10:00～12:00	和食の基本調味料の知識と簡単常備だしの工夫	〃

④講座を終えて

先人たちによる「幸せに生きる知恵」により、新しい情報に振り回されず、地に足を付けた確かな暮らし「和みの生き方～和道」を専門講師の指導により、連続で実施した。日本の伝統行事等の由来、それらを生かして現代風にアレンジするモダンな生き方や和食の重要さなどの講義が行われ、参加者にとって有意義な機会を提供出来た。

## 5. 団体育成事業

---

### ①和田地区青少年育成住民会議

近年、青少年を取り巻く環境は著しく変化しそれに伴い青少年に関する問題は複雑かつ深刻化している。こうした問題を解決するため、市民1人ひとりが問題解決に取り組み、家庭や学校、そして地域がそれぞれの立場で、各種団体と行政が協働して健全育成を推進していくことを目的に、昭和57年、佐倉市青少年育成市民会議が結成された。

組織としては市内7地区の青少年健全育成住民会議と、子ども会育成連盟、PTA連絡協議会などその他構成団体からなり、事務局は佐倉市健康こども部児童青少年課が行っている。

和田地区青少年育成住民会議は、地域住民が相互に連携協力し、青少年の健全な育成と非行防止、福祉の向上を図るため、研究並びに協議を行い、地域ぐるみ活動を伸長させることを目的としている。

主な活動としては、防犯パトロールや地域行事の企画・運営、各種団体への助成などを行っている。

### ② 和田小学校PTA民俗資料収集委員会

昭和45年、和田小学校PTAが校史編纂と民俗資料の収集活動をはじめ、昭和46年11月に収集委員会を設置した。収集された民俗資料は、和田小学校郷土学習室、和田公民館民俗資料室での公開を経て平成11年10月に佐倉市へ寄贈された。

ふるさとまつりでの伝承遊びの実演、年末に行われる市民を対象としたしめ飾り講習会、和田小学校生徒へのミニしめ飾り講習会など和田の特色を生かした活動を実施し、地域の教育力の向上を目指した。公民館では地域の民俗や歴史学習の一環として収集委員会の活動を援助している。

### ③和田はたおり保存会

和田小PTA民俗資料収集委員会の活動で収集されたはたおり機を、地元の高齢者が中心となって復元し、昭和51年に和田公民館で開講したはたおり講座の受講生によって、和田はたおり保存会が結成された。公民館では、和田地区の伝統技術の保全と、はたおり機の動態保存の面から援助を行っている。主な活動としては、年間を通じての定期活動や綿の栽培、歴史民俗資料室を訪れた小学生に対して、糸づくりやはたおり機の実演を行った。

## 6. 広報・展示事業

---

### 公民館だより

- ねらい 公民館主催事業の情報提供をし、公民館活動への積極的な参加を図る。
- 発行回数 年4回（9月号、10月号、12月号、2月号）
- 発行部数 各780部（1月号は和田地区住民対象事業のみのため680部）
- 配布方法 区長を通し全戸配布及び公共施設配布

### 歴史民俗資料室展示

- ねらい 和田地区の歴史環境・自然環境及び地域の人材を活用した地域づくりの事業を展開し、学校教育の支援も行う。市内小学校社会科見学において、はたおり保存会によるはたおりの実演、家庭教育学級参加者による展示物の解説を行った。
- 期間・回数 開館日数 333日 来館者数 1,205人  
うち小学校社会科見学等団体来館数  
平成29年5月24日～平成30年2月23日 13団体 755人

## 7. 図書事業

### 図書貸し出し

○ねらい 読書活動を支援していくと共に、個人学習や集団学習への資料提供を行い学習の深化を図る。リクエストの受付や他館からの返却受付などの利用者の便を図る。また、和田地区関連資料や佐倉市関連資料のコーナーを設け資料収集し、貸し出すことにより、地域理解を深めるための支援を行う。

○蔵書数 1,800冊

### 月別貸出数・返却数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
貸出数	14	2	1	5	12	33	19	18	13	23	1	55	196
返却数	29	19	8	35	40	70	37	44	93	44	0	130	549

# 弥富公民館

## 弥富地区の概要

弥富地区は、佐倉市のほぼ中央を流れる鹿島川の上流とその2本の支流に沿って田畑が作られ、その周囲に形成された集落群です。佐倉市の南部に位置し、千葉市・八街市・四街道市と接して695世帯、1,540人が住み、約13.3km<sup>2</sup>の面積を持つ穏やかな田園地帯です。

地区の中心産業である農業は、時代の変化とともに、耕作面積、農業戸数・農業者人口とも減少を続けています。また、弥富地区全域は市街化調整区域であり、就業形態が変化しても、人口増加は望めない現状にあります。その意味では、過疎化に伴う日本の農村の問題が顕著に見られる地域である、とも言うことができます。

このような中で、企業の研究所の設置や美術館の開館など新しい息吹を感じさせるようになってきました。さらに弥富地区と千葉市にまたがる地域にちばリサーチパークという研究施設等の大規模開発が行われ、新しい時代に向かった流れが徐々に広まりつつあります。

### 弥富地区のデータ

【平成30年3月末現在】

○弥富地区：面積	約13.3km <sup>2</sup>	(佐倉市：面積	103.69km <sup>2</sup> )		
○ 〃	：住基人口	1,540人	( 〃	：住基人口	176,059人)
○ 〃	：人口密度	115人/km <sup>2</sup>	( 〃	：人口密度	1,697人/km <sup>2</sup> )

# 1. 公民館運営計画

---

## 運営方針

佐倉市立公民館活動計画を基本として、地域の魅力、歴史、伝承文化等の特性を生かしながら、地域課題や住民のニーズに即した学習機会を提供し、元気の出るまちづくりにつながる生涯学習を実施するとともに、心豊かで活力に満ちた人づくりと、地域づくりの推進に努める。

## 努力目標

- 地域の実情に即した学級・講座の充実を図る。
- 地域住民が気軽に足を運び、利用できるような公民館となるように努める。
- 小学校・幼稚園の保護者との連携を密に保つ。
- 地域で活動している諸団体と協力体制を強化し、相互の活動が活発化するよう図る。
- 公民館施設が有効利用されるよう努める。

## 事業内容

### 1. 学級講座

楽しく、共に学び合う場を作り、みんながふれあい、みんなで考え、みんなで何ができるのか考える場にする。

### 2. 広報・団体育成事業

公民館事業のお知らせや、地域の学習、生活情報の提供をする中で、地域住民に公民館への関心を持ってもらおうと共に、利用団体、関係団体との交流、育成を図る。

### 3. 施設の提供

- 開館時間
  - ①月・日曜日、祝日 午前9時～午後5時
  - ②火～土曜日 午前9時～午後9時
  - ※夜間の使用申込みがない場合は午後5時で閉館
- 休館日 第2・第4月曜日及び年末年始（12月28日～1月4日）



## 2. 公民館利用状況

### 年度別利用状況

区分	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
利用件数 (件)	1,319	1,306	1,366	1,323	1,326
利用人数 (人)	12,365	11,513	12,746	11,082	10,355
開館日数 (日)	292	293	335	333	333

### 平成29年度施設別年間稼働率

施設名称	利用可能回数	利用回数	稼働率
大会議室	7,314	4,818	65.9%
中会議室	7,314	2,505	34.2%
調理実習室	7,290	2,594	35.6%

領域	事業名	対象	期間・回数	内容
家庭教育	親子遊びのつどい	1～3歳児とその保護者 8組	前期 6/6 4組8人 6/20 3組6人 7/4 3組6人 7/18 2組4人 8/8 4組8人 後期 10/10 3組6人 10/24 3組6人 11/7 3組6人 11/21 4組8人 12/12 4組8人	各回の学習テーマにより、親子のできる運動、小麦粉粘土、工作、絵本の読み聞かせ、水遊びなどを実施。楽しく遊びながら親子のスキンシップを深めるとともに子育てについて学んだ。 6/6「開講式・元気に遊ぼう」 6/20「新聞紙で遊ぼう」 7/4「小麦粉粘土で遊ぼう」 7/18「おもちゃを作って遊ぼう」 8/8「夏の遊びでお楽しみ会」 10/10「うたとダンスで元気に遊ぼう」 10/24「公民館アスレチックで遊ぼう」 11/7「秋の自然と遊ぼう」 11/21「伝承遊びをしよう」 12/12「クリスマスお楽しみ会」
	家族で遊ぼう	小学校入学前の子供と家族 12人	10/8 6人	家族での体験活動を通じて、親子の触れ合いの大切さを学習した。和田公民館と合同でマジックバルーン体験を実施。
青少年教育	弥富剣道教室	小・中学生 20人	5月～3月 38回 16人参加	剣道及び千葉県指定無形文化財「立身流」の稽古を通じて青少年の健全育成を図った。
	星空観察会	弥富小学校 児童と保護者	8/20 32人 10/22 中止	天候不順のため、プラネタリウムソフトを使用し天体の動きと夏の星座について学習した。10月実施の星空観察会はオリオン座流星群を観察予定であったが、悪天候のため中止した。
	手作りかご教室	4年生以上の 弥富小学校児童	8/3 8人 8/4 8人	工作を通じて子供たちの創造性を育むとともに、講師として地域人材の活用を図った。
	佐倉っ子塾 「なんでも体験弥富塾」	弥富小学校児童	5～2月 10回 5/27 27人 6/11 26人 6/24 20人 7/31 37人 9/16 21人 11/11 22人 12/9 25人 1/13 25人 1/27 19人 2/24 40人	児童の環境意識・想像力と郷土愛を育むことを目的に、自然体験・工作・料理等を地域の人材を活用して体験型講座を実施した。 5/27「かんたん手作りおやつづくり」 6/11「ザリガニ釣り」 6/24「グラウンドゴルフ」 7/31「バス見学(鉄道博物館)」 9/16「チャレンジクッキング」 11/11「身近な素材を使っておもちゃ作り」 12/9「オリジナル連凧を作ろう」 1/13「お餅をついて成木を作ろう」 1/27「竹馬に挑戦しよう」 2/24「バス見学(東京ジョイポリス)」
成人教育	春の弥富散策会	市内の成人 12人	3/29 13人	自然豊かな弥富地区の散策や地域の風習等の参加体験を通して、地区に対する理解を深めた。弥富地区を散策し、地区で見られる野草や鳥などを観察した。
	グラウンドゴルフ	弥富地区の住民	6/24 31人	児童から高齢者まで幅広く層が一緒にプレーできるグラウンドゴルフを弥富地区シニアクラブとの共催で実施。地区住民の健康増進と異世代間の交流を図った。
	竹炭づくり体験	市内の成人 8組	11/26 8人	弥富地区の自然を活かした竹炭づくりの技法を体験することにより地域への理解を深めた。
	健康づくり講座	弥富地区の成人 12人	10/19 16人 10/26 13人 11/2 14人 11/9 11人	屋内で簡単にできるストレッチや体操など、日常生活に必要な基礎体力を維持するための運動方法を学び、地域住民の健康増進を図った。今年度はピラティスを実施。
	佐倉学	佐倉・城下町400年記念事業 佐倉学入門講座 北条氏勝ゆかりの地めぐり	市内の成人 20人	10/22 14人 10/29 17人
佐倉学入門講座 「中世の弥富」		市内の成人 30人	6/29 26人 7/13 26人	中世の鹿島川流域と当時の弥富地区、弥富原氏について学習し、郷土への理解を深めるとともに、地域外の市民にも弥富地区の歴史的魅力を伝えた。

領域	事業名	対象	期間・回数	内容
成人教育	佐倉学入門講座 「弥富の民俗」	市内の成人 12人	1/14 10人	弥富地区に残る民俗・風習等について学び、地域への理解を深める。 今年度はどんど焼き体験を実施。
	佐倉学体験講座 「くらしの講座」 ・バス研修 ・太巻き祭り寿司 ・布ぞうり作り	弥富地区の成人 8~50人	6月~3月 8回 6/22 28人 6/27 10人 7/ 3 17人 10/31 10人 1/25 6人 2/23 12人 2/28 4人 3/27 30人	弥富地区で継承されてきた生活文化等を次代に伝えると共に世代間を越えた交流を図り、地域に対する郷土愛を育んだ。また、地域人材の活用・育成を図った。 6/22 「バス研修 (川越市)」 6/27 「米粉のロールケーキ」 7/ 3 「こどもとネットリテラシー」 10/31 「米粉でクッキング」 1/25 「太巻き祭り寿司 (初級者編)」 2/23 「太巻き祭り寿司 (指導者養成編)」 2/28 「布ぞうりづくり」 3/27 「バス研修 (横浜市)」
	佐倉・城下町400年記念事業 佐倉学専門講座 「塩古ざるづくり」	市内の成人 10人	9/12 8人 9/13 7人 9/14 3人 11/14 7人 11/15 5人 11/16 6人 11/17 5人	弥富周辺地域(塩古郷)に昔から伝わるざる作りの技法を次世代に継承するため、材料づくりから編み上げまでの技法を学んだ。
コミュニティ事業	さくら学び塾 老後破綻を防ぐには~高齢期の現状。iDeCoとNISA、資産運用入門~	市内の成人 20人	11/29 5人 11/ 5 4人 11/12 5人	さくら学び塾(学びあい講座)として、市民公募による講師の企画に基づき開設する。 自分の老後の生活に備えるための貯蓄段階としての資産形成・運用の手段・メリット・デメリットについて学んだ。
広報活動	公民館だより	弥富地区全世帯	年3回 5/12 600部 9/19 600部 1/ 9 600部	5月号・9月号・1月号を発行、弥富地区全世帯に配布した。
団体育成	地域まちづくり協議会 ふるさと弥富を愛する会	弥富地区の住民	通年	ふるさと弥富を愛する会の主催事業への協力等を通じて活動を支援した。
	弥富地区青少年健全育成住民会議	弥富地区の住民	11/23 33人	青少年健全育成住民会議主催の地区グラウンドゴルフ大会の開催の協力等を通じて活動を支援した。

# 1. 家庭教育事業

## 親子遊びのつどい

- ①開設趣旨 子育てにおける家庭の働き、あり方や子どもの発達に必要な事柄について親子遊びを通して学習する。また、幼児が点在し少ない弥富地区において、子どもと保護者双方の交流の場とする。
- ②募集対象 市内在住の2・3歳児とその保護者 8組
- ③プログラム

回	実施日(曜日)	学習内容	講師
1	6月6日(火) 10:00~11:30	開講式・元気に遊ぼう	蓮 淳子
2	6月20日(火) 10:00~11:30	新聞紙で遊ぼう	〃
3	7月4日(火) 10:00~11:30	小麦粉粘土で遊ぼう	〃
4	7月18日(火) 10:00~11:30	おもちゃを作って遊ぼう	〃
5	8月8日(火) 10:00~11:30	夏の遊びでお楽しみ会	〃
6	10月10日(火) 10:00~11:30	うたとダンスで元気に遊ぼう	〃
7	10月24日(火) 10:00~11:30	公民館アスレチックで遊ぼう	〃
8	11月7日(火) 10:00~11:30	階段や坂道を探検しながら歩く。	〃
9	11月21日(火) 10:00~11:30	伝承遊び	〃
10	12月12日(火) 10:00~11:30	クリスマスお楽しみ会	〃

- ④講座を終えて この年齢期における親子のふれあいは、子どもの発達に非常に大切であり、様々なプログラムを通して親子で共に活動することの意義は大きい。本講座に参加することで新たな保護者同士の交流も図られ、子育てに関する情報共有の場となった。

### 家族で遊ぼう

- ①開設趣旨 子どもたちが、友達との遊びやものづくりを通して、遊ぶことの楽しさ、大切さを学ぶとともに、保護者も一緒に参加することで子育てについて考え、学習することのできる場とする。  
また、休日に実施することによって父親の子育て参加を促し、家族で触れ合える機会を提供する。
- ②募集対象 市内在住の小学校入学前の幼児と家族 12人
- ③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	10月8日（日） 10：00～12：00	和田公民館との合同事業としてマジックバルーン	菊池 賢

- ④講座を終えて 「親子遊びのつどい」を発展させ、開催日を休日に設定することにより、母親だけでなく父親の参加も促し、家族そろって共通の体験を通して絆を深める機会を提供した。和田公民館と合同で事業を実施し、和田ふるさと館にてマジックバルーン体験を実施した。

## 2. 青少年教育事業

### 弥富剣道教室

- ①開設趣旨 弥富地区に伝わる千葉県指定無形文化財「立身流」の次代継承と剣道の稽古を通して、児童・生徒の心身の鍛錬と健全育成及び異年齢交流を図るとともに郷土愛を育む。
- ②募集対象 市内在住の小中学生 20人
- ③期間・回数 平成29年5月～平成30年3月 午前9時30分～11時30分 38回
- ④指導者 樫村 典久、田中 眞次、山本 幹夫、加賀谷 順
- ⑤講座を終えて 剣道と共に千葉県指定無形文化財「立身流」の技と精神を学び、佐倉市で開催された立身流抜初演武大会に参加するなど、日頃の修練の成果を披露することができた。剣道では年間を通して稽古に励み、和田剣道教室と合同稽古を行うなど、子どもたちの心と体を鍛えることができた。

### 星空観察会

- ①開設趣旨 弥富地区の豊かな自然の中、星空を観察することで自然科学への興味を育む。また、季節ごとの星座の移り変わりや天体の動きについて学習する。
- ②募集対象 弥富小学校の児童と保護者
- ③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	8月20日（日） 18:00～21:00	プラネタリウムソフトを使って天体の動きと夏の星座を学習する。	公民館職員

- ④講座を終えて 観察会の前に当日のプラネタリウムを上映し、星の動きを学習してから観察を行う予定であったが悪天候のため、星の観察はできなかった。また、2回目の観察会ではオリオン座流星群を観察予定であったが、悪天候のため中止となった。

### 手作りかご教室

- ①開設趣旨 工作を通じて子供たちの創造性を育むとともに、講師として地域人材の活用を図る。
- ②募集対象 4年生以上の弥富小学校児童 10人
- ③実施日・回数 平成29年8月3日（木）・4日（金） 2回 午後1時～4時
- ④学習内容 クラフトバンドを使用し、かごの作り方を学ぶ。
- ⑤講座を終えて 今年度初めて実施した事業であり、地元の方に講師をお願いした。2日間の実施でそれぞれ作品を完成させることができた。弥富公民館では塩古ざるの作成技法を伝承する事業も行っており、そちらへの興味を持つことが出来るよう工夫し、継続していきたい。

### 佐倉っ子塾 なんでも体験弥富塾

- ①開設趣旨 自然体験や工作、料理など様々な体験活動を通じて子どもたちの創造性や協調性、豊かな心を育む。
- ②募集対象 弥富小学校の児童
- ③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
---	---------	------	----

1	5月27日(土) 9:30~11:30	かんたん手作りおやつづくり	食生活改善推進員
2	6月11日(日) 9:00~11:00	昔ながらの川遊び (ザリガニ釣り)	公民館職員
3	6月24日(土) 13:30~16:00	グラウンドゴルフ	弥富地区シニアクラブ
4	7月31日(月) 8:30~17:15	バス見学Ⅰ(鉄道博物館)	公民館職員
5	9月16日(土) 9:30~12:30	チャレンジクッキング	食生活改善推進員
6	11月11日(土) 9:30~11:30	身近にある素材を使っておもちゃづくり	大山 登美枝
7	12月9日(土) 9:30~11:30	オリジナル連凧をつくろう!	青少年相談員
8	1月13日(土) 9:30~11:30	お餅をついて成木づくり!	公民館職員
9	1月27日(土) 9:30~11:30	竹馬に挑戦しよう	飯塚 進
10	2月24日(土) 8:30~17:00	バス見学Ⅱ(東京ジョイポリス)	公民館職員

④講座を終えて 様々なプログラムを通じて、子どもたちの豊かな心を育む機会を提供することができた。弥富小児童の約7割の参加が得られており、6年間参加する児童も多いので、更なる事業の充実に向けて努めていく必要がある。

## 3. 成人教育事業

---

### 春の弥富散策会

- ①開設趣旨 自然豊かな弥富地区の散策を通して、地区で見られる野草や鳥などを観察し、地区に対する理解を深める
- ②募集対象 市内の成人 12人
- ③実施日・回数 平成30年3月29日(木) 1回 午前9時～12時
- ④学習内容 弥富地区を散策し、自然観察を行う。
- ⑤講座を終えて 散策でカタクリの群生地を訪れるなど、豊かな自然が残る弥富地区への理解を深める機会を提供することができた。

### グラウンドゴルフ大会

- ①開設趣旨 児童から高齢者まで幅広い世代と一緒にプレーできるグラウンドゴルフを通して、異世代間の交流と地区住民の健康増進を図る。
- ②募集対象 弥富地区の住民
- ③実施日・回数 平成29年6月24日(土) 午後1時30分～4時 1回
- ④学習内容 グラウンドゴルフ
- ⑤講座を終えて  
多くの高齢者に参加してもらうため地域の高齢者団体との共催とした。楽しくグラウンドゴルフをしながら、地域住民の健康増進と異世代間の交流が図られた。

### 竹炭づくり体験

- ①開設趣旨 昔より伝わる竹炭づくりの技法を体験することにより、弥富地区の自然と伝統について理解を深めてもらう。
- ②実施日・回数 平成29年11月26日(日) 午前9時30分～午後2時 1回
- ③募集対象 市内の成人 8組
- ④学習内容 竹炭づくりの体験
- ⑤講師 中村 恵夫
- ⑥講座を終えて 竹炭づくり体験は弥富地区ならではの講座であり、他地区の方に弥富地区の良さを伝える事ができた。

### 健康づくり講座 ピラティス教室

- ①開設趣旨 日常生活に必要な基礎体力を維持するための運動方法を学ぶことにより健康増進を図る。
- ②実施日・回数 平成29年10月19日、26日、11月2日、11月9日(金) 午後1時～2時 4回
- ③募集対象 弥富地区の成人 20人
- ④学習内容 ピラティス
- ⑤講師 尾崎 美香
- ⑥講座を終えて 弥富地区は市内で高齢化率が一番高いこともあり、高齢者を対象とした健康づくりは地域課題のひとつである。今年度は、ヨーガに似た運動で、身体全体を整え、体幹の強化や、柔軟性、バランスの向上を促し、筋肉の緊張を正常な状態に戻し、姿勢の改善や、肩こりや腰痛の改善、骨盤底筋群の機能改善にも有効とされているピラティスを実施した。

### 佐倉・城下町400年記念事業 佐倉学入門講座「北条氏勝ゆかりの地めぐり」

- ①開設趣旨 小田原北条氏の一族である北条氏勝のゆかりの地である岩富城跡や、宝金剛寺などをめぐり、専門家等からの講話を聴くことで往時を偲び、郷土の歴史を



学習する

②募集対象 市内の成人 20人

③プログラム

回	実施日(曜日)	学習内容	講師
1	10月22日(日) 13:30~16:00	岩富城主となった玉縄北条氏	外山信司
2	10月29日(日) 13:30~16:00	修復された位牌について~大檀主北条氏勝と中興開山覚朝~ 戦国期佐倉領における和田地区の位置	文化課職員 遠山成一

④講座を終えて この事業は佐倉・城下町400年事業の一環として和田公民館と共催で実施した事業であり、和田・弥富両地区にゆかりがある北条氏勝をメインとして実施した。本来であれば岩富城跡への散策・見学を企画していたが悪天候のため見学を実施することが出来なかった。しかしながら、アンケートによると参加者の満足度は高く、歴史学習の素材として魅力ある学習講座が提供できた。

#### 佐倉学入門講座「中世の弥富」

①開設趣旨 中世の鹿島川流域と当時の弥富地区、弥富原氏について学習し、郷土への理解を深めるとともに、地域外の市民にも弥富地区の歴史的魅力を伝える。

②募集対象 市内の成人 30人

③プログラム

回	実施日(曜日)	学習内容	講師
1	6月29日(木) 13:30~15:00	中世の鹿島川流域について	高橋健一
2	7月13日(木) 13:30~15:00	中世の弥富と原氏について	高橋健一

④講座を終えて 「北条氏勝ゆかりの地めぐり」のプレ講座として実施し、中世の弥富の歴史を地理と人物二つの観点から学ぶことができた。

#### 佐倉学入門講座「弥富の民俗」

①開設趣旨 弥富地区に残る民俗・風習について学び、地域への理解を深める。

②募集対象 市内の成人 12人

③実施日・回数 平成30年1月14日(日) 午後5時30分~8時30分

④講師・協力 公民館職員・岩富地区

⑤学習内容 どんど焼き体験

⑥講座を終えて 市の無形民俗文化財に指定されているどんど焼きの体験を通して弥富地区に伝わる歴史や民俗を学ぶことができた。

#### 佐倉学体験講座「くらしの講座」

バス研修

- ①開設趣旨 地区外のさまざまな文化に触れることにより、自分たちの生活を見直し、豊かにするためのきっかけづくりとする。
- ②募集対象 弥富地区の成人 50人
- ③期間・回数 平成29年6月22日(木)、平成30年3月27日(火) 午前8時30分～午後5時 2回
- ④学習内容 6/22 埼玉県川越市 蔵づくりの街並み  
3/27 神奈川県横浜市 横浜税関資料展示室 他

#### 米粉のロールケーキづくり・米粉でクッキング

- ①開設趣旨 調理実習を通して世代間の交流を図るとともに、弥富地区在住の方を講師とすることで、地域の人材育成を図る。
- ②募集対象 弥富地区の成人 10人
- ③期間・回数 平成29年6月27日(火)、10月25日(水) 午前9時30分～午後1時 2回
- ④学習内容 調理実習
- ⑤講師 石渡 暁子

#### こどもとネットリテラシー

- ①開設趣旨 昨今、技術の発達によりスマートフォンやタブレットなどを用いた情報の収集や発信が容易になっているが、軽率な情報発信などによる被害だけでなく、他者の人権を侵害してしまうケースも増えており、便利な道具をむやみに怖がるのではなく、上手に使いこなすためにこどもと大人がどのようなことを心がければ良いかを事例とディスカッションを通して学ぶ。
- ②募集対象 弥富地区の成人 30人
- ③期間・回数 平成29年7月3日(月) 午後1時～2時 1回
- ④学習内容 講義・ディスカッション
- ⑤講師 東京女子大学コミュニケーション専攻 竹下 美穂

#### 太巻き祭り寿司講座

- ①開設趣旨 千葉県の郷土料理である太巻き寿司の技法を学び、地域で指導できる人材を育成するとともに参加者同士の交流を深める。
- ②募集対象 弥富地区の成人 12人
- ③期間・回数 平成30年1月25日(木)、2月23日(金) 午前9時～午後2時 2回
- ④学習内容 太巻き祭り寿司の技法や指導方法の習得
- ⑤講師 三須 幸子、伊藤 芙美子

#### 布ぞうりづくり講座

- ①開設趣旨 昔から伝わるぞうりづくり技法を次代に伝えると共に、世代間の交流を図る。
- ②募集対象 弥富地区の成人 8人
- ③実施日・回数 平成30年2月28日(水) 午前9時30分～午後3時 1回
- ④学習内容 布ぞうりづくり
- ⑤講師 三須 幸子、大西 ヤス

#### ○講座を終えて

千葉県の郷土料理である太巻き祭り寿司、ぞうりづくりなどの技法を学び郷土への理解を深めることができた。また、講師を地域の方をお願いするなど地域人材の活用

を図った。

#### 佐倉・城下町400年記念事業 佐倉学専門講座「塩古ざるづくり」

- ①開設趣旨 弥富周辺地域（塩古郷）に昔から伝わるざるづくりの技法を次世代に継承するため、材料づくりから編み上げまでの技法を学ぶ。
- ②実施日・回数 平成29年9月12日（火）～14日（木）、11月14日（火）～17日（金） 午前9時～午後4時 7回
- ③募集対象 市内の成人 10人
- ④学習内容 塩古ざるづくり
- ⑤講師 大西 ヤス
- ⑥講座を終えて 塩古ざるづくりの伝承をしていくためには、継続して学ぶ必要があるため、昨年度の参加者に対しても積極的に声掛けを行い、参加を促した。

## 4. コミュニティ事業

#### さくら学び塾 老後破綻を防ぐには～高齢者の現状。iDecoとNISA、資産運用入門

- ①開設趣旨 本講座は、地域そのものや地域課題への関心を高める学習機会を提供することで「共に生き、支えあう」地域づくりに寄与する人材の育成を図る「コミュニティ事業・さくら学び塾」として、市民公募による講師の企画に基づき開設する。
- ②募集対象 市内の成人 20人
- ③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	10月29日（日） 10：00～11：30	老後破綻を防ぐには～高齢者の現状。 iDecoとNISA、資産運用入門	杉林 昇
2	11月 5日（日） 10：00～11：30		
3	11月12日（日） 10：00～11：30		

- ④講座を終えて コミュニティカレッジ事業さくら学び塾として、講師を市民公募し、市民講師の企画により実施した。今後もコミュニティ事業として地域活動の担い手づくりを引き続き実施していく。

## 5. 団体育成事業

---

### 地域まちづくり協議会 ふるさと弥富を愛する会

地域まちづくり協議会は、各小学校区を基準として、区域内で活動する自治会・町内会を基盤に、地域で活動する団体・組織が、それぞれの目的や活動を尊重し合い、緩やかに連携・協力することで、地域が対応できる課題等について、協働して、その解決を図っていくことを目的とした組織である。

ふるさと弥富を愛する会は、平成20年9月12日に佐倉市市民協働の推進に関する条例第10条の規定に基づく市の認証を受け、弥富小学校区を活動区域として、主に次の活動を行っている。

1. 地域住民からの地域の将来像・本会が果たすべき役割などの意見交換により団体相互の連絡、交流、調整を行い課題発見する。
2. 地域住民からの積極的な意見公募により課題発見をし事業検討する。
3. 地域課題の対応を図るため環境保全事業として「ホテルの里づくり」を実施する。
4. 文化財等保護事業として岩富城址進入路の調査及び整備事業を実施する。
5. 伝統文化継承事業として「どんど焼き」を継続実施する。

弥富公民館では、各種事業に関する協力、支援を行っている。

### 弥富地区青少年育成住民会議

近年、青少年を取り巻く環境は著しく変化しそれに伴い青少年に関する問題は複雑かつ深刻化している。そのため市民一人ひとりが課題解決に取り組み、家庭や学校、そして地域がそれぞれの立場で、各種団体と行政が協同して健全育成を推進していくことを目的に、昭和57年、佐倉市青少年育成市民会議が結成された。

組織としては市内7地区の青少年健全育成住民会議、子ども会育成連盟、PTA連絡協議会などの構成団体からなり、事務局は佐倉市健康こども部児童青少年課が行っている。

弥富地区青少年健全育成住民会議は、地域住民が相互に連携協力し、青少年の健全な育成、非行防止及び福祉を図るため、研究並びに協議を行い、地域ぐるみの活動を伸長させることを目的としている。

主な活動としては、防犯パトロールや地域行事の企画・運営などを行っている。

弥富公民館では、地区グラウンドゴルフ大会などの事業実施に協力している。

## 6. 広報・展示事業

---

### 公民館だより

○ねらい 公民館事業・グループ活動・地域の話題などを紹介し、公民館活動への理解を深め、積極的な参加を図るとともに、地域の情報源となるような情報誌を目指す。

○発行回数 年3回（5・9・1月号）

○発行部数 600部/回

○配布方法 弥富地区の各区長を通じて全戸配布

# 根鄉公民館

## 根郷地区の概要

根郷地区は、佐倉市の南部に位置し、鹿島川右岸とその支流高崎川及び上流の南部川左岸に挟まれた丘陵地に位置しています。

「根郷」の「根」は、ものの根元を意味し、嶺・尾根に通じ、「郷」は、里・村を意味していますが、当地区は、台地上或いは台地の根もとを取り巻いて集積した集落により構成されており、旧石器時代、縄文、弥生期の土器出土、住居跡、古墳及び中世の城館跡などが点在し、古来より住みよい所であったと思われます。

中世は、上総介一族の勢力下にあった印東荘（古代末から中世にかけて佐倉・酒々井・富里に有った荘園）に属し、承平年間に千葉氏が支配するようになってから集落が点在しはじめ、現在のような村落が構成されたのは藩政時代に入ってからとなります。

明治22年4月、町村制が施行され、六崎、石川、城、木野子、神門、寺崎、太田、大篠塚、小篠塚の9地区により根郷村が発足しました。

当地区は、旧来、鹿島川と高崎川流域を中心に、稲作を主体とした農業が営まれる農村地帯でしたが、現在、地域全体では、農村地域に残る自然豊かな山野と田畑、藤治台・大作・大崎台・山王・春路等の住宅地域、さらにはJR佐倉駅周辺の商業地域、佐倉インターチェンジ周辺の臨空工業地域といった多面的な地域構成となっています。

地区内には、JR佐倉駅と東関東自動車道の佐倉インターチェンジがあり、鉄道と高速道路における佐倉市の玄関口となっており、さらに成田空港に近接する地の利を生かし、第1・第2・第3工業団地・熊野堂工業団地が整備され、本市の産業の中心地となっています。

また、地区内には、諸学校施設として、根郷小学校、寺崎小学校、山王小学校、南部中学校、根郷中学校、県立佐倉南高等学校（併設：県立印旛特別支援学校さくら分校）、千葉敬愛短期大学があり、文教地区としての側面もあります。

根郷地区の面積は、市域全体の16.9%に当たる約17.5km<sup>2</sup>、人口は14.5%に当たる25,561人ですが、今後は、独立行政法人都市再生機構施行による土地地区画整理事業「寺崎北」地区（施行面積46.3ha、計画人口5,000人）への転入等により緩やかな人口増加が見込まれると同時に、JR佐倉駅に近接する寺崎地区は、新たな商業集積地として発展しています。

### 根郷地区のデータ

【平成30年3月末現在】

○根郷地区	面積	約17.5km <sup>2</sup>	(佐倉市	面積	103.69km <sup>2</sup> )
○ "	住基人口	25,561人	( "	住基人口	176,059人)
○ "	人口密度	1,460人/km <sup>2</sup>	( "	人口密度	1,697人/km <sup>2</sup> )

# 1. 公民館運営計画

---

---

## 運営方針

佐倉市立公民館活動計画を基本として、根郷地区の特性を活かし、住民の生涯学習及び各種地域活動の場として中心的な役割を果たす施設となるように努める。

## 努力目標

- より多くの人に利用してもらえる施設となるよう、施設設備の提供等に工夫をこらすとともに、利用者に好感を持たれる対応に努める。
- 幅広い年齢層の幅広い要望に応え、時代のニーズに応じた多様な事業を展開する。
- 地域の社会資源を活用するため、また、郷土意識の高揚のための橋渡し役となるように努める。
- 地域に根ざした社会問題への関心の喚起に努める。
- 公民館に関係する各種団体と連携を密にし、活動の支援に努める。

## 事業内容

### 1. 施設・備品の提供

#### (1) 施設の提供

##### ①利用時間

月・火・日曜日・祝日 午前9時～午後5時

水・木・金・土曜日 午前9時～午後9時

※使用の受付は原則として、2ヵ月前の月初めから予約開始

(予約開始日の午前9時から抽選。抽選後は先着順に受付。回数制限なし)

##### ②休館日 第2・4月曜日及び年末年始(12月28日～1月4日)

#### (2) 備品の提供

①館内での利用に支障のない範囲で、備品・器具等の貸出しを行う。

②佐倉市市民部の所管する子ども御輿、イベントテントの貸出し事務の一部及び保管を取り扱う。

### 2. 学級・講座・講習会・見学会

受講者の対象別に家庭教育、青少年教育、成人教育の各事業に分けて実施する。

### 3. その他の事業

広報、体育・レクリエーション、図書、団体育成、情報提供、人材活用、個人学習などの事業を実施する。

## 2. 公民館利用状況

### 年度別利用状況

区分	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
利用件数 (件)	3,353	3,384	3,509	3,422	3,416
利用人数 (人)	37,366	35,688	35,404	37,381	33,794
開館日数 (日)	333	333	335	333	333

### 平成29年度施設別年間稼働率

施設名称	利用可能回数	利用回数	稼働率
ホール	3,440	3,047	88.6%
学習室1	3,440	1,931	56.1%
学習室2	3,440	1,864	54.2%
プレイルーム	3,440	1,608	46.7%
調理室	3,440	1,423	41.4%
和室	3,440	1,033	30.0%
集会室	3,440	1,989	57.8%



領域	事業名	対象	期間・回数	内容
家庭教育	親子で遊ぼう ぽっぽちゃんくらぶ	2・3歳児と保護者 30組 (15組×2回)	【前期】 14組28人 5/11 13組26人 5/18 13組26人 5/20 11組22人 5/25 11組22人 6/2 11組22人 6/8 13組26人 6/15 13組26人 6/22 9組18人 6/29 11組22人 7/1 9組18人 7/6 10組20人 7/13 12組24人 【後期】 19組38人 10/5 17組34人 10/12 16組32人 10/19 14組28人 10/26 11組22人 11/2 14組28人 11/4 10組20人 11/9 17組34人 11/16 14組28人 11/19 10組20人 11/24 13組26人 11/30 13組26人 12/7 15組30人	親子と一緒に運動や絵本・手遊び・工作などを楽しみ、幼児の様々な発達を促した。また、家族の参加日を前期後期それぞれ2回設け、保護者だけでなく、家族ぐるみの交流も図っている。
	子育て応援講座 イヤイヤ期を上手に乗り切る子育てトレーニング講座	2歳～未就学児を持つ保護者 15組	9/21 15人	ロールプレイングを取り入れ、講師の助言により保護者同士が話し合うことで、解決に向けての一助とした。
	親子体験教室	小学生及び保護者 10組	10組25人 5/13 6組16人 6/11 10組24人 7/22 9組22人 9/23 7組16人 10/7 2組 4人	屋外活動やもの作りなど、計画から準備までの全てを親子で協力して行い、親子の交流を図った。おもちゃ作り、実験、料理などを実施した。
	子育てママのためのヨガ・ストレッチ講座	1歳～未就学児を持つ保護者 15組	2/9 8人	同世代の子育て中の保護者たちが、ヨガやストレッチによって体を動かすことでリフレッシュするとともに、子どもと少しの時間離れてみる体験も行った。
青少年教育	根郷公民館 通学合宿	根郷小学校 4年～6年 14人	6/18～6/20 〔2泊3日〕 17人	異年齢の子どもたちが親元を離れ、共同生活を体験することで自主性・協調性などを高め、生きる力を育んだ。事業に協力する地域住民・学生との交流も図り地域の絆を強めた。
	体験ものづくり講座	おもしろ科学実験隊 小学4年～6年 15人 勾玉作り・水彩画教室 小学3年～6年 16人	おもしろ科学実験隊 6/3 10人 7/1 14人 8/5 9人 9/2 14人 10/7 11人 11/4 12人 12/2 12人 勾玉作り 7/31 16人 水彩画教室 7/28 15人	「おもしろ科学実験隊」は、高校教諭や大学教授を講師に、酸とアルカリや液体窒素などの実験を12月まで実施した。「勾玉作り」は、勾玉作りや展示した土器などを通じて、縄文時代の生活に触れた。「水彩画教室」は、公民館利用サークルを講師に色のイメージを学んでから、それぞれのモチーフをもとに作品を仕上げた。子どものやる気や自主性・協調性などを養った。
	子ども茶道教室	小学4年～6年 10人	7/29 5人	茶道を学ぶことにより、日本文化を知り、礼儀作法や美しい立ち振る舞いなどを身につけた。
	子ども華道教室	小学4年～6年 10人	8/3 15人	季節の草花を生ける華道を学習することで、日本の伝統文化に触れることができた。

領域	事業名	対象	期間・回数	内容
青少年教育	クリスマスコンサート	小学生 40人	12/24 55人	音楽鑑賞を通じ、次世代を担う子どもの情操教育に資する。地域の公民館で吹奏楽団（地域に根ざした市民楽団）の音楽に親しむ機会を提供した。
	佐倉っ子塾共通講座「夏休み子ども水辺探検ツアー」	小学生 22人	7/31 22人	環境政策課と共催して実施。印旛沼の水質についての講義や紙漉き体験、谷津の生きものの観察等を行い、佐倉市の自然環境の現状と課題を学んだ。
	佐倉っ子塾夏休み社会科見学	小学生及び保護者 10組	8/4 5組10人	根郷地区に所在する（公財）印旛郡市文化財センターで、文化財保護に携わる仕事内容を学習し、展示室の見学や縄文土器の拓本体験を行った。
成人教育	根郷寿大学	60歳以上 130人	5/19 126人 6/7 110人 7/21 121人 8/18 114人 9/15 116人 10/18 74人 11/17 111人 12/15 115人 1/19 107人 2/16 109人 3/16 106人	郷土の歴史や文化、健康づくり、社会現象等幅広い分野を学び、教養の向上と社会参加の推進を目的とし、また受講者同士の交流も図った。 5月オリエンテーション、6月生活習慣病予防講座、7月歌声コンサート、8月佐倉市の歴史、9月自然（ウミウシ）、11月防犯・交通安全、12月笑いヨガ、1月認知症予防、2月歯周病等歯科治療について講座を実施した。また、10月には佐原・鹿島神宮方面にて社会見学を行った。
	(市民公開講座)生活習慣病予防講座	成人 20人	6/7 10人	みつば脳神経クリニックの院長を講師に、生活習慣病予防のため、日常生活の中で実践できる予防法を学んだ。参加者からは、「日常生活に役立ってほしい」など前向きな感想が寄せられた。
	(市民公開講座)防犯、交通安全について	成人 20人	11/17 1人	佐倉警察署職員を講師に、身近な犯罪、高齢者の交通安全について学んだ。
	シニアのためのスマートフォン・タブレット講座	60歳以上 各回20人	7/12 20人 7/19 18人	スマートフォンやタブレットの操作方法や便利なアプリの紹介、安全な使用方法について学習した。
	パソコン広場	成人 各回20人	4/9 11人 5/14 14人 6/11 8人 7/9 7人 8/13 9人 9/10 11人 10/8 7人 11/12 14人 12/10 13人 1/14 11人 2/11 18人 3/11 16人 毎月第2日曜日	パソコンボランティアを配置し、パソコン初心者に持ち込みパソコンの操作等に関する疑問を解決する場を提供した。
	パソコン広場ミニ講座 iPad、iPhoneを活用してみよう	成人 10人	11/12 5人	パソコン広場ボランティアの方が講師となり、iPad、iPhoneを持っている方を対象にした、便利な機能の紹介講座を行った。
	パソコン広場ミニ講座 データの活用保存方法について	成人 10人	2/11 4人	パソコン広場ボランティアの方が講師となり、データの活用保存方法について学習した。
	シニア向け健康づくり講座	成人 30人	10/11 27人 10/17 25人 10/25 20人 10/31 22人	日常生活の中で簡単にできる運動を学び、健康の維持・増進を図るため実施した。
	50代からの健康づくり講座	50歳以上の成人 20人	2/15 22人 2/22 19人 3/1 16人 3/8 17人	健康の維持・増進を図り、生活習慣病予防を目的として、日常生活の中で簡単にできる有酸素運動などを中心に健康体操を実践した。

領域	事業名	対象	期間・回数	内容
成人教育	ハンギングバスケット講座	成人 各回10人	12/4 9人 12/12 9人	季節を彩る花を使って、植物や機材の知識を習得しながらハンギングバスケットを制作した。
	防災講座	成人 30人	2/17 30人	地域住民の防災意識を向上させることにより、地域の防災力を強化するため、防災訓練と講義を実施した。
	珈琲学入門講座	成人 各回10人	8/12 10人 12/16 10人	珈琲の基礎知識や文化と歴史、珈琲豆の選び方や抽出技術などを学び、珈琲の持つ魅力を再発見するための講座を行った。
	お気に入りの布で御朱印帳づくり！	成人 12人	11/18 12人	近年、各地の神社や寺院に参拝して御朱印を集めている方が増えている中、お気に入りの布で自分だけの御朱印帳を作成することで、ものづくりの楽しさを再認識し、併せて参加者同士の交流を図ることを目的として実施した。
	終活：これだけ知れば安心終活講座～普通の終活講座では聞けないこと沢山～	成人 30人	2/24 25人 3/3 26人 3/10 27人	高齢者が生活する上で直面する様々な問題を整理するために、今までの人生を振り返るエンディングノートの書き方や介護、相続問題の解決などの考え方を実践的に学ぶ機会を提供した。
佐倉学	郷土の刀と鐔を学ぶ	成人 各回10人	【前期】 5/15 10人 5/23 10人 5/30 9人 6/6 8人 6/13 9人 【後期】 11/14AM 9人 11/14PM 6人 11/21 14人 11/29AM 6人 11/29PM 7人 12/5AM 9人 12/5PM 6人 12/12AM 8人 12/12PM 6人	5月・6月には連続講座として佐倉藩の刀工について学んだ。好評を博したため、11月・12月にも同様の講座を実施した。
	佐倉藩と虚無僧	成人 50人	7/27 39人	佐倉市史編さん担当職員を講師に、佐倉藩での虚無僧の実像について学んだ。
	糺屋さんから学ぶ発酵の秘密	成人 16人	9/19 16人	佐倉市出身の糺屋から発酵について学習し、塩麴を作った。
	縄文時代体験講座	中学生以上 15人	9/24 10人 10/22 12人	9/24は本物の出土遺物を観察しながら、佐倉市内で採集した粘土で、土器や土偶を製作し、10/22には勾玉作りを実施した。
	江戸時代の灯り椿油を作ろう！	成人 12人	11/22 11人 12/8 8人	佐倉市で採取した種を使用して椿油を作り、参加者同士の交流を図った。
	総武本線《佐倉－銚子》開業120周年記念事業	成人 講演会 100人 見学会 30人	展覧会 1/23～1/28 891人 講演会 1/23 52人 1/27 86人 見学会 2/23 36人	総武本線開業120周年記念事業として、JR佐倉駅と総武本線の歩みを振り返る記念展示や講演会を佐倉市立美術館で実施した。また、講演会の参加者を対象に、鉄道博物館の見学会を実施した。

領域	事業名	対象	期間・回数	内容
成人教育 佐倉学	根郷ふるさと探訪	成人 20人	春の野草観察会 4/22 19人 秋の野草観察会 10/14 14人 寺崎散策 11/8 17人	根郷地区周辺を散策しながら、季節の野草を観察し自然に親しんだ。秋の野草観察会では小篠塚地区を訪れた。 寺崎の散策では、根郷をテーマに、自然や史跡、習俗行事等を訪ね、郷土を再発見することにより郷土愛を高めるため、密蔵院の大祭等を見学した。
	中世の古道 下総道を歩く	成人 15人	10/27 14人 11/2 13人 11/10 13人	千葉氏の本拠地である本佐倉城から臼井城への主要交通路として、中世までに遡る「下総道」が提唱されているが、その史跡散策を行うことにより、郷土の新しい魅力を再認識することを目的として実施した。
	伝統の根郷産 こんにやく作り体験	成人 20人	11/21 20人	体験型・参加型の講座。地域住民の協力を得て「こんにやく作り講座」を実施した。 講座を通じて地域住民同士の交流を図った。
コミュニ ニ ティ 事業	さくら学び塾  スマホを持って旅に出ようーデジタル時代の海外旅行を考えるー	成人 20人	10/14 10人 10/21 8人 11/4 7人 11/11 9人	さくら学び塾(学びあい講座)として、市民公募による講師の企画に基づき開設した。 スマートフォン・タブレットを活用して、楽しく安全に海外旅行をする知識を学んだ。
団 体 育 成	根郷地区社会教育関係 団体への支援	該当団体	通年	「南部地区子ども会育成会連絡協議会」、「根郷地区青少年育成住民会議」及び各種団体の活動を支援している。
	定期利用者懇談会	利用団体代表者	5/1 77団体	公民館の活動について理解を深めて頂くとともに、利用団体からの意見、要望を伺った。 参加者から様々な意見が出されたが、その改善点を含めた施設利用案内をホームページ上に掲載することとなった。
広 報	根郷公民館だより	根郷地区の各世帯 及び事業所	4/15 10,000部 9/15 9,300部	公民館の主催事業、利用団体の活動、地区の情報などを掲載した館報を発行した。
図 書	図書の貸出・返却	幼児～成人	貸出人数 501人 貸出冊数1,236冊 返却冊数5,650冊	佐倉市立図書館と連携し、図書の貸出、返却の受付を行っている。
そ の 他	夏休み・春休み自習室	小学生～成人	7/21～8/31 延べ61人 3/24～3/31 延べ0人	夏休み・春休みの期間中、児童・生徒・学生等が個人学習に利用できる部屋を提供開放した。
そ の 他	卓球室開放	幼児～成人	4/2 12人 5/7 14人 6/4 24人 7/2 12人 8/6 10人 9/3 9人 10/1 11人 12/3 10人 1/7 8人 2/4 8人 3/4 11人	家族や友人らと気軽にスポーツ(卓球)を楽しむ場を提供している。(毎月第1日曜日)

# 1. 家庭教育事業

## 親子で遊ぼう ぼっぼちゃんくらぶ

①開設趣旨 絵本や親子遊び・体操などを通して、幼児の想像力や豊かな心を育み、同年齢の友達と触れ合うことで幼児期的人格形成を促す。また、参加者同士の交流を図り、地域における仲間づくりの機会を提供する。

### ②募集対象

前期 平成25年4月2日～27年4月1日生まれの子と保護者 15組30人

後期 平成25年4月2日～27年4月1日生まれの子と保護者 15組30人

○保育ボランティア ちゅんちゅんくらぶ 前期7人・後期7人

### ③プログラム

(前期)

回	実施日(曜日)	学習内容	講師
1	5月11日(木) 10:00～11:30	絵本の読み聞かせ みんなで仲良くなろう(ぴよんぴよんはねる)	廣田和子 (楽母楽子)
2	5月18日(木) 10:00～11:30	絵本の読み聞かせ 体を動かして遊ぼう(新聞紙遊び)	
3	5月20日(土) 10:00～11:30	家族参観日。絵本の読み聞かせ 家族一緒に お空の下で遊ぼう (ロケットを飛ばそう)	
4	5月25日(木) 10:00～11:30	絵本の読み聞かせ 作ったもので遊んでみよう (ぶんぶん飛ぶよ) 食生活改善推進員さんのお話	
5	6月2日(金) 10:00～11:30	絵本の読み聞かせ 色遊びを楽しもう(絵の具でスタンプ遊び) 保健師さんのお話	
6	6月8日(木) 10:00～11:30	絵本の読み聞かせ みんなでさかなつりを体験しよう 投げたり、ついたり、転がしたり・・・ 大好きなボールで遊ぼう	
7	6月15日(木) 10:00～11:30	タオルを使って、楽しく体操しよう	
8	6月22日(木) 10:00～11:30	フープなどを使って楽しく体操しよう	
9	6月29日(木) 10:00～11:30	家族参観日。新聞紙を使って色々な遊びをしよう	
10	7月1日(土) 10:00～11:30	マット、平均台にチャレンジしよう	
11	7月6日(木) 10:00～11:30	思い出を作ろう! ミニ運動会	
12	7月13日(木) 10:00～11:30		

(後期)

回	月日(曜日)	学習内容	講師
1	10月 5日(木) 10:00~11:30	絵本の読み聞かせ みんなで仲良くなる(びよんぴよんはねる)	廣田和子 (楽母楽子)
2	10月12日(木) 10:00~11:30	絵本の読み聞かせ 体を動かして遊ぼう(新聞紙遊び) 保健師さんのお話	
3	10月19日(木) 10:00~11:30	絵本の読み聞かせ 作ったもので遊んでみよう (ぶんぶん飛ぶよ) 食生活改善推進員さんのおやつ	
4	10月26日(木) 10:00~11:30	絵本の読み聞かせ 色遊びを楽しもう(絵の具でスタンプ遊び)	
5	11月 2日(木) 10:00~11:30	絵本の読み聞かせ みんなで魚釣りを体験しよう	
6	11月 4日(土) 10:00~11:30	家族参観日。絵本の読み聞かせ 家族一緒に お空の下で遊ぼう (ロケットを飛ばそう)	
7	11月 9日(木) 10:00~11:30	投げたり、ついたり、転がしたり・・・ 大好きなボールで遊ぼう	小林友香 結城玲美 (NPO法人ニッポンランナーズ)
8	11月16日(木) 10:00~11:30	タオルを使って、楽しく体操しよう	
9	11月19日(日) 10:00~11:30	家族参観日。新聞紙を使って色々な遊びをしよう	
10	11月24日(金) 10:00~11:30	フープなどを使って楽しく体操しよう	
11	11月30日(木) 10:00~11:30	マット、平均台にチャレンジしよう	
12	12月 7日(木) 10:00~11:30	思い出を作ろう! ミニ運動会	

④講座を終えて 絵本の読み聞かせや遊び、体操という趣向の異なる学習内容を組み合わせたこの講座は2・3歳児の様々な成長過程を見ることが出来る。

昨年度から遊びの中での衝突などの危険防止のため、定員を20組から15組に減らしている。また、講座の中で、南部保健センターから保健師、食生活改善推進員を招いて、感染症対策や熱中症予防、簡単なおやつ作りのレシピと試食を実施した。アンケートでは満足度は高く、保護者同士も交流を深めていたと思う。

#### 子育て応援講座 イイヤ期を上手に乗り切る子育てトレーニング講座

①開設趣旨 幼児期の様々な悩みについて、講師の助言により、保護者同士が話し合うことで、解決に向けての一助とする。また、同世代の仲間作りの機会を提供し、心身のリフレッシュを図る。

②募集対象 2歳から未就学児をもつ保護者 15人

### ③プログラム

回	月日（曜日）	学習内容	講師
1	9月21日（木） 10:00～11:30	パワーポイントによる講義と参加者によるロールプレイング形式で行い、お茶を飲みながらリラックスして行った。終了後には、希望者に育児相談を行った。	子育て支援課 向後妙子 小森律子

④講座を終えて 周知方法は、こうほう佐倉・公共施設のポスター以外に「ちいき新聞」に掲載したために市外の方（八千代市・酒々井町）の参加があった。参加者には、ぼっぼちゃんくらぶの参加者が2人いた他、根郷・佐倉地区が多かった。実践的な内容であり、参加者は熱心にメモをとって聞き入っていた。アンケート結果でも多くの方が「わかりやすかった」と答えており、今後の育児に役立つ学習内容だったと言える。また、託児付きであるので、集中して話が聞ける環境にあったことが大きい。人数は15人程度でちょうどよかったと感じている。お茶を飲みながらだとリラックスするため保護者同士の会話もスムーズにできていた。

### 親子体験教室

①開設趣旨 ザリガニ釣りや工作など遊びや体験活動を通して、親子のコミュニケーションを深める機会を提供するとともに、知識や技能を身につける。また、自分たちで計画・準備・活動をすることにより、創造力や自主性を育み、家族の大切さを学ぶとともに、参加者同士や地域の方などとのつながりを深め、仲間づくりの場を提供する。

②募集対象 4歳から小学生の親子 10組

### ③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	5月13日（土） 9:00～11:00	親子でつくる絵本教室・野菜づくり（ミニトマト、キュウリ、つるなしインゲン）	鎌ヶ谷高等学校教諭 岩宮しげみ 小室順一 (花の応援団)
2	6月11日（日） 9:00～11:00	ザリガニ釣り	千葉東高等学校教諭 川上義孝 鎌ヶ谷高等学校教諭 岩宮しげみ
3	7月22日（土） 9:00～12:00	育てた野菜を美味しく食べよう	管理栄養士 吉田 智子
4	9月23日（土） 9:00～11:00	実験	千葉東高等学校教諭 川上義孝
5	10月 7日（土） 9:00～11:00	身近にある物でおもちゃ作り・焼き芋（石焼き芋）	大山登美枝

④講座を終えて 親子で協力・計画して工作、ザリガニ釣り、調理、実験など様々な体験を行ったことで、親子間のコミュニケーションが深まっていた。また、調理の回では、子どもチームと大人チームに分かれて作業を行ったため、受講者同士の交

流も盛んだった。リピーターが多いので、企画内容がマンネリ化しないように研究していきたい。

### 子育てママのためのヨガ・ストレッチ講座

①開設趣旨 同世代の子育て中の保護者たちが、ヨガやストレッチによって体を動かすことでリフレッシュし、併せて仲間作りをする場を提供する。次年度のぽっぽちゃんくらぶのお知らせもあわせて行う。

②募集対象 1歳児～未就学児をもつ保護者 15人

③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	2月 9日（金） 10:00～11:30	子育て中の保護者たちがヨガやストレッチで体を動かす	福田美和子（インド政府公認ヨガインストラクター）

④講座を終えて 定員15人（託児8人）で募集したが、申込者はすべて託児希望ですぐに満員となった。自治人権推進課からの保育ボランティア4人を追加し、最終的には定員15人（託児12人）で申し込みを受け、11人（託児12人）で満員となった。しかし、当日の参加者は、参加者の子どもの体調が悪いとの理由から、ママ8人（託児8人）となった。

1階ホールでストレッチを行っていたママたちは、講師の先生の指導のもと、リラックスできた時間をおくれたようだ（最後の感想で、運動の程度について、ほとんどの方はちょうどよいとのこと、1人もっと激しくてもOKとのこと）。

2階プレイルーム（託児）の子どもたちは、ぽっぽちゃんに参加している子や、南部児童センターの行事に参加している子が多かったからか、楽しく過ごすことができたとのこと。

講座後に、5月から実施する「ぽっぽちゃんくらぶ」のちらしを配布し、興味を示した参加者もいたため、次につながる講座になったといえる。家庭教育事業では今後はある程度預かり保育の人数を確保することが必要であり、保育ボランティアを早急に募集する必要がある。



## 2. 青少年教育事業

### 通学合宿

- ①開設趣旨 親元を離れて共同生活を体験することにより、自主性・協調性を高め、たくましく生き抜く力を育む。家庭では一定期間子どもと離れて生活することで、日頃の親子関係を見直し、家庭の教育力の向上を目指す。地域住民は子どもの様々な生活体験活動に関わることにより、地域の教育力のさらなる向上を目指す。
- ②募集対象 根郷小学校4年生～6年生 14人
- ③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	6月18日（日） 13:00～	開講式を行った後、3日間の献立を決定 共同生活体験をする	吉田智子（献立の作成アドバイス）、 地域協力者、 学生ボランティア
2	6月19日（月）	共同生活体験をしながら通学する	地域協力者、 学生ボランティア
4	6月20日（火） ～18:30	共同生活体験をしながら通学する 閉講式を行った後、4日間の成果を発表する	

- ④講座を終えて 今年で15年目となるが、昨年の反省点から実施方法を変更した部分がある。・根郷小学校のみを対象（H22～28まで根郷地区の3校で実施）・3泊4日から2泊3日とした。・人数を21人から14人とした。（結果的に17人で実施）・開講式を午後からにする。（自宅で昼食をとってから）14人の募集人数のところ、リピーター4人を含めた17人の応募があったが、全員受け入れることとした。保護者にも説明会当日にお手伝いを依頼したが、結果7人の参加があった。保護者と地域協力者が一緒にお手伝いしてくれることで、両者の距離が近くなり新たな交流が生まれた。子どもたちは初日こそ、はしゃぎすぎて時間どおり就寝できなかったが、高校生の指導により比較的早めに就寝できた。先生へのアンケートでも授業中に寝ている子の人数が昨年より激減したので、2泊3日の日程でよかったと思う。

今回根郷小だけの実施について、3校に戻すことを検討してほしいという意見が目立った。保護者のアンケートでも数人同意見が見られるので、来年度は実施内容を検討していきたい。

### おもしろ科学実験隊

①開設趣旨 子どもたちの五感を刺激する実験をとおして、遊びながら新しい発見をすることで、科学の不思議さ・楽しさに触れてもらう。

②募集対象 小学4年生～6年生・16人

③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	6月 3日（土） 13:00～15:00	酸とアルカリ・偏光シートの活用 花火の材料・熱伝導	大和田中学校教諭 西澤保雄
2	7月 1日（土） 13:00～15:00	Ooho!という運べる水をつくらう	四街道西中学校教諭 宮本利之
3	8月 5日（土） 13:00～15:00	スーパーボールとスライムを作ってあそぼう	千葉敬愛高等学校教諭 川上義孝
4	9月 2日（土） 13:00～15:00	浮いてこいを作ってみよう	千葉工業大学教授 半沢洋子
5	10月 7日（土） 13:00～15:00	結晶を作ってあそぼう	千葉敬愛高等学校教諭 川上義孝
6	11月 4日（土） 13:00～15:00	水をきれいにしてみよう 水素をつくってみよう	大和田中学校教諭 西澤保雄
7	12月 2日（土） 13:00～15:00	液体窒素-196℃の世界を体験してみよう！	四街道西中学校教諭 宮本利之

④講座を終えて 今年で18年目となるこの講座は、小学校では体験できないような実験を提供し、五感で体験してもらっている。往復はがきでの申し込みは14人、第2回目の前に電話で問い合わせがあり、1人追加となり15人となった。内訳は、市内7校から男12人、女3人で、昨年引き続き参加した児童は1人（3年連続）。昨年度と講師、実験内容もほぼ同じであったことから、3年連続の児童があきていないか心配であったが、1度も休むことなく参加してくれた。最終回にとったアンケートおよび当日感想をもらった結果では、楽しかったということと来年度も参加したい旨の内容であった。

今年は花火大会、運動会等にあたるが多かったこと、今年参加した児童が参加することも考慮して、来年度の日時設定、内容については検討が必要と思われる。

### 勾玉作りに挑戦！

①開設趣旨 勾玉作りや展示する土器などを通して、縄文時代の生活に触れる機会とする。また、受講者のやる気や自主性を養う。

②募集対象 小学3年生～6年生 16人

③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	7月31日（月） 10:00～12:00	勾玉作りや講師の話聞き、 縄文時代の生活に触れる	千葉県教育庁 教育振興部文化財課 四街道分室 職員

- ④講座を終えて 16人の定員で募集したところ、広報のみであったが、ちょうど16人の参加となった。なお、数名は過去にも受講している。今回はケーブルテレビの取材が入った。

講座の流れは、最初に縄文時代や弥生時代の土器や石器の説明や子ども達に遺物に触れさせる体験をさせた。その後、講師が弓きり技法による火起しの実演を行った。現代の生活と比較しながら古代の火の重要性について説明があり、子ども達は熱心に聞いていた。

勾玉作り体験は、1時間くらいかかったが、順番どおりに削っていくにつれ、砥石や紙やすりの使い方にも慣れ、指でゆがみを見ながら作成できたようである。講師に勾玉のヒモを首にかけてもらった参加者はみな満足げな顔であった。

アンケートでは全員が楽しかったと回答し、次回も参加したいと答えている。リピーターもおり、楽しいものづくり体験になったと思う。歴史の学習についても、実際に出土品に触れることができるため、古代を身近に感じる良い機会であった。

### 夏休み子ども水彩画教室

- ①開設趣旨 体験型の講座を通して、受講生のやる気や、創造力、自主性を養う。

- ②募集対象 小学3年生～6年生 15人

- ③プログラム

回	実施日(曜日)	学習内容	講師
1	7月28日(金) 10:00～15:00	気持ちを描こう～色のイメージとリズムを知ろう～	ワールサークル会員

- ④講座を終えて 昨年度に続きお弁当持参で一日の講座とした為か、申込みが多く数日で定員に達した。今年度は男の子の参加が多かった。

まず、折り紙を使って色のグラデーションと色のイメージについて学んだ後、自分の好きな物や思い出の物をモチーフに絵を描いた。

講師は、色のイメージを考えながら、水彩絵の具だけではなく、折り紙を貼ったり、チョークの質感を加えたりして楽しい絵を制作したいという思いがあった。しかし、夏休みの宿題にしたいと考え、絵の具のみを使用して作品を仕上げる参加者もいた。

1枚目をさっと仕上げ2枚目の作品に取り掛かる子、じっくり集中して取り組む子と進度が違い、終わった子が騒がしくなってしまう場面もあった。

今回は、小学生とサークル会員が離れてしまう席順となったので、交流するという面からも隣同士にしてもらいたいとも考えたい。

水彩画の講座は他になく、アンケートでは全員が「楽しかった」と答えて満足度が高いので、これからも続けていきたい。

### 夏休み子ども茶道教室

- ①開設趣旨 体験型の講座を通して、受講生のやる気や、創造力、自主性を養う。

- ②募集対象 小学4年生～6年生 10人

- ③プログラム

回	実施日(曜日)	学習内容	講師
1	7月29日(土) 10:00～11:30	畳の歩き方、お辞儀の仕方、お菓子の取り方、お茶の点て方	楽茶会会員

- ④講座を終えて 根郷小、山王小、寺崎小の対象児童にちらしを配布したが、申込みが少なかったので「ちいき新聞」に募集を掲載した。土曜開催と年齢の制限があったからか、5人の申込みとなった。

デモンストレーションの見学では、参加者は正座をしていたこともあり緊張した様子だったが、実際にやってみると笑顔もみられた。

「習字を習っていて正座は平気」、「茶道体験をしたことがある」という参加者もいたが、和室への入り方、畳の歩き方などは初めてだったようで真剣に取り組んでいた。専門用語が小学生には難しそうな言葉もあったのでホワイトボードや資料を使うことも考えたい。

参加者は5人と少なかったが、一人ずつやってみると指導の目が行き届きちょうどよかった。

新規講座ということで、講師も探りながらであったようだ。

今後は、人数や、時間配分などを検討して継続していきたい。

### 夏休み子ども華道教室

①開設趣旨 季節の草花を花器に生けて鑑賞する華道を学習することにより、日本の伝統文化に触れる機会とする。

②募集対象 小学1年生～6年生 10人

③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	8月 3日（木） 10:00～12:00	ハサミの使い方、水切りのやり方、花の生け方	カトリア会会員

④講座を終えて 今年度の新規事業。夏休みの小学生対象事業の1つで、小1～小6まで幅広い学年で実施した。当初の定員は10人であったが、根郷地区の小学校3校へのちらし配布や地域新聞に掲載したため、参加希望者が増えたので15人まで拡大した。

講座の流れは、最初にペットボトルでつくった花器に好きな紙やアルミワイヤーを選んで巻き付け、自分だけの花器を作成した。花器の底には小石を入れて重石にし、その上にオアシスをセットして準備をした。花はヒマワリやスプレーカーネーション、チースなどである。参加者は先生の指導により、ハサミの使い方や水切りのやりかたを学習しながら、各自思い思いに花を生けていた。講師の先生は、参加者が製作したのを見ながら、色使いや高さ、奥行の出し方など修正を加えていたが、参加者たちは真剣に聞き入っていた。出来上がりはそれぞれ違うが、自分だけの生け花が出来て満足そうであった。

アンケートでも全員が楽しかったと回答し、次回も参加したいと答えている。皆集中して作成していることや、アンケートの感想も具体的に書かれており、華道ならではの、花をよりよく生ける工夫についてよく学習できたと思う。年齢層については、低学年に手厚い指導をしているため問題はなかった。子どもを対象とした事業では、低学年対象のものは少ないので、参加希望は多いと考えられるため、来年度以降も継続していきたい。

### クリスマスコンサート

①開設趣旨 子どもたちに、クリスマスの時期に楽しく過ごしてもらうとともに、創造力を育む機会を提供するため、地域の吹奏楽団演奏によるコンサートを行う。

②募集対象 小学生（一般の方も参加可能） 80人

③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	12月24日（日） 14:00～15:00	地元吹奏楽団の演奏を聴き、クリスマスのひとときを過ごす	佐倉ウィンド・アンサンブル会員

- ④講座を終えて 観覧者は55人で昨年に比べ増えているが、小学生は6人と少なかった。団員関係者が多かったようだ。

日程は、クリスマス時期の日曜日で変更は難しいが、小学生に参加してもらえるように考えたい。

最後にサンタクロースが登場し、皆さんにお菓子をプレゼントするというサプライズがあった。

アンケート結果からも迫力ある演奏に皆さん満足した様子であった。

吹奏楽団の生演奏を間近で体験できる貴重な機会なので続けていきたい。

#### 佐倉っ子塾 共通講座 「夏休みこども水辺探検ツアー」

- ①開設趣旨 自然に親しみ、自然を大切にすることを養うとともに環境保全の重要性を認識する機会とする。

- ②募集対象 小学4年生～6年生 22人

- ③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	7月31日（月） 9：00～16：00	印旛沼や鹿島川に注ぐ水の流れや、生き物について学ぶ	千葉県環境財団 職員

- ④講座を終えて 環境政策課との共催事業で、印旛沼やその周辺環境の理解を目的として企画・実施した講座。印旛沼の水質についての講義や紙漉き体験、谷津の生きものの観察等を行い、佐倉市の自然環境の現状と課題を学んだ。

#### 佐倉っ子塾 夏休み社会科見学

- ①開設趣旨 地域の文化などを見学、体験学習をすることで、文化財の大切さなどを学ぶ。

- ②募集対象 小学生と保護者 10組

- ③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	8月4日（金） 10：00～12：00	縄文時代の丸木舟や古墳時代の遺跡についての学習、拓本等の体験	印旛郡市 文化財センター

- ④講座を終えて 参加者は、根郷地区に限らず、上座から参加する方もいた。

講座の内容は、文化財について、文化財センターの役割、展示の見学とあわせて、湿拓を行った。参加者は真剣に説明を聞いたり、必要に応じてデジカメで写真をとるなど、熱心な様子うかがわれた。

また、湿拓体験は、保護者も一緒に参加した。

来年も開催できないか検討したい。

### 3. 成人教育事業

#### 根郷寿大学

①開設趣旨 高齢化社会の中で、郷土愛を育み、地域の中で連帯を持ちながら健康で充実した生活を過ごせるよう、健康の保持増進、歴史・文化、社会現象などの学習の場を提供するとともに、受講者同士の交流を図る機会を提供する。

②募集対象 60歳以上の市民 130人

③プログラム

回	実施日(曜日)	学習内容	講師
1	5月19日(金) 9:20~12:00	開講式 オリエンテーション(運営委員の選出、1年間の予定説明、班の確認等) 自己紹介、グループ討議「今後の班活動について」	館長 担当
2	6月7日(水) 9:20~12:00	生活習慣病予防講座 (市民公開講座)	みつば脳神経 クリニック 理事長 大木剛
3	7月21日(金) 9:30~12:00	歌声コンサート	音楽ボランティア ビバーチェ
4	8月18日(金) 9:20~12:00	佐倉を通り過ぎた外国人 —明治の佐倉見分—	内田儀久
5	9月15日(金) 9:20~12:00	ウミウシについて 海にまつわる話	根郷寿大学 直江國雄
6	10月18日(水) 8:30~17:00	社会見学 佐原、鹿島、神崎	担当
7	11月17日(金) 9:20~12:00	防犯、交通安全について (市民公開講座)	佐倉警察署
8	12月15日(金) 9:20~12:00	笑いヨガ	自力整体 ナビゲーター 秋田美智子
9	1月19日(金) 9:20~12:00	認知症予防について	佐倉市 高齢者福祉課
10	2月16日(金) 9:20~12:00	歯周病と誤嚥性肺炎の歯科治療について	いろどり歯科 クリニック 院長 中村泰三
11	3月16日(金) 9:20~12:00	グループ発表 閉講式	館長 担当

④講座を終えて 根郷寿大学は昭和46年に開設以来今日まで継続されている佐倉市立公民館の事業としては最も古いもの。当初は根郷地区の住民だけを対象としていたが、現在では市内全域にその対象を広げている。

本年も60歳以上130人(62歳~88歳/平均年齢74.4歳)が受講した。受講生が講師となる講座を設けるなど、学び交流の場となっている。

### 生活習慣病予防講座（根郷寿大学市民公開講座）

①開設趣旨 飽食の時代に、誰でも陥りやすい生活習慣病について要因と予防法を理解する

②募集対象 成人 20人

③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	6月 7日（水） 10:10～12:00	クイズや質問コーナーを織り交ぜながら生活習慣病について理解を深める	みつば脳神経 クリニック 理事長 大木剛

④講座を終えて 動脈硬化や肺炎・認知症などのメカニズムとその予防法についてわかりやすく解説していただいた。今後も学習を継続し、住民の健康維持に役立てていきたい。

### 防犯、交通安全について（根郷寿大学市民公開講座）

①開設趣旨 身のまわりでおこる様々な犯罪や交通事故の実態やその防止策について学ぶ。

②募集対象 成人 20人

③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	11月17日（金） 10:10～12:00	身近な犯罪、高齢者の交通安全について学ぶ。	佐倉警察署

④講座を終えて 佐倉警察署職員を講師に、高齢者が陥りやすい振り込め詐欺などの犯罪と交通事故について、最近の傾向と対処法を学んだ。「自分だけは大丈夫」と思っている方もいたようで、これを機に出来る限りの対策を行い、被害にあわないようにしてもらいたい。

### シニアのためのスマートフォン・タブレット講座

①開設趣旨 パソコンより手軽なタブレットやスマートフォンを、安心安全に使うにはどのようにしたらよいか。操作方法や便利なアプリの紹介も含め、理解を深める機会とする。

②募集対象 60歳以上 各回20人

③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	7月12日（水） 13:30～15:30	タブレットの安心安全な使用法を学ぶ。	株式会社 KDDI 社員
2	7月19日（水） 13:30～15:30	スマートフォンの安心安全な使用法を学ぶ。	株式会社 KDDI 社員

④講座を終えて KDDI（株）の社員を講師に購入予定者向けの講座を実施し、操作方法や便利なアプリの紹介を行った。また、安全安心に使用するためのコツも講義に盛り込んだ。携帯電話からの乗り換えを希望している方の一助になったと思う。

## パソコン広場

①開設趣旨 地域住民の情報活用能力の育成を行う。

②募集対象 成人 各回10人

③プログラム

回	実施日(曜日)	学習内容	講師
12	毎月1回 (第2日曜日) 10:00~12:00 13:00~15:00	各自で教材を持ち込み、各々で学習した わからない所をボランティアに質問をする	パソコン ボランティア 根郷パソコン クラブ

④講座を終えて 基礎的な内容について説明する講座であるが、コンピューターの進化に伴い、質問も多種多様になっているようだ。昨年度からは、パソコンだけではなく、タブレット、スマートフォンについての質問も受け付けている。

## パソコン広場ミニ講座 iPad、iPhone を活用してみよう

①開設趣旨 地域住民の情報活用能力の育成を行う。

②募集対象 成人 10人

③プログラム

回	実施日(曜日)	学習内容	講師
1	11月12日(日) 13:00~14:30	iPad、iPhoneの便利な機能の紹介を行う	パソコン ボランティア

④講座を終えて Google翻訳、Google-earth、チラシアプリなど、iPad、iPhoneならではの機能の紹介があり、受講者から驚きの声があがっていた。

## パソコン広場ミニ講座 データの活用保存方法について

①開設趣旨 地域住民の情報活用能力の育成を行う。

②募集対象 成人 10人

③プログラム

回	実施日(曜日)	学習内容	講師
1	2月11日(日) 10:00~12:00	パソコンデータの活用保存方法について学ぶ	パソコン ボランティア

④講座を終えて いざという時のデータのバックアップの取り方を学ぶことで、パソコン技術の向上を図ることができた。



### シニア向け健康づくり講座

①開設趣旨 日常生活の中で簡単にできる有酸素運動を中心に学び、健康の維持・増進を図る。

②募集対象 成人 30人

③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	10月11日（水） 10：00～11：30	有酸素運動やストレッチを中心に学ぶ	AFAA認定 インストラクター 森 たか子
2	10月17日（火） 10：00～11：30	有酸素運動やストレッチを中心に学ぶ	
3	10月25日（水） 10：00～11：30	有酸素運動やストレッチを中心に学ぶ	
4	10月31日（火） 10：00～11：30	有酸素運動やストレッチを中心に学ぶ	

④講座を終えて 今年度は、日程の変更のためか、新規の方の申込みも多かった。

人気のある講座で募集後すぐに定員に達したが、1度も参加できない方、1回しか参加できなかった方もいて残念であった。

健康増進課のマイヘルスプランもご紹介し、1ヶ月間の健康づくりに気を付けてもらえるようにした。また、初日と最終日に柔軟やバランスの計測を行い、数字で結果が見えることで運動の効果が実感できるようにした。

内容については、講師が高齢者向けの講座を受講し、新しい情報を提供している。年々内容が増えているので、運動との時間配分などは、講師も苦勞しているようである。認知機能、サルコペニアなどの内容は受講者も関心がある様子であった。有酸素運動はもちろん、呼吸法が大切な「ヨガ」など変化があり、参加者は飽きることなく取り組んでいた。

アンケートでも皆さん満足している様子だった。

リピーターが多い講座なので内容を講師と相談して継続していきたい。

### 50代からの健康づくり講座

①開設趣旨 日常生活の中でできる運動等を学び、今の自分の体調を見つめながら、動けるからだづくりを行う。

②募集対象 50歳以上の成人 20人

③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	2月15日（木） 14：00～15：30	日常生活の中でできる運動等を学び、今の自分の体調を見つめながら、動けるからだづくりを行う。	健康運動指導士 保永美幸
2	2月22日（木） 14：00～15：30		
3	3月 1日（木） 14：00～15：30		
4	3月 8日（木） 14：00～15：30		

④講座を終えて こうほう佐倉および根郷公民館内ちらし配布で募集を行った。じわじわと増え、最終的には24人となった。

毎週、木曜日に根郷公民館で活動している、MYK体操パールの会、ひまわりの

会の指導者が講師であったため、会員が手伝いに来て、見本を見せたり、手助けを行ったりした。そのため、参加者も戸惑うことなく、先生の合図にあわせて体操を行うことができていた。

自分の体調を見つめながら、現在の体力を維持していくことを目的としているため、無理なく参加できたものと思われる。そのため、講座終了後に、会員になりたいという方が数人いた。来年度については、開催するかどうか、内容等について検討していきたい。

### ハンギングバスケット講座

①開設趣旨 花と緑があふれるまちづくりのため、季節を彩る花を使って、植物や機材の知識を習得しながら、ハンギングバスケットを制作する。

②募集対象 成人 各回 10人

③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	12月 4日（月） 9：30～12：00	植物や機材の知識を習得しながら、ハンギングバスケットを制作する	JHBS ハンギングバスケットマスター 遠藤富士子
2	12月12日（火） 9：30～12：00	植物や機材の知識を習得しながら、ハンギングバスケットを制作する	

④講座を終えて 昨年度から、申込みは電話で先着順としている。募集人数も少ないが、数日で定員一杯となる人気の講座である。

今回、月曜日に設定したことで、平日の各曜日を一巡したことになる。

受講者は、講師、お手伝いのサークルの皆さんのアドバイスで、素敵な作品を完成させていた。

今回も、この講座をきっかけに立ち上がったサークルの皆さんにお手伝いいただいたが、受講者は、苗一つごとに講師の確認を待つてしまうので、各テーブルごとについてもらえるようお願いしたい。

リピーターも6人いて、アンケートでは、全員が満足と回答している。

色々な種類の花材を使用すると、初心者には難しく、どうしても長時間の作業になる。講師からは、初心者向けで例えばビオラ種類の作品にしたらどうかと提案があったので、来年度に検討したい。

### 防災講座

①開設趣旨 地域住民の防災意識を向上させることにより、地域の防災力を強化するため、防災訓練と講義を実施する。

②募集対象 成人 30人

③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	2月17日（土） 9：00～12：30	避難訓練、消火訓練、ロープ活用、空き缶による炊飯	太田大州 （ボーイスカウト 佐倉第3団）

④講座を終えて 根郷地区青少年育成住民会議が中心となり、すくすくまつり出店者等に呼び掛けて募集を行った。また、毎年、開催している通学合宿を平成30年度は防災キャンプ推進事業とすることから、その主催者側の体験も行うこととした。

避難訓練は地域の方々が主体となったことから、消防署も消火器の活用方法などを丁寧に説明していただき、大変勉強になった。

防災キャンプ推進プレ事業としては、ボーイスカウト佐倉第3団が講師となり、さまざまなプログラムを用意してくれた中から、ロープ活用と空き缶による炊飯の2つを行った。参加者も夢中で体験していたため、とても勉強になった。

子どもたちが参加する7月の事業に今回の体験内容をそのままあてはまることはできないが、内容を考えるきっかけになった。

### 珈琲学入門講座

①開設趣旨 カフェイン(表町)店主を講師に、8月は夏にぴったりのアイスコーヒーについて、12月はコーヒーとクリスマスにおすすめのアレンジについて、実際に淹れ比べ、飲み比べをしながらコーヒーの知識を深め、ひとときを楽しむ。

②募集対象 成人 各回10人

③プログラム

回	実施日(曜日)	学習内容	講師
1	8月12日(土) 9:30~12:00	夏に美味しいアイスコーヒーの いれ方	珈琲焙煎士 坂井 稔
2	12月16日(土) 9:30~11:30	クリスマスとコーヒー	

④講座を終えて 今年で4年目となるこの講座。8月、12月とも、申込みは1日で満員となった人気の事業。コーヒーの歴史と文化などの基礎知識、器具、豆、淹れ方、アレンジについて学習した。参加者は熱心に講師の話を聞いており、実際に淹れる際には、真剣に取り組んでいる様子が見られた。また、満員のため残念ながら受講できなかった方についても、カフェインに行くなど、講師からも地域の方とコミュニケーションをとれたことは良かった旨のお話をいただいている。来年度以降も継続する予定。

### お気に入りの布で御朱印帳づくり!

①開設趣旨 近年、各地の神社や寺院に参拝して御朱印を集める方が増えている中、お気に入りの布で自分だけの御朱印帳を作成することで、ものづくりの楽しさを再認識し、併せて参加者同士の交流を図る。

②募集対象 成人12人

③プログラム

回	実施日(曜日)	学習内容	講師
1	11月18日(土) 9:30~11:30	お気に入りの布で自分だけの 御朱印帳を作成する	鎌ヶ谷高等学校 岩宮しげみ

④講座を終えて こうほう佐倉とちらしなどでお知らせをして、2週間ほどで定員に達した。当日9時前には何人か集まり、お話をしていたところ、神社等に興味があり、ぜひご朱印帳を作りたかった方と製本に興味がある方の両方が見受けられた。講師がネームプレートを作成してくれたおかげもあり、布をみせあったりするなど、参加者が和やかな雰囲気になっていた。マニュアルを作成していただいていたので、そのとおりにやればできるのかと思っていたが、本文(中身)の作り方が思ったよりも難しく、やり直しをする人も何人かいた。先生が1人ずつ確認作業をしていたので、ここに時間がかかった。製本についての技術的な説明もあり、参加者は熱心に聞いていた。最後にはみんなで集合写真を撮るなど、ものづくりを通じて参加者

の交流も図れた。

**終活：これだけ知れば安心終活講座～普通の終活講座では聞けないこと沢山～**

①開設趣旨 高齢者が生活する上で直面する様々な問題を整理するために、これまでの人生を振り返るエンディングノートの書き方や介護、相続問題の解決などの考え方を、実践的に学ぶ機会を提供する。

②募集対象 成人（原則60歳以上） 30人

③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	2月24日（土） 10:00～11:30	エンディングノートの個人情報を守るための対策 何気なく書いて、何気なく保管、それでは危険が一杯！	ライフスタイル 研究家 三石康雄
2	3月 3日（土） 10:00～11:30	住まい信託（すまい信託）の仕組みで考える老後のすまい対策 信託法を使った住まい信託、住むこと、管理等を分ける意味？	
3	3月10日（土） 10:00～11:30	逆算相続で炎上相続対策 相続全体の90%以上は相続税とは無縁、それでも増える炎上相続の何故？	

④講座を終えて こうほう佐倉および根郷公民館内ちらし配布で募集をしたところ、じわじわと増え、最終的には30人となった。毎回、テーマや説明、資料がわかりやすかったためか、参加者は熱心にきいていた。高齢者にとって欠かせないテーマであったこと、先生の説明がわかりやすかったことから、年に1回はこういう機会が欲しいとの意見が多かった。

### 佐倉・城下町400年記念 佐倉学講座 郷土の刀と鐔を学ぶ

①開設趣旨 佐倉藩には、優れた技術を有した刀工（刀鍛冶）が藩侯に仕えており、刀剣類は無論、金工が製作した鐔などは、文化財的価値や美術工芸品としても現代において高い評価を受けている。

佐倉城築城400年にあたり、武士の美意識を追求した佐倉藩の刀工や金工たちの遺作を鑑賞すると共に、時代の流れを学ぶ機会を提供する。

②募集対象 成人 各10人

③プログラム

(前期)

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	5月15日（月） 10:00～11:30	刀とはどういうものか？ （ビデオ鑑賞）	郷土刀研究家 井原重之
2	5月23日（火） 9:00～12:00	塚本美術館、大聖院、海隣寺、 鍛冶作、最上町等見学	
3	5月30日（火） 10:00～11:30	郷土刀を学ぶⅠ（佐倉で作刀）	
4	6月6日（火） 10:00～11:30	郷土刀を学ぶⅡ （佐倉ゆかりの刀工）	
5	6月13日（火） 10:00～11:30	郷土で作られた鐔を学ぶ、まとめ	

(後期)

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	11月14日（火） 10:00～12:00 13:30～15:30	刀とはどういうものか？ （ビデオ鑑賞）	郷土刀研究家 井原重之
2	11月21日（火） 9:00～12:00	塚本美術館、大聖院、海隣寺、 鍛冶作、最上町等見学	
3	11月29日（水） 10:00～12:00 13:30～15:30	郷土刀を学ぶⅠ（佐倉で作刀）	
4	12月5日（火） 10:00～12:00 13:30～15:30	郷土刀を学ぶⅡ （佐倉ゆかりの刀工）	
5	12月12日（火） 10:00～12:00 13:30～15:30	郷土で作られた鐔を学ぶ、まとめ	

④講座を終えて 日本刀の作り方などの基礎を学び、古刀から現代刀へ至る時代毎の変遷や刃文などの鑑賞の方法を実物を見ながら学習した。特に郷土の歴史学習として、佐倉藩の刀工や金工に焦点をあて、市指定文化財を含む刀剣や鐔を鑑賞し、その業績やゆかりの地の散策も実施した。

講座の満足度は大半が満足とやや満足と答えており、講座の目的が達成され、学ぶ意欲もとても高まったようである。アンケートの記載内容にも講師について感謝する方が非常に多かった。講義中の質疑応答も活発であり、佐倉学講座としての理解が深まったと感じている。各回10名という少人数の開催であったが、個々の反応が見えるちょうど良い人数であったと思う。参加者同士でも会話が生まれており、仲間作りにも寄与している。

5月の募集段階で、キャンセル待ちや問い合わせが多かったため、下半期の11月にも開催し、できるだけ希望者全員が学習できるように午前・午後両方対応することにした。

### 佐倉・城下町400年記念 佐倉学講座 「佐倉藩と虚無僧」

①開設趣旨 江戸時代、佐倉藩が虚無僧とどう関わっていたかを学ぶことにより郷土の歴史について理解を深め、地域を見直す機会を提供する。

②募集対象 成人 50人

③プログラム

回	実施日(曜日)	学習内容	講師
1	7月27日(木) 10:00~12:00	虚無僧が佐倉藩の村々において、どのように活動していたかについて、古文書等の記載からその実態を紹介する。	佐倉市市史編さん担当 長谷川佳澄

④講座を終えて 募集人員50人のところ、42人の応募があった。講義内容は、実際の虚無僧はどうだったかを学び、虚無僧とのトラブルを避けるために佐倉藩領の村々がどのような方策をとっていたかを学習した。佐倉藩領の村々は、総意決定のため五郷組合という協力体制をとっており、様々な問題を全体で解決していた。このような虚無僧の対応という視点から、新しい江戸時代の民衆の歴史が見える。講師に持参していただいた虚無僧関連の古文書にも近隣の村々や名主の名が書かれており、受講者は興味深げに見学していた。

アンケートでは、60代以上が大半を占め、男女比はほぼ男2:女1である。満足度は高く、目的についても、ほとんどがとても達成か少し達成されていると感じ、学ぶ意欲が高まっていることがわかる。入手情報は「こうほう佐倉」が多いが、チラシや公民館で聞いたという人も多い。公民館に頻繁に出入りしている層が参加していることがわかる。講座の感想では、知っているようで知らなかった「虚無僧」について理解できたとの意見が多い。

### 佐倉学講座 糀屋さんから学ぶ発酵の秘密

①開設趣旨 味噌や醤油などの発酵食品を作るために、必要な麹菌の働きや身体に及ぼす有益な作用を学ぶことにより、伝統的な食生活文化を見直す機会とする。なお、江戸時代からの昔ながらの製法を守る糀屋を祖母から継いだ、佐倉市出身の若手醸造家を講師として実施する。

②募集対象 成人 16人

③プログラム

回	実施日(曜日)	学習内容	講師
1	9月19日(火) 10:00~12:00	麹菌が作用してできる発酵の基礎についての講義の後、参加者は持参した塩を使い、塩麹を製作する。また、講師が持参した甘酒を試飲して、本来の甘酒の味を学習する。	芝山糀店 及川涼介

④講座を終えて 16人で募集したが、1時間ほどで定員に達したほど、人気が高かった講座。佐倉市出身の若手醸造家の紹介も印象付けたかかったところがある。特に甘酒は伝統的な製法で作った糀のみの甘みであり、参加者には好評であった。なお、塩麹の利用方法や甘酒の作り方など講師への質問も活発であり、参加者の意欲は高い。

アンケート結果では、参加者の年齢層は60才以上の高齢者が中心で女性が多い状況にある。講座に対する満足度は非常に高く、学習意欲も高まる有意義な講座であった。

発酵に関する学習と共に、佐倉学として市出身の人材を紹介することで、郷土への理解が深まったように思う。

### 佐倉学講座 縄文時代体験講座

①開設趣旨 佐倉市で出土した縄文時代の土器や土偶、勾玉などを観察しながら、忠実に製作することにより、原始・古代の生活を体験する。また、狩猟採集を生業とした縄文時代への理解を深めることを目的とする。

②募集対象 中学生以上 15人

③プログラム

回	実施日(曜日)	学習内容	講師
1	9月24日(日) 9:00~12:00	佐倉市出土の縄文土器や土偶を観察しながら、成形と文様付けを行う。	公民館職員
2	10月22日(日) 9:30~12:00	勾玉作り体験 草ぶえの丘の電気窯で焼成した土器を手渡し 木の実調理体験(縄文クッキー、椎の実、クルミ、栗) 火起こし道具で着火	千葉県教育庁 教育振興部文化財課 四街道分室 職員  公民館職員

④講座を終えて 当初は15人定員連続2回の募集であったが、やはり土器類だけ、勾玉だけにしないと参加者が集まらなかったため、別々に募集した。9月には佐倉市内出土土器・土偶を観察しながら各自作成した。自由度が高いため面白いものが出来上がった。10月に実施した勾玉づくりは、小学生対象の場合が多いと思うが、少し難易度を上げながら、大人でも集中して作成できていた。大人ならではの視点もあり、活発に質疑応答をしていた。

縄文クッキーの製作・調理では、女性が多いこともあり参加者も積極的に手伝ってくれた。焼きあがった後は試食しながら、縄文時代の土偶祭祀について学習し、最後に9月に作った土器・土偶を持ち帰って終了となった。

これまで3年間にわたり、縄文時代の体験型の学習を行ってきたが、その生活や技術を学ぶことで、参加者たちには佐倉市の歴史や文化財を身近に感じてほしいと思う。

### 佐倉学講座 江戸時代の灯り 椿油を作ろう!

①開設趣旨 古代から貴重な油として知られ、江戸時代には灯りや食用などに活用された椿油を、佐倉市で採取した種を使用して油を作り、併せて参加者同士の交流を図る。また、江戸時代の椿油の使用方法についても学習する。

②募集対象 成人 12人

③プログラム

回	実施日(曜日)	学習内容	講師
1	11月22日(水) 9:00~12:00	椿の種をすり潰し、漉して煮出して油を抽出する	佐倉市文化課学芸員 松田富美子

2	12月 8日 (金) 10:00~11:00	椿油の歴史について学習した後 ろ過した椿油を参加者で分けた	佐倉市文化課学芸員 松田富美子
---	---------------------------	----------------------------------	--------------------

④講座を終えて 11月1日に募集開始し、すぐに定員に達した。今回は事前に500グラムの椿の実の皮をむいてくる宿題があったが、出席者は全員こなしてきた。1日目は、欠席者がいたため、3班4~5人体制で行ったが、1班に1~2人ずつ、作業補助として、花の応援団など椿油を作ったことがある方を中心にボランティアとしてついていただいた。また、作業を分担して行うことから、初めての人達同士でも協力して作業しており、交流も生まれていた。

### 佐倉学講座 総武本線《佐倉-銚子間》開業120周年記念事業

①開設趣旨 展覧会、講演会等を通じて、佐倉を中心とした総武本線等の駅の変遷、総武本線と文学について学ぶ

②募集対象 講演会 成人100人  
見学会 成人 30人

#### ③プログラム

回	実施日 (曜日)	学習内容	講師
1	1月12日 (金) ~ 1月28日 (日)	JR佐倉駅まちづくりギャラリー 一展示	
2	1月23日 (火) ~ 1月28日 (日)	佐倉市立美術館展覧会	
3	1月23日 (火) 13:30~15:00	講演会「総武本線と文学」	元佐倉図書館長 内田儀久
4	1月27日 (土) 13:00~15:40	講演会 「総武本線120年のあゆみ」 「鉄道遺産を活かしたまちづくりと観光」 フリートーク	鉄道史研究家 白土貞夫 地域遺産 プロデューサー 米山淳一
5	2月23日 (金) 8:30~17:15	鉄道博物館見学会	鉄道史研究家 白土貞夫 元佐倉図書館長 内田儀久

④講座を終えて 展覧会、講演会2回、JR佐倉駅まちづくりギャラリー展示と多岐にわたり開催した。そのため、館長以下職員、補佐員、管理人(シルバー人材センター)根郷公民館全員で取り組んだ事業となった。毎日新聞と千葉日報に掲載されたことから、鉄道に興味がある方、文学に興味がある方など、多数の方に参加いただいた。

参加人数やアンケートの内容から、講演会の内容、展示方法については、概ね参加者には受け入れてもらえたと思われる。

主な課題点としては、資料集めとパネル化などに多大な労力がかかったこと、また、展示スペースに限りがあったことから、借用した資料すべてを展示することができず、提供者をがっかりさせたことなどがあげられる。

鉄道博物館の見学会については、本講座の2回の講演会で参加者を募集し、定員30人を予定していたところ、結果として講師、引率者を含めて36人の参加となった。明治初期の電車から新幹線展示等もあり、鉄道に関する理解は深まったものと思われる。また、全員が鉄道に関心が高いためか、白土先生の話に耳を傾けるなど熱心であった。また、参加者同士も交流が図られた。



### 佐倉学講座 根郷ふるさと探訪

①開設趣旨 郷土の歴史・文化・民俗・自然をテーマに学び、散策を交えて、郷土愛を促す。

②募集対象 成人 各回 20人

③プログラム

回	実施日(曜日)	学習内容	講師
1	4月22日(土) 9:30~12:30	六崎地区を散策しながら春の野草や古木を観察し、郷土の自然への関心を高める	佐倉野草会 近藤 維久子
2	10月14日(土) 9:30~12:30	小篠塚地区を散策しながら秋の野草や古木を観察し、郷土の自然について関心を高める	佐倉野草会 近藤 維久子
3	11月 8日(水) 9:30~16:00	午前中に寺崎地区の史跡めぐりを行い、午後に寺崎密蔵院の大祭を見学する。	菊地 昭夫 井原 重之

④講座を終えて この一連の講座は、根郷地区周辺の自然や歴史を中心に紹介し、郷土に興味を持ってもらうよう実施している。春と秋の野草観察会は、平成21年から続く人気講座。

寺崎地区の史跡めぐりと密蔵院の大祭の見学は、地元の方を講師に迎え、寺社や史跡などを巡った後、大祭に参加した。護摩焚きや本尊の御開帳など、この日しか見学できないため、参加者は感銘を受けていた。

感想には「もっと地元を知りたい」などの意見があり、今後も地域についてより深く理解できるよう検討したい。

### 佐倉学講座 中世の古道 下総道を歩く

①開設趣旨 郷土の歴史について学ぶことにより理解を深め、地域を見直す機会を提供する。千葉氏の本拠地である本佐倉城から臼井城への主要交通路として、中世にまで遡る「下総道」が提唱されているが、その史跡散策を行うことにより、郷土の新しい魅力を再認識する。

②募集対象 成人 15人

③プログラム

回	実施日(曜日)	学習内容	講師
1	10月27日(金) 9:30~12:00	大篠塚方面の散策	佐倉市文化課学芸員 松田富美子
2	11月 2日(木) 9:30~12:00	六崎方面の散策	
3	11月10日(金) 9:30~12:00	大蛇町から本佐倉城方面の散策	

④講座を終えて 歴史散策は非常に人気が高く、今回の募集でも2日目で定員に達した。コースは歩きやすく3回で約15キロ。参加者は熱心にメモをとったり、画像をとったりと各々の散策を楽しんでいた。また、何度か歩いたことがある方もいて、講師の説明の後に、付け加えてくださる方がいて、コミュニケーションがとれていた。根郷地区を起点として本佐倉城跡までのコースは見どころがあり、歴史散策としては魅力があったが、1か所の滞在時間が短く、城崎城跡などは登りたいとの意

見があったが、時間の関係からカットした。アンケートでは、大変満足との回答が多かった。

#### 佐倉・城下町400年記念 佐倉学講座 伝統の根郷産こんにゃく作り体験

①開設趣旨 江戸時代には、将軍家への献上品として有名だった佐倉特産のこんにゃく。地元の根郷地区で栽培されたこんにゃく芋から、こんにゃくを手作りして調理し、参加者同士の交流を図る。

②募集対象 成人 20人

③プログラム

回	実施日(曜日)	学習内容	講師
1	11月21日(火) 9:30~14:00	地元産のこんにゃく芋を使って地域の方の指導によりこんにゃく作りに挑戦する	牛玖昌弘(根郷小学校ふれあいボランティア)

④講座を終えて 4班に分かれ、各班に講師がついて作業したが、班ごとの時間調整が必要であった。長時間の作業となったが、昼食には、落花生の赤飯とみそ汁、最後はできたてのこんにゃくを試食しながら、会話が弾んでいる様子であった。講師への質問も活発であった。

アンケート結果から、受講者は60歳以上の女性中心で、ほとんどの方が講座に満足していると回答している。

リピーターも多く、受講者の希望も多いので来年度以降も続けていきたい。

## 4. コミュニティ事業

さくら学び塾 スマホを持って旅に出よう-デジタル時代の海外旅行を考える-

①開設趣旨 本講座は、地域そのものや、地域課題への関心を高める学習機会を提供することで「共に生き、支えあう」地域づくりに寄与する人材の育成を図る「コミュニティ事業・さくら学び塾」として、市民公募による講師の企画に基づき、開設する。

②募集対象 成人 20人

③プログラム

回	実施日(曜日)	学習内容	講師
1	10月14日(土) 10:00~12:00	旅行用スマホの選び方 航空券の買い方	総合旅行業務 取扱管理者 山野正義
2	10月21日(土) 10:00~12:00	ホテルの選び方 病気・盗難と保険	
3	11月4日(土) 10:00~12:00	パスポートとビザ 両替とクレカ	
4	11月11日(土) 10:00~12:00	カバンと持ち物 旅行先での飲食	

④講座を終えて こうほう佐倉での受講者募集は、スペースが限られており内容を伝えづらかったため、チラシを配布したり、電話での受付時に確認したりして情報を補った。

スマートフォン、タブレットを使用する講座という事で、機器の不安があったが、講師所有のルーターなどを使用し対応した。ただ、講師任せにしてしまった事で、忘れ物をした時に直ぐに対処法がなく、講座内容を変更した回もあった。

講義の様子については、講師は話すことに慣れているようであったし、気軽な雰囲気もあり、受講者も話を聞きやすいようだった。「スマートフォンの操作について」、「海外旅行について」と範囲が広いので、まだまだ時間が足りないようだった。少人数であったが、受講者は積極的に質問をしていた。

アンケートから、講座内容について、とても満足している方もいれば、思っていた内容と違っていたという方もいた。範囲が広がったためだと感じたが、初めての講座ということで、講師も探りながらであったようだ。

今後は、講師の実践的な知識を活かせるように、もっと内容を絞った講座を検討していきたい。

## 5. 団体育成事業

---

### ①根郷地区青少年育成住民会議

近年、青少年を取り巻く環境は著しく変化し、それに伴う諸問題は複雑かつ深刻化する傾向にあるようだ。こうした問題の解決のため、市民一人一人が問題解決に取り組み、家庭や学校、そして地域がそれぞれの立場で、各種団体と行政が協働して健全育成を推進していくことを目的に、昭和57年、佐倉市青少年育成市民会議が結成された。

組織としては市内7地区の青少年健全育成住民会議と、子ども会育成連盟、PTA連絡協議会などその他構成団体からなり、事務局は佐倉市健康こども部児童青少年課が行っている。

根郷地区青少年育成住民会議は、地域住民が相互に連携協力し、青少年の健全な育成と非行防止、福祉の充実を図るため、研究並びに協議を行い、地域ぐるみ活動を伸長させることを目的としている。

主な活動としては、防犯パトロールや地域行事の企画・運営、各種団体への助成などを行っている。

### ②南部地区子ども会育成会連絡協議会

近年、地区子ども会への加入が減少傾向にあるなかで、どのように運営していったら良いか、どんな運営をしたら良いかなど、地区の子ども会を支援する目的として、昭和56年に結成された。事務局は佐倉市健康こども部児童青少年課が行っている。

活動としては、子ども会活動に役立つゲーム講習会や子ども会の会長が集まり、意見を交換する、会長連絡会などを行っている。また、子ども会活動に役立つ各種備品の貸し出しも行っている。

## 6. 広報事業

---

---

公民館だより

- ねらい・・・公民館の事業、利用団体の活動、地区の情報などを案内するために公民館だよりを発行する。
- 発行回数・・・年2回（4月15日、9月15日）
- 発行部数・・・4月15日号 10,000部 9月15日号 9,300部
- 配布方法・・・各公民館・図書館の窓口及び根郷地区各世帯・各事業所に新聞折込みにより配布

## 7. 図書事業

○趣旨 読書活動を支援していくと共に、個人学習や集団学習への資料提供を行い、学習の深化を図る。リクエストの受付や他館からの返却受付などの利用者の便を図る。また、佐倉市関連資料や根郷地区関連資料を収集し、貸し出すことにより、地域理解を深めるための支援を行う。

○蔵書数 約3千冊

○月別貸出数・返却数

月別 区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
貸出数 (冊)	85	108	95	121	65	121	127	180	97	114	21	102	1,236
返却数 (冊)	655	726	330	369	450	1,159	342	430	335	340	170	344	5,650

# 志津公民館

# 志津地区の概要

志津地区は、佐倉市の行政区域の西部に位置し、昭和29年の町村合併による旧志津村の行政区域が現在の志津地区となっている。

なお、宅地開発等により地域人口が年々増加し、平成30年3月末現在では、佐倉市の総人口176,059人に対し志津地区の人口が76,913人となっており、その割合は43.6%であり、市内の地区別における居住人口の最も多い地区となっている。

また、京成電鉄が中央部を東西に走り、駅前（志津駅・ユーカリが丘駅）を中心に街並みが整備され、首都圏のベッドタウンとして開発が進んでいる。ユーカリが丘駅前には、複合型大規模商業施設が並びペDESTリアンデッキ（立体遊歩道）で結ばれるなど、近代的な街づくりへと生活環境などが発展してきている。しかし、市街化区域を一步外れると田園風景が広がり自然豊かな環境が残る地区となっている。

志津公民館は昭和48年10月に開館し、京成志津駅から徒歩5分の立地にあったものを、老朽化と複合施設化のため、旧志津出張所跡地に「志津市民プラザ」として、平成27年11月末に新たにオープンし、多くの地域住民に利用され生涯学習の拠点となっている。

## 志津地区のデータ

【平成30年3月末現在】

○志津地区：面積	18.52 km <sup>2</sup>	（佐倉市：面積	103.69 km <sup>2</sup> ）
○ 〃：住基人口	76,913人	（ 〃：住基人口	176,059人）
○ 〃：人口密度	4,152人 / km <sup>2</sup>	（ 〃：人口密度	1,697人 / km <sup>2</sup> ）



# 1. 公民館運営計画

---

## 運営方針

佐倉市公民館活動計画を踏まえ、地域の実態や動向に立脚し、住民の自主活動を育て援助しつつ郷土づくりの意識を一層高める。

また、各人の生活課題をみつめ、生涯学習の場としての適切な運営に努める。

## 努力目標

- 多様な学習機会の提供をはじめ、住民の幅広い学習活動の支援。
- 学校を含めた関係機関との有機的な連携による事業の推進。
- 学習した成果が地域社会に還元され、地域の人材が活用される環境づくりの醸成。
- 複合施設（志津市民プラザ）としての機能を効果的に発揮するため調整を行う。

## 事業内容

### 1. 学級講座の開設

家庭教育と郷土学習を中心とした学級講座の内容充実。

### 2. グループや団体の育成援助

公民館での学習活動や地域でのグループ活動の意義を理解する自主グループの育成援助。

子ども会をはじめ、青少年の健全育成を推進する各種団体への援助と相互連携。

### 3. 広報活動

市民への情報提供や意見交換の場としての公民館だよりの発行と各種情報資料等の収集整備と提供。

### 4. 図書活動

郷土学習などを中心とした図書の整備及び、図書館との連携。

### 5. 施設の提供

原則として2か月前の月始めの日から使用申込みの予約を受け付け、使用許可書を交付する。

・開館日時 ①月・火・日曜日・祝日 9時～17時

②水・木・金・土曜日 9時～21時

\*夜間の使用申込がない場合は17時で閉館

・休館日 第2・第4月曜日 及び 年末年始 12月28日～1月4日

## 2. 公民館利用状況

### 年度別利用状況

区 分	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
利用件数 (件)	4,558	4,785	5,086	7,068	7,273
利用人数 (人)	56,295	58,617	66,148	92,379	91,992
開館日数 (日)	333	333	331	333	333

### 平成 29 年度 部屋別年間稼働率

会議室名称	利用可能回数	利用回数	稼働率
210	860	768	89.3%
220	860	736	85.6%
201	860	677	78.7%
202	860	639	74.3%
調理室	860	550	64.0%
310	860	747	86.9%
和室	860	607	70.6%
401	860	663	77.1%
アトリエ	860	677	78.7%
大会議室 A	860	849	98.7%
大会議室 B	860	849	98.7%

【事業報告】

領域	事業名	対象	期間・回数	内容
家庭教育	お母さんと遊ぼう 「ぼっぼちゃんのお家へいこう」	2歳児と母親 20組	5月～11月全10回 5/30 11組23人 6/ 2 9組18人 6/16 9組19人 7/ 7 10組21人 7/16 6組16人 7/21 9組23人 9/ 8 7組15人 9/22 9組19人 10/ 6 9組19人 10/27 7組15人 11/17 10組21人	親子遊びを通して、子どもの成長を見守り、子どもと親が共に成長する「育自」を体験する講座。親同士の交流を図り、地域の中で、子育てを考える。 5/30 オリエンテーション 6/ 2 開講式・工夫してあそぼ 6/16 おにぎりを持って遠足に行こう 7/ 7 布あそび 7/16 お父さんとヨガ 7/21 手づくりおもちゃであそぼう 9/ 8 牛乳パックであそぼう 9/22 バスで草ぶえの丘にいこう 10/ 6 伝承あそび 10/27 ごっこあそび 11/17 お楽しみ会・閉講式
	笑顔で子育て応援講座	子どもと保護者	2月・3月 2回 2/11 3組11人 3/10 12組28人	子どもが健全に育つための親子で参加できる体験学習講座を行い、親子のふれあいを図る。 2/11 せんたくばさみで 和のカテン止めを作ろう 3/10 皮から餃子を作ってみよう おいしいデザート付
青少年教育	佐倉っ子塾共通講座	子どもクッキング教室	小学生 6月～12月 全4回 6/18 18人 7/15 17人 10/29 20人 12/17 20人	地域住民の協力のもと、季節に合わせた料理作りを通じて、自分の手で作る喜びを学び、食への関心を高める。 6/18 ツルツル手打ちうどんとデザートをつくろう 7/15 みんな大好きおライスとにんたま汁のデザート付 10/29 食欲の秋、みんなでチャレンジ！ 秋のランチ&ゼリー 12/17 トッピングで楽しむ、ピザで クリスマス！
		子ども手作り工房	小学生 6月～12月 全4回 7/ 2 19人 7/ 9 19人 10/28 17人 11/ 5 14人	佐倉の地域素材を織り交ぜながらの体験や学習を通じて、子どもたちの「つくる楽しさ」「わかる喜び」「できる自信」を育む。 7/ 2 輪ゴム鉄砲を作って遊ぼう 7/ 9 キャンドルシェードを作ろう 10/28 スタンプ帳を作ろう 11/ 5 スカイ・スクリーンを作って 飛ばそう

		子ども自然教室	小学生	6月～12月 全4回 5/20 21人 6/17 25人 10/21 36人 11/11 5人	自然体験学習や印旛沼等の自然環境を学び、環境意識を育む。 5/20 志津里山探検 6/17 種の不思議(公園編) 10/21 秋の夜空を見てみよう 11/11 種の不思議(公園編春からの変化)
		子ども理科実験教室	小学生	6月～12月 全4回 6/25 17人 7/16 19人 10/ 1 13人 11/ 5 28人	理科実験等、体験学習を通して子どもの好奇心や想像力を育む。 6/25 立体万華鏡を作ろう 7/16 科学の力でアイスcreamを作ろう 10/ 1 おいしい電気パンを作ろう 11/ 5 電気自動車作り
		ちょこボラ (公民館でちょこっとボランティア)	中学生 高校生	通年 8月 高校生 1人 5日 大学生 2人 各3日	青少年が職場体験学習をすることで、地域の人とのふれあいや公民館で働く職員と接することを通して、社会的自立や豊かな人間性を育むことを期待する。
成人教育	しづ市民大学	しづ学入門	成人 44人	5月～2月 19回：土曜日 開講式・記念講演 5/27 学習発表・閉講式 2/24	郷土の歴史・文化・自然などについて学び、自らの学び経験をとおして地域社会の活性化に貢献し、心豊かで住みよい生活と地域の実現を図る。 修了生 43人/出席率 90%
		地域健康学	成人 40人	5月～2月 19回：火曜日 開講式・記念講演 5/27 学習発表・閉講式 2/24	心身ともに豊かで充実した人生を送るため、自らの生活を見直し、健康について学ぶことを通じて、地域の中で連帯を図る。 修了生 36人/出席率 80%
		くらしの情報学	成人 45人	5月～2月 19回：木曜日 開講式・記念講演 5/27 学習発表・閉講式 2/24	日々のくらしに役立つ様々な情報や地域情報を学び、共に学んだ仲間たちと活用することにより、安全で快適なくらしを送れる地域づくりを図る。 修了生 42人/出席率 89%
		おやじの食事学	成人男性 25人	5月～2月 19回：土曜日 開講式・記念講演 5/27 学習発表・閉講式 2/24	食生活の大切さや和食を基礎とした食事づくりの楽しさを体験しながら、地域の中で仲間づくりと地域で活躍するきっかけをつくる。 修了生 25人/出席率 92%

		特別講座 (公開講演会)	成人 30人	11月～2月 6回 8/26 153人 11/21 19人 11/30 3人 12/ 2 5人 12/ 5 17人 12/ 7 13人	しづ市民大学の講座や合同講演会を市民にも公開し、誰もが参加できる講座を開催する。 8/26 土井利勝と御成街道 (合) 11/21 笑いいっぱいのforall体操 (健) 11/30 安全運転と防犯 (情) 12/ 2 印旛沼の鳥 =鳥の知恵= (し) 12/ 5 呼吸法ヨガで自分をみつめ、自己管理 (健) 12/ 7 寒くても室内でできるバランス体操 (情)
成人教育	佐倉学	佐倉学入門講座 「井野長割遺跡を学ぶ」	成人 30人	11月～1月 4回 11/29 14人 12/ 6 18人 12/13 16人 12/20 16人	井野長割遺跡を題材に、縄文時代の志津地区について知識を深め、地域の遺跡を学ぶことで、郷土愛や歴史文化への意識を高める。 11/29 考古学入門・佐倉の縄文時代 12/ 6 井野長割遺跡とは 12/13 遺跡探訪 【会場：井野長割遺跡】 12/20 遺跡の経緯と今後
		佐倉・城下町400年 記念事業 「佐倉道を歩く」	成人 20人	10月～11月 5回 10/17 23人 10/24 23人 10/31 21人 11/ 7 20人 11/14 21人	かつて佐倉城主が参勤交代で通行した「佐倉道」を実際に歩き、城下町佐倉や周辺地域の歴史について理解を深める。 10/17 AM:講義、PM:公民館～白井駅 10/24 京成江戸川駅～京成西船駅 10/31 京成西船駅 ～新京成習志野駅 11/ 7 新京成習志野駅 ～京成志津駅 11/14 京成白井駅～佐倉城大手門
コミュニティ事業		さくら学び塾 「病気対策に必要な 栄養とは何か？」	成人 50人	11月～1月 3回 11/12 52人 12/10 46人 1/14 53人	さくら学び塾(学びあい講座)として、市民公募による講師の企画に基づき開設する。 予防や治療において栄養が如何に大切であるかを学ぶ。 11/12 臨床栄養学の基礎を学ぶ 12/10 アレルギー・糖尿病・高脂血症・痛風・認知症 1/14 高血圧・心筋梗塞・脳卒中・骨粗鬆症・便秘
団体育成		第44回志津公民館祭	公民館利用サークル	10月 10/20～22 3日間 113団体/3,699人	学習成果の発表や展示を通して、地域住民の交流と学習機会提供の場とする。
		サークル運営研修会	公民館利用サークルの代表者	4月 1回 4/12 150団体 159人	サークル活動の意義、運営のあり方を学び、自主性を高め、地域活動につなげる。

	調理室利用サークル 懇談会	調理室利用サークル	6月 1回 6/26 25団体 39人	調理室の効果的な活用と適正な運営・衛生管理の向上を考え、懇談を通してサークル間の交流を図る。
	志津ジュニア・ リーダーズ・クラブ (志津JLC) 支援	1団体	通年 共催事業 11/26 82人	「志津JLC」が行う各種事業への援助を通じて、JLの養成を図る。子ども会等の交流を図る機会を設け、JLが活動する場とする。 11/26 クリスマス会
	志津地区社会教育関係団体への援助	該当団体	通年	志津地区青少年育成住民会議等の事業及び活動を支援する。
	公民館園芸ボランティア団体「花の輪」への支援	該当団体	通年	公民館における園芸・学習活動を支援する。
広報活動	公民館だより 「しづ」の発行	志津地区 各戸配布 市内主要 施設配布	5/1・10/1・2/1 5月・2月 各 23,000部 10月 25,000部 発行	志津公民館事業の案内・情報などを提供し、公民館活動への理解と認識を深めるとともに、各事業の参加募集を行う。

# 1. 家庭教育事業

## お母さんと遊ぼう「ぼっぼちゃんのお家へいこう」

- ① 開設趣旨 「元気で良い子に育ててほしい」という願いは、どの親も共通した願いである。2歳児は、自我が目覚める年齢。子どもの目線に立って一緒に考えてあげましょう。小さなことも、できたら、十分抱きしめて、ほめてあげましょう。この講座は、子どもの成長を見守り、子と親が共に成長する「育自」を体験する母親のための講座である。

親子のふれあいを通して、幼児の自主性と豊かな心を育て、親同士の交流をはかり、地域の中で子育てを考える。

- ② 募集対象・募集人数 2歳児と母親20組

- ③ プログラム

回	実施日(曜日)	学習テーマ	学習内容	講師
1	6月 2日(金)	開講式・工夫して・あ・そ・ぼ	開講式・ゲーム遊び	蓮 淳子 (幼児教育研究家)
2	6月16日(金)	おにぎり持って遠足行こう	モノレールのコアラ号に乗って、出発!!元気にお散歩しましょ。	蓮 淳子 (幼児教育研究家)
3	7月 7日(金)	布あそび	いろいろな布であそびます	蓮 淳子 (幼児教育研究家)
4	7月16日(金)	お父さんとヨーガ	お父さん出番です	川村 淳司 (ヨーガインストラクター)
5	7月21日(金)	手づくりおもちゃであそぼう	たのしいな、伝承遊びを体験	蓮 淳子 (幼児教育研究家)
6	9月 8日(金)	牛乳パックであそぼう	体を動かそう	蓮 淳子 (幼児教育研究家)
7	9月22日(金)	バス遠足 型バスで佐倉草ぶえの丘に行こう	草ぶえの丘でべったん餅つき	蓮 淳子 (幼児教育研究家)
8	10月 6日(金)	野外で遊ぼう	上座公園で遊ぼうね	蓮 淳子 (幼児教育研究家)
9	10月27日(金)	ごっこ遊び	なりきり、なりきりごっこ遊び体験	蓮 淳子 (幼児教育研究家)
10	11月17日(金)	お楽しみ会・閉講式	お楽しみ会・閉講式	蓮 淳子 (幼児教育研究家)

- ④ 講座を終えて

家庭教育事業として、2歳児とそのお母さんを対象に、親子遊びを通して親子のふれあいを図り、お母さんの同士の情報交換と地域の仲間づくりの場となることを目指して、本講座を実施した。

基本的に親子や参加者同士の交流を図るため、講座はリズムに合わせた手遊び、体操、わらべ歌等を取り入れた。また、受講生同士が交流と情報交換の場としての話し合いの機会を定期的実施した。講座については、季節の行事や季節感のある工作(手作りおもちゃ)を実施し、お父さんとのヨーガについては親子参加に拡大して実施した。

講座終了後のアンケートでは、参加者全員が初受講ということもあり、講座を受講しての満足度、目的が達成等率直なアンケート結果となった。「休憩があると有難い」「親同士の話す時間が欲しい」「良い講座なのにあまり知られていない」などの感想が寄せられた。しかしながら、講座の目的等については「工夫した遊びが多く子育てをしていくうえで参考になった」「子育ては楽しいと思える場面がたくさんあった」「同じ幼稚園に行く方々がいて良かった」等、概ね目的が達成できたといえる。その一方で、「もう少し回数が必要」との意見もあった。

## 笑顔で子育て応援講座

(1)「せんたくばさみでネコのカーテン止めを作ろう」

(2)「皮から餃子を作ってみよう おいしいデザート付き」

① 開設趣旨 親子を対象に、子どもが健全に育つための、家庭教育講座。日本文化の伝承や地域料理を体験することにより、親子のふれあいを図る。

② 募集対象 子どもとその保護者 各15組

③ プログラム

回	実施日(曜日)	学習テーマ	学習内容	指導者
1	2月11日(祝)	せんたくばさみでネコのカーテン止めを作ろう	せんたくばさみに、ネコの形をした布を縫い付けて、カーテン止めを作る。	スケッチブックの会(定期利用サークル)
2	3月10日(土)	皮から餃子を作ってみよう おいしいデザート付き	調理実習として、餃子を皮から作る。(デザートはトッピングのみ)	餐究会(定期利用サークル)

④ 講座を終えて

こうほう佐倉や公民館だよりで募集をかけたが、なかなか人が集まらず、若い人の新聞離れ等要因はいろいろ考えられるが、募集について、他の方法の検討が必要であると感じた。

今回の講座で印象に残ったのは、二つあった。一つは、受講生の完成時の笑顔と、それ以上に、教える側、サークルの人たちの嬉しそうな姿である。教えることにより、人材活用、地域貢献、脳の活性化、ひいては健康余命を延ばすことにつながると考えれば、こういう講座をもっと実施して良いのではないかと思った。

もう一つは、講座中、親子の協力がとても感じられ、地域の人が親子を支え、受講生ができあがったものに喜び、とても満足度の高いものとなったことである。公民館利用率の低い、若い世代を公民館に呼ぶ、かつ公民館を知ってもらう一つの方法として、この講座をもう何回か開催してもよいのではないかと感じた。



## 2. 青少年教育事業

### 佐倉っ子塾 「子どもクッキング教室」

- ① 開設趣旨 地域住民の協力のもと、季節に合わせた料理作りを通じて、自分の手で作る喜びを学び、食への関心を高める。
- ② 募集対象 小学生 各20人
- ③ プログラム

回	実施日(曜日)	学習テーマ	学習内容	講師
1	6月18日(日)	ツルツル手打ちうどんとデザートを作ろう	うどんを小麦粉から作ることで、手作りの喜びを味わう。	おやじの食事学同好会(定期利用サークル)
2	7月15日(土)	みんな大好きおライスとにんたま汁♡デザート付	定番料理を作ることで、料理の楽しみを味わう	楽習会(定期利用サークル)
3	10月29日(日)	食欲の秋、みんなでチャレンジ!秋のランチ&ゼリー!	彩りを考えた料理を作り、考えることの楽しみを味わう	長いすの会(定期利用サークル)
4	12月17日(日)	トッピングで楽しむ、ピザでメリー・クリスマス	トッピングを工夫して、楽しく作り、楽しく食べることを学ぶ	食生活改善推進員志津B支部

#### ④ 講座を終えて

子どもたちが楽しく調理をすることを、地域の人々が見守り、手伝うことで、作る楽しみ、できる喜び、地域の方との世代間交流を図ることを目的として実施している。

応募人数も多く、リピーターも何人かいるほどの講座であり、これからも続けていくべき講座と考える。講師の方々も、子どもたちが喜んでいる姿を見るのを楽しみにしており、これからも依頼していきたいと考えている。

料理の奥深さよりも、入口を大事にするため、メニューについては、子どもたちが自分の家で再度作ってみたいと思わせるようなものを考えていく必要があると考える。

アンケートの結果も、ほぼ「たのしかった」と回答してくれており、やりがいのある講座であるともいえる。

### 佐倉っ子塾 「子ども手づくり工房」

- ① 開設趣旨 佐倉の地域素材を織り交ぜながらの体験や学習を通して、子どもたちの「つくる楽しさ」「わかる喜び」「できる自信」を育む。
- ② 募集対象 小学生各20人
- ③ プログラム

回	実施日(曜日)	学習テーマ	学習内容	講師
1	7月 2日(日)	輪ゴム鉄砲を作って遊ぼう	輪ゴム鉄砲を作る	佐倉っ子工芸クラブ
2	7月 9日(日)	キャンドルアートを作ろう	キャンドルアートを作る	志津ジュニアリーダークラブ
3	10月28日(土)	スタンプ帳を作ろう	スタンプ帳を作る	千葉県立鎌ケ谷高等学校 岩宮しげみ
4	11月 5日(日)	スカイ・スクリュウを作って飛ばそう	スカイ・スクリュウを作る	佐倉っ子工芸クラブ

#### ④ 講座を終えて

子どもたちに身近な地域の人たちとのふれあいを通して、手工芸に触れ、手づくりの良さを知り、作る楽しさを体験してもらうため、地域の人から学ぶ体験学習講座として、志津公民館等で活動している、佐倉っ

子工芸クラブをはじめとする講師を迎え、4講座を実施した。輪ゴム鉄砲とスカイ・スクリーについては、講座の終了前に、実際に飛ばしてもらった、飛ばしている子ども達がとても喜んでる姿を見て、講師たちも、また次回も喜んでもらおうという気持ちが膨らんだようであった。低学年が悪戦苦闘していたものを、講師陣が一生懸命フォローしている姿が印象的であった。今年度初めて取り入れたスタンプ帳だが、小学生には多少ハイレベルなものとなったが、講師が一人ひとり丁寧に手助けをしたおかげでそれぞれの別品に仕上げる事ができた。

出来上がった作品はどれも自分たちの宝物として、心に残して行って欲しいものである。来年度以降も作る楽しさ、わかる喜び、できる自信を踏まえた講座の企画を講師陣と共に心がけていきたい。

### 佐倉っ子塾 「子ども自然教室」

- ① 開設趣旨 地域の自然にふれ、子どもたちに自然を舞台に新しい発見を体験する機会を提供し、自然の中で遊ぶことの素晴らしさ、楽しさを実感することで青少年の健全性を育む。
- ② 募集対象 小学生各20人
- ③ プログラム

回	実施日(曜日)	学習テーマ	学習内容	講師
1	5月20日(土)	志津里山探検	里山に生息する生物や、草花の観察を体験 (会場：志津コミュニティーセンター周辺)	野鳥の会 浅野 俊雄
2	6月17日(土)	種の不思議(公園編)	身近な自然から種について学ぶ (会場：志津自然園)	県：教育センター
3	10月21日(土)	秋の夜空を見てみよう	星座観察のポイントと月の不思議を体験 (会場：雨天の為志津公民館で実施)	染井野星の会
4	11月11日(土)	種の不思議 (公園編春からの変化)	身近な自然から種について学ぶ (会場：志津自然園)	県：教育センター

#### ④ 講座を終えて

自然教室は、里山や林の中等の屋外に教材が多くあることを教える良い機会となっている。受付開始前に、講師と実施前の最終的な流れ等の確認・打合せ。受付を開始後、参加者には事業の流れ、注意点を説明した。実施した公園では、昆虫等の生き物は少なく樹木の観察を主に行った。講座の導入として、昔の志津・植物の話をし、観察に入る。観察はゲーム形式のもの等子どもたちの意欲を掻き立てながら観察をした。子どもたちは夢中で観察していた。観察は普段何気なく遊び、何気なく通っている公園が観察場所に指定したが、参加者は初めて知ることが多く、保護者も子どもと一緒に夢中で観察する貴重な時間となっていた。高木が多く涼しい中での観察ができたが、多くの児童が「蚊」に刺されていた。虫への対処をしていなかったことが反省点となった。子どもたちも短時間ではあるが熱心に聴いていた。屋外の散策には講師の他に、保護者同伴での参加もあり、子どもの安全面に関してご配慮をいただいた。

星空事業では、数日前より台風21号の影響で屋外による観察会は出来ないと講師と相談の上判断し、中止ではなく雨天時用の屋内による座学を実施した。当日は予報どおり朝からの大雨でありキャンセル・欠席の連絡が相次ぎ結果16名(児童)の参加者となってしまった。座学では、この時期に観察の出来る星座、観察のポイント、星座にまつわる神話の話等に加え、月の謎の話しや小道具を使った実験を行った。難しい内容ではと思っていたが、実験等を加えているため低学年の児童でも理解できる講座となった。今回講師協力を頂いた会の会員の方は自己所有している本物の「隕石」を持ち込んでいただいたり、隕石を実際に触れさせてくれたりと参加者は貴重な体験が出来、保護者が子ども達より真剣になる一幕もあった。アンケートでも参加者の満足度が高かった。今後も志津地区にある自然を紹介し、自然と触れ合える機会を提供していきたい。そして、自然の中で遊ぶことの少なくなった子どもたちに自然の中で遊ぶことの楽しさ、自然の大切さを伝えていきたい。

### 佐倉っ子塾 「子ども理科実験教室」

- ① 開設趣旨 理科実験等、体験学習を通して子どもの研究心や想像力を育む。  
 ② 募集対象 志津地区在住の小学生各20人  
 ③ プログラム

回	実施日(曜日)	学習テーマ	学習内容	講師
1	6月25日(日)	立体万華鏡を作ろう	光のふしぎ(屈折・色・エネルギーなど)を学び、万華鏡を作って不思議を体験する。	自然科学の会
2	7月16日(日)	科学の力でアイスクリームを作ろう	熱が奪われて温度が下がる現象を学び、アイスクリーム作りを体験する。	西志津おやじの会
3	10月1日(日)	おいしい電気パンを作ろう	電気の理論を利用して、パンを作ることができる事を体験する。	西志津おやじの会
4	11月5日(日)	電気自動車作り～電池やモーターを作って科学の不思議を楽しもう～	くだもの電池を作って実験・模型自動車を作って走らせる。	自然科学の会

#### ④ 講座を終えて

それぞれの講座について、事前に道具・材料を整え参加者に体験してもらうことを重視している。「立体万華鏡を作って楽しもう」では、光の反射の原理を説明し、その応用で万華鏡の模様ができることを理解してもらい、その後工作をして作品を作る喜びを体験してもらった。「科学の力でアイスクリームを作ろう」では、氷に塩を入れ、熱が奪われる現象を見てもらい、氷に塩を加えたものと塩を加えないで作ったアイスクリームの素を用意し、実際に現象を見てアイスクリームが仕上がる様を実習してもらった。「電気パンを作ろう」では、材料に熱を通すものと通さないものがあり、電流を流してその仕組みを理解してもらい、安全面に注意を払いながら、調理を体験してもらった。「電気自動車を作って遊ぼう」では、果物の汁の種類によって通電し、それを動力することで模型自動車を走らせることができるメカニズムを説明し、実際に模型自動車を作成し、作ったものを皆で走らせたところ、受講生にとっても好評だった。来年度以降も講師たちとの交流と、さまざまな実験を通して、子どもたちの喜びに繋げていきたい。

### 佐倉っ子塾 「中高ちょこボラ」中学生・高校生のための公民館職場体験学習

- ① 開設趣旨 中学生・高校生を対象に志津公民館でちょこっとボランティアをする職場体験学習講座  
 ② 募集対象 中学生・高校生  
 ③ プログラム等

「公民館職場体験」公民館でお仕事

「公民館事業企画」公民館の主催事業の企画

「公民館主催事業お助け隊」公民館の主催事業のチラシ作成や主催事業の受付など

回	実施日(曜日)	ボランティア内容	会場	参加者数
1	8月1日(火)	抽選会受付業務補助	志津公民館	高校生1人
2	8月19日(土)	しづ市民大学 しづ学入門 受付及び補助	志津公民館	大学生1人
3	8月22日(火)	好学チャレンジ受付及び補助	志津公民館	高校生2人
4	8月23日(水)	好学チャレンジ受付及び補助	志津公民館	高校生2人 大学生1人
5	8月24日(木)	好学チャレンジ受付及び補助	志津公民館	高校生2人 大学生1人
6	8月26日(土)	しづ市民大学 受付及び補助	志津コミュニティーセンター	大学生1人

中学生・高校生のための職場体験講座「ちょこボラ」の企画は、志津公民館で毎年度、学校からの依頼により職場体験を実施しているが、志津地区の中学生や高校生に職場体験の講座を拡大し、平成24年度か

ら実施している。

背景に都市化や少子化等の進展に伴って、子どもたちの社会性の不足、規範意識の低下、人間関係や連帯感の希薄化、集団や社会の一員としての自覚や責任感の低下などが指摘されているが、中学生や高校生のための社会体験講座としての事業実施とした。

今年度のボランティアの参加は、夏休みを中心に高校生2人と大学生1人の参加となった。志津公民館窓口業務の説明や地域の中での公民館の役割など公民館職員としての学習から始まり、小学生対象の好学チャレンジ、公民館利用サークルが参加する抽選会、しづ市民大学の受付業務等に積極的に関わってもらった。

参加した学生の感想は、「ちょこボラの募集はこうみんかんだよりを見て、小学生との交流とボランティアを含め公民館に興味があった。とても貴重な経験だと思います。」「子どもたちとの関わりやボランティア活動は将来的に役に立つと思い、まずは身近な公民館での活動をしようと思った」等だった。

今後、高校生が学校教育の現場だけでなく、地域の中の公民館の職場体験の経験を生かし、ボランティア精神が醸成され、社会の一員としての自覚を持っていくように願う。

### 3. 成人教育事業

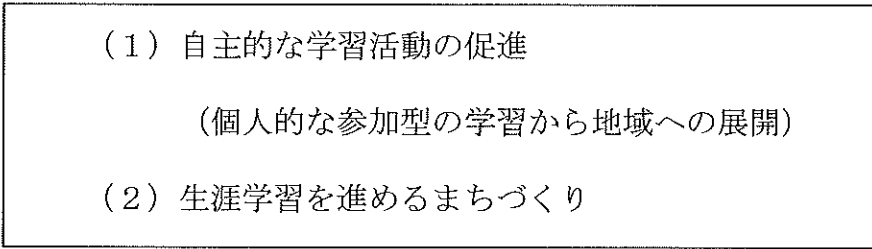
#### しづ市民大学（第28期）

##### ① 開設趣旨

志津公民館では、自由時間の増加、少子高齢化の進展等の中で一人ひとりが自らの生活を見直し、心豊かで充実感ある人生を送るための学習の場を提供するとともに、学習を通じて地域の連帯をはかり、その成果を生かした「まちづくり」に貢献できるよう『しづ市民大学』を開設した。

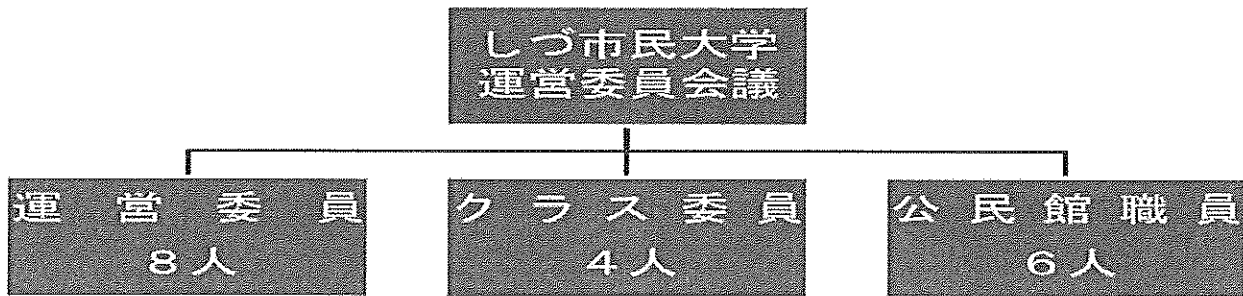
なお、しづ市民大学の学習とは、講座に参加する・講話を聴くだけの座学ではなく、多彩な学習を学習者自らが創造し、企画並びに運営活動に参画し、市民活動の推進を図る。

そこで、開設にあたり事業の視点を次の2点とし、個性的で多様な内容を取込み『しづ市民大学』を展開する。



『しづ市民大学』は、人々の出会いの場・地域づくりの場の核となり、地域住民への学習機会を提供し、一人ひとりの生きがいの発見・地域の仲間づくりを通して「住みよいまちづくり」に寄与することを目指す。

#### 【 しづ市民大学運営関係図 】



##### ② 募集対象、募集人員

- |          |      |     |
|----------|------|-----|
| ・しづ学入門   | 成人   | 44人 |
| ・地域健康学   | 成人   | 40人 |
| ・くらしの情報学 | 成人   | 45人 |
| ・おやじの食事学 | 成人男性 | 25人 |

##### ③ 学習目標

- ・しづ学入門 地元の志津地域や佐倉の歴史・文化・自然などについて学習する場を提供し、自らの学び経験をとおして地域社会の活性化に貢献し、心豊かで住みよい生活地域の実現に寄与する。
- ・地域健康学 地域の一人ひとりが自らの生活を見直し、心身ともに豊かで充実した人生を送るために、健康学を通じて地域の連帯を図り、この成果を生かした「まちづくり」に貢献することをめざす。
- ・くらしの情報学 日々のくらしに役立つ様々な情報や地域情報を学習する。溢れる情報の中から有用なものを選択し、得た情報を個人あるいは仲間たちと共に活用することにより、安全で快適な生活の在り方を模索する。
- ・おやじの食事学 男性を対象とした講座で、食の大切さや和食を基礎とした食事づくりの楽しさを体験しながら、地域の中で仲間づくりをめざし、地域で活動するきっかけをつくる。

# しづ市民大学「しづ学入門」コース

【学習プログラム】				
回	日時	学習内容「テーマ」	【会場】	講師
1	5月27日(土) 9:30~12:00	開講式・記念講演会 「生死のラインを2度超えて“かなづち”から金メダル ～“元カナヅチ”を目指す水深100mの世界～」 【志津公民館大会議室A・B】		フリーダイバー世界一 岡本美鈴
2	6月3日(土) 9:30~15:00	志津地域の史跡と名所 【志津公民館 大会議室A】		郷土史研究家 宮武孝吉
3	6月17日(土) 9:30~12:00	佐倉市の日本遺産の魅力 【志津公民館 大会議室A】		佐倉市教育委員会 文化課職員
4	7月1日(土) 9:30~12:00	志津の歴史散策① =史跡・古道散策など= 【志津地区 史跡散策・雨天のため座学】		郷土史研究家 宮武孝吉
5	7月15日(土) 9:30~12:00	印旛沼の変遷 =湖沼の生態系= 【志津公民館 大会議室A】		県内水面水産研究所 主任上席研究員 平田淳一
6	8月5日(土) 9:30~12:00	学習発表会の案内 ほか 【志津公民館 大会議室A】		石井 肇
7	8月19日(土) 9:30~12:00	江戸時代の新田開発と村落 【志津公民館 大会議室A】		千葉県文書館嘱託職員 武田真幸
8	8月26日(土) 10:00~12:00	佐倉・城下町400年リレー講座 合同講演会 「土井利勝と御成街道」 【志津コミセン 大ホール】		郷土史研究家 本保弘文
9	9月2日(土) 9:30~12:00	佐倉連隊の戦跡をたずねて =旅順・レイテ= 【志津公民館 大会議室A】		佐倉市史編纂委員 内田儀久
10	9月16日(土) 8:30~12:00	村のお寺の力 —江戸時代の真言宗千手院を中心と して— 【志津公民館 大会議室A】		八千代市郷土歴史研究会村 田一男
	9月26日(火) 9:30~12:30	志津の歴史散策① =史跡・古道散策など= (7/1実施予定分) 【志津地区 史跡散策】		郷土史研究家 宮武孝吉
11	10月7日(土) 9:30~12:30	志津の歴史散策② =史跡・古道散策など= 【志津地区 史跡散策】		郷土史研究家 宮武孝吉
12	10月21日(土) 9:30~13:30	第44回 志津公民館祭 (しづ市民大学 ウォークラリー大会)		クラス委員・運営委員
13	11月4日(土) 9:30~12:00	井野長割遺跡を学ぶ 【志津公民館 大会議室A】		佐倉市教育委員会 文化課職員
14	11月18日(土) 9:30~13:00	城下町佐倉の歴史散策 【佐倉地区 史跡散策】		NPO「佐倉一里塚」 ガイドボランティア
15	12月2日(土) 9:30~12:00	印旛沼周辺の鳥 =鳥の知恵= 【志津公民館 大会議室A】		日本野鳥の会 浅野俊雄
16	12月16日(土) 9:30~12:00	民俗行事を学ぶ =井野の辻切りなど= 【志津公民館 大会議室A】		志津郷土歴史同好会 高山守
17	1月20日(土) 9:30~12:00	市民協働とは 【志津公民館 大会議室A】		佐倉市自治人権課職員
18	2月3日(土) 9:30~12:00	発表会に向けて 【志津公民館 大会議室A】		クラス委員・運営委員
19	2月24日(土) 9:30~14:30	コース別学習発表会・閉講式 【志津公民館大会議室A・B】		クラス委員・運営委員

## しづ市民大学 「地域健康学」 コース

回	日時	学習内容「テーマ」	【会場】	講師
1	5月27日(土) 9:30~12:00	開講式・記念講演会「生死のラインを2度超えて”かなづち”から金メダル～”元カナヅチ”が目指す水深100mの世界～」	【志津公民館 大会議室A・B】	フリーダイバー世界一 岡本 美鈴
2	6月6日(火) 9:30~15:00	お元気ですか？地域から健康笑顔を発信 口腔衛生	【志津公民館 大会議室A】	佐倉市保健師・歯科衛生士
3	6月20日(火) 9:30~15:00	栄養学から健康愛情料理～我が家の食事情の検証～	【志津公民館 大会議室A】	栄養士 小林 由喜子
4	7月4日(火) 9:30~12:30	地元食材・季節の手作り料理－実習編－	【志津公民館 調理室】	栄養士 小林 由喜子
5	7月18日(火) 9:30~12:00	軽スポーツでリフレッシュ	【志津公民館 大会議室A・B】	体育指導委員 六崎 美知代
6	8月26日(土) 9:30~12:00	佐倉・城下町400年記念リレー講座合同講演会 「土井利勝と御成街道」	【志津コミュニティセンター 大ホール】	郷土歴史家 本保 弘文
7	9月5日(火) 9:30~15:00	AM いつでも元気はつらつ介護予防 PM 健康体づくりのための体操とストレッチ 生活習慣の見つめ直しと健康維持の基礎知識	【志津公民館 大会議室A】	AM高齢者福祉課大川智子 PM NPO ニッポンランナーズ コーチ 萩谷正紀
8	9月19日(火) 9:30~12:00	生活習慣病とウォーキング～楽しく歩こう～生活習慣病とウォーキング～楽しく歩こう～	【志津公民館 大会議室A・屋外】	NPO 千葉県 ウォーキング協会
9	10月3日(火) 9:30~12:00	ノルディックウォークを体験しよう① ～ノルディックウォークの基本を学ぶ～	【志津公民館 大会議室A・B】	全日本ノルディックウォーク連盟 公認指導員 木崎 健太
10	10月21日(土) 9:30~13:30	第44回 志津公民館祭 (しづ市民大学ウォークラリー大会)		クラス委員・運営委員
11	10月24日(火) 9:30~12:00	ノルディックウォークを体験しよう② ～ノルディックウォーク実践編～	【志津公民館 大会議室A・屋外】	全日本ノルディックウォーク連盟 公認指導員 木崎 健太
12	11月7日(火) 9:30~12:00	森林浴で健康骨太に～安全に楽しく歩いて～	【志津公民館 大会議室A・屋外】	ボーイスカウト連盟公認 指導員 本部 三枝子
13	11月21日(火) 9:30~15:00	笑いっぱい タオル健康体操	【志津公民館 大会議室A・B】	健康をつくろう会 会長 廣吉 勝子
14	12月5日(火) 9:30~12:00	呼吸法ヨーガで自分をみつめ、自己管理	【志津公民館 大会議室A・B】	フリーダイバー 世界一 岡本 美鈴
15	12月19日(火) 9:30~12:00	健康太極拳で柔軟性を高め、筋肉を鍛える	【志津公民館 大会議室A】	日本武術太極拳連盟公認 指導員 中城 明
16	1月9日(火) 9:30~12:00	壁新聞を作ろう	【志津公民館 大会議室A】	クラス委員・運営委員
17	1月23日(火) 9:30~15:00	地域サークルとボランティア	【志津公民館 大会議室A】	手話ダンスロード
18	2月6日(火) 9:30~12:00	発表会に向けて	【志津公民館 大会議室A】	クラス委員・運営委員
19	2月24日(土) 9:30~14:30	コース別学習発表会・閉講式	【志津公民館 大会議室A・B】	クラス委員・運営委員

## しづ市民大学 「くらしの情報学」 コース

	日 時	学習内容「テーマ」	【会場】	講 師
1	5月27日(土) 9:30~12:00	開講式・記念講演会「生死のラインを2度超えて”かなづち”から金メダル〜元カナヅチ”が目指す水深100mの世界〜」	【志津公民館 大会議室 A・B】	フリーダイバー 世界一 岡本 美鈴
2	6月 8日(木) 9:30~15:00	地域の活動に参加しよう	【志津公民館 大会議室 A】	佐倉市社会福祉協議会 職員：地域支援班 直井加津子
3	6月22日(木) 9:30~12:00	ニュースの読み方	【志津公民館 大会議室 A】	元毎日新聞社論説委員長 清水 幹夫
4	7月13日(木) 9:30~12:00	遺言と相続〜備えあれば	【志津公民館 大会議室 A】	元千葉地方検察庁 検事 堀江 貞夫
5	7月27日(木) 9:30~12:00	悪質商法撃退法	【志津公民館 大会議室 A】	佐倉市消費生活センター 今井 消費生活専門相談員
6	8月26日(土) 10:00~12:00	佐倉・城下町400年記念リレー講座合同講演会 「土井利勝と御成街道」	【志津コミュニティセンター】	郷土歴史家 本保 弘文
7	9月 7日(木) 9:30~12:00	エコライフを送ろう	【志津公民館 大会議室 A】	元(財)電力中央研究所理事待遇 工学博士 中岡 章
8	9月28日(木) 9:30~12:00	佐倉市企業の取組み〜佐倉茶物語〜	【志津公民館 大会議室 A】	㈱小川園 代表取締役会長 小川 勝寛
9	10月12日(木) 9:30~12:00	高齢者社会と人権	【志津公民館 大会議室 A】	(社)千葉県人権センター 常務理事 鎌田 行平
10	10月21日(土) 9:30~13:30	第44回 志津公民館祭 しづ市民大学 ウォークラリー大会 雨天のため中止		クラス委員・運営委員
11	10月26日(木) 9:00~17:00	社会見学会：課外 埼玉県さいたま市：独立行政法人造幣局、川越市・川越散策		クラス委員・運営委員
12	11月 9日(木) 9:30~12:00	モノが片付くと心もすっきりって本当!?	【志津公民館 大会議室 A】	整理収納アドバイザー 和泉 きよい
13	11月30日(木) 9:30~12:00	安全運転と防犯	【志津公民館 大会議室 A】	佐倉警察署
14	12月 7日(木) 9:30~12:00	寒くても室内でできるバランス体操	【志津公民館 大会議室 A】	インストラクター 関根 美和
15	12月21日(木) 9:30~12:00	認知症サポーターになろう!	【志津公民館 大会議室 A】	志津南部地域包括支援センター
16	1月11日(木) 9:30~12:00	災害に備えて	【志津公民館 大会議室 A】	佐倉市役所危機管理室
17	1月25日(木) 9:30~12:00	AEDを使った救命救急講習	【志津公民館 大会議室 A】	志津消防署志津南出張所
18	2月 8日(木) 9:30~12:00	学習発表会に向けて	【志津公民館 大会議室 A】	クラス委員・運営委員
19	2月24日(土) 9:30~14:30	コース別学習発表会・閉講式	【志津公民館 大会議室 A・B】	クラス委員・運営委員



## しづ市民大学 「おやじの食事学」 コース

回	日時	学習内容「テーマ」 【会場】	講 師
1	5月27日(土) 9:30~12:00	開講式・記念講演会「生死のラインを2度超えて”かなづち”から金メダルへ”元カナヅチ”が目指す水深100mの世界へ」【志津公民館大会議室A・B】	フリーダイバー世界一 岡本 美鈴
2	6月10日(土) 9:30~15:00	医食同源、料理の基本を学ぶ「おにぎりと地場産野菜のみそ汁」(講義・実習・話し合い) 【志津公民館調理室 201 会議室】	栄養士 六崎 美知代
3	6月24日(土) 9:30~15:00	郷土食料理も形を変えて工夫し、栄養バランスよく～房総の食材を使って～(実習・話し合い) 【志津公民館調理室 201 会議室】	栄養士 六崎 美知代
4	7月8日(土) 9:30~15:00	筑前煮で学ぶ料理の基礎、麦飯(講義・実習・話し合い)【志津公民館調理 201 会議室】	栄養士 小林 由喜子
5	7月22日(土) 9:30~12:30	郷土料理房総祭り寿司と切干し大根サラダ (実習) 【志津公民館 調理室】	栄養士 小林 由喜子
6	8月26日(土) 10:00~12:00	佐倉・城下町400年記念リレー講座合同講演会 「土井利勝と御成街道」【志津コミセン大ホール】	郷土歴史家 本保弘文
7	9月9日(土) 9:30~12:30	本格派ダシでうまみをだし、おいしい和食 (実習) 【志津公民館 調理室】	フードコーディネーター 加藤 富美子
8	9月30日(土) 9:30~12:30	先輩おやじの手打ちうどんは「まごわやさしい料理」(実習) 【志津公民館 調理室】	おやじの食事学同好会
9	10月14日(土) 9:30~12:30	ボケ防止に役立つ「親食井」とさくらの伝統食 「家多良漬」(実習) 【志津公民館 調理室】	調理師 矢口 孝
10	10月21日(土) 9:30~13:30	第44回 志津公民館祭 しづ市民大学 ウォークラリー大会(雨天中止)	クラス委員・運営委員
11	10月28日(土) 9:30~12:30	おせち料理は「大根もち」(実習) 【志津公民館 調理室】	調理師 矢口 孝
12	11月11日(土) 9:30~12:30	家庭でできる本格麻婆豆腐(実習) 【志津公民館 調理室】	調理師 尾沢 和治
13	11月25日(土) 9:30~12:30	鯖をさばいて、味噌煮(実習) 【志津公民館 調理室】	調理師 尾沢 和治
14	12月9日(土) 9:30~12:30	地域へ発信!生活習慣病を予防しよう(実習) 【志津公民館 調理室】	佐倉市食生活改善推進員 志津A支部
15	12月16日(土) 9:30~12:30	みんなで考えるリクエスト料理(実習) 【志津公民館 調理室】	フードコーディネーター 加藤 富美子
16	1月13日(土) 9:30~14:30	学習発表会に向けて(話し合い) *世話人の手づくり料理団子汁【志津公民館調理室 201 会議室】	クラス委員・運営委員
17	1月27日(土) 9:30~14:30	おもてなしメニューを練習しよう 【志津公民館調理室 201 会議室】	クラス委員・運営委員
18	2月3日(土) 9:30~13:30	講師を囲んでおもてなし料理の披露目会(実習) 【志津公民館調理室 201 会議室】	クラス委員・運営委員
19	2月24日(土) 9:30~14:30	コース別学習発表会・閉講式 【志津公民館 大会議室A・B】	クラス委員・運営委員

## ⑤ 講座を終えて

### 「しづ学入門」

今年度のしづ学入門講座では志津地区の歴史・文化の講座を中心に、講話・史跡散策・記念講演会・合同講演会等の学習を実施した。内容については概ね好評の意見を頂いたが、内容の拡充を求める声もあった。

実施講座のなかで、「志津地域の史跡と名所」は講義とそれを見聞する2回の散策であったが2回とも雨となり、1回目の7月1日は、座学を行い、9月に日程を設定しなおした。2回目の10月は、時間をずらして実施した。「実際に現地で確認することができた」と好評だった。「印旛沼周辺の鳥」、「湖沼の生態系」の自然科学系統の講座では鳥類の興味深い生態の事実や、在来生物の荒廃、生殖数の増減の推移などを講師から解説を受け、問題意識の啓発と再認識につながったとの声も多数いただいた。

今年度の新規の講義として、特に初めて受講する方にとって「学習発表会に向け、どのように進めていったらよいか」というご案内も兼ね、公民館事業と地域づくりについての講義を実施し、結果各班ともに、素晴らしい発表ができた。

「自主的な学習活動の促進」、「生涯学習からのまちづくり」などについて受講生の意識付けに寄与することができ、一定の効果は残せたと考察する。一方では受講生の要望も多様化しており、アンケートを取ったなかで、散策の回数の増加や「2年制」を望む声も多数ある。講師等と調整し、地域課題のテーマ性も少しずつ盛り込み、有益な講座への変容と強化を今後も図っていきたい。

### 「地域健康学」

地域の一人ひとりが自らの生活を見直し、心身ともに豊かで充実した人生を送るために、健康学を通じて地域の連帯を図り、この成果を生かした「まちづくり」に貢献することを目指して実施した。受講終了後に、何人かの受講生に聞き取りしたところ、今年度新たに加えた「ノルディックウォークを体験しよう」が講評で、講座終了後には自分のノルディックポールで公民館に来る受講生もいた。また、「壁新聞を作ろう」では、自分たちの活動を振り返り、どういった目的でどのような学習をしてきたのかということ話し合いながら作り上げ、すばらしい壁新聞が出来上がった。また、受講生がスケジュール管理や施設予約等を行い、学習発表会や懇親会への準備を連携しながら進めるなど、自主的な動きがみられたので、目的の一端は達したと思う。

来年度は今年度の反省を踏まえ、連携の輪が地域にも伝わるような運営を目指していきたいと思う。

### 「くらしの情報学」

くらしの情報学の開設趣旨は、生活に密着した情報や取組みに加え、心豊かな生活を過ごすための知識を学び、その学んだ知識を地域の人達と共に活用し、安全で快適な地域づくりを目指すことを目的として今年度も実施した。地域活性化、時事問題、エコ、相続から防災まで、日々のくらしに密着した幅広い分野に亘る講座を開設し、それぞれのテーマについて、受講生からは、「新たな知識を得ることができたがもっと深く学びたい」等、学習に対する意欲の高さが感じられた。今年度は健康に関する講座を取り入れたが好評であった。また、防災関係の模擬練習や救急講習も取り入れ好評な感想を頂いた。しかし、事務局の主導での講座進行だったが、受講生がテーマを決め進める講座を希望する声も聞いた。新たな試みになるが前向きに検討したい。

また、今年度は、受講生同士の交流・理解が十分にできなかったという声もあり反省点となる。

### 「おやじの食事学」

おやじの食事学は、男性が料理の楽しさを体験しながら家庭で実践できる食事作りを学び、同じ活動をしてきた仲間意識を通して仲間づくりを行い、家庭や地域で活躍できるようになってもらうことを目的として実施した。

和洋中それぞれ何品か作り、12回の実習と、自分達で考えたおもてなしメニューを作った。毎回苦戦しながらできた料理をおいしく食べ、会話を交わし、また次回、を繰り返し、班内のメンバーの連携はできたと思う。おもてなし料理については、講師陣から、良い出来であると高評価をいただいた。受講生も自信になったと思う。来年度に向けて、交流と知識の習得を増やすため、2回に1回時間を延長するなど、これからもさまざまな工夫をしていきたいと考える。

## 佐倉・城下町400年記念事業「佐倉道を歩く」

- ① 開設趣旨 1610年(慶長15)に土井利勝が佐倉城主となり、翌年から鹿嶋山に城を築き、城下町造りを始めた。2010年(平成22)がちょうど400年にあたり、8年かけて完成させたことにちなみ、これを記念して城主の歩いた「佐倉道」を実際に歩き、城下町佐倉のことや佐倉道のことを学ぶ機会とする。
- ② 募集対象・募集人数 成人 20人
- ③ プログラム

回	実施日(曜日)	学習内容	講師
1	10月17日(火)	午前、佐倉道の成立や歴史、地理などを学び。午後から、佐倉道のうち、志津公民館から京成臼井駅までを歩く	八千代市郷土歴史研究会 村田 一男
2	10月24日(火)	佐倉道のうち、江戸川駅～京成西船駅までを歩く	八千代市郷土歴史研究会 巖 由美
3	10月31日(火)	佐倉道のうち、京成西船駅～習志野駅(新京成線)までを歩く	八千代市郷土歴史研究会 牧野 光男
4	11月 7日(火)	佐倉道のうち、習志野駅(新京成線)～志津駅までを歩く	八千代市郷土歴史研究会 牧野 光男
5	11月14日(火)	佐倉道のうち、京成臼井駅～佐倉城大手門跡までを歩く	八千代市郷土歴史研究会 畠山 隆

### ④ 講座を終えて

この講座は、佐倉・城下町400年記念事業の一環として、平成22年度から開設している。佐倉道の史跡散策を学習の柱として実施した。

初回は、「佐倉道のあらし」として佐倉道の全体像等の講義を行い、午後は、志津公民館から京成臼井駅までの史跡散策を行った。2回目以降、スタート地点集合、次回スタート地点解散の形を取り、史跡散策等を実施した。また散策では、受講生同士が学びや意見交換を啓発することを意図した。散策中は、周囲に注意し事故などにも配慮し効率的に学習をすすめることができた。しかし、1回に約10kmと長い距離を歩きながら、史跡を巡るため、時間の制約上、見学を省略してしまう箇所もあった。1回の歩行距離や、タイムスケジュールなど、講師と見直しをしながら、実施していきたい。アンケートでは、「この講座をきっかけに、佐倉周辺を自分で歩いて学習したい。」「親しい友人ができて良かった。」など、地域貢献につながる礎が出来、学習意欲の向上を図ることができた。講師もかなり高齢化しており、世代交代が必要な時期に来ている。来年度は講師養成講座を実施していきたい。

## 佐倉学入門講座 「井野長割遺跡」を学ぶ

- ① 開設趣旨 井野長割遺跡を中心に考察し、縄文時代の村の姿や生活・役割などを知ることにより、当時の志津地区の自然や歴史・地理・生活状況を理解する。また、学習成果を通して地域に対する知識を深め、郷土の成り立ちを知ることにより、郷土愛や歴史文化を継承し、地域の連帯と仲間づくりを図る。
- ② 募集対象 成人 30人
- ③ プログラム

回	実施日(曜日)	学習内容	講師
1	11月29日(火)	考古学入門ー佐倉の縄文時代ー	文化課職員 松田 富美子
2	12月 6日(火)	井野長割遺跡とはー遺跡概要紹介ー	印旛郡市文化財センター 小倉 和重
3	12月13日(火)	遺跡探訪ー知識を深めるー(現地見学)	文化課職員 松田 富美子
4	12月20日(火)	遺跡の経緯ー今後についてー	文化課職員 猪股 佳二

### ④ 講座を終えて

「井野長割遺跡」は、印旛沼南岸の台地上に位置する縄文時代後・晩期(今から約4000～3000年前)に栄えた集落跡で、ドーナツ状に配置された盛土群により「環状盛土遺構」が明瞭に存在しており、平成17年3月に国の史跡に指定され佐倉市の重要な文化遺産となっている。

この講座では、身近な市民文化資産を教材とし地域を見直し、新しい佐倉の文化について考え、共に創り上げていく活動『佐倉学』を展開していくステップとなることを願って実施した。

アンケート結果では、約8割の方が講座に参加して満足との回答で、「3000年前の盛土が今も地上に残っているなんてなかなか個人では見学できない場所なので、大変良かったです」「佐倉では江戸、明治の歴史しか思われなかったが、縄文文化までさかのぼり歴史があったのがわかり良かった」等好評をいただいた。全4回の講座であったが、受講後も講師への質問が多く学習意欲が高いことが伺えた。第4回目では、今後のあり方について学習し、講師の説明を聞き、今後の保存や活用について質問や意見を交換しあうなど活発な学習の場となった。

## 4. コミュニティ事業

### さくら学び塾（学びあい講座）

#### 「病気対策に必要な栄養とは何か？」

- ① 開設趣旨 さくら学び塾（学びあい講座）は、優れた技術、知識、能力を持った市民講師と受講生が学び、考え、お互いが成長していくための市民講座。本講座は、地域そのものや地域課題への関心を高める学習機会を提供することで「共に生き、支えあう」地域づくりに寄与する人材の育成を図る「コミュニティ事業・さくら学び塾（学びあい講座）」として、市民公募による講師の企画に基づき、開設する。
- ② 募集対象 一般成人 60人
- ③ 募集方法 「こうほう佐倉」10月1日号に掲載。※広報課への依頼は白井公民館が依頼。  
「こうみんかんだより しづ」10月1日号に予告掲載。\*募集人数60人（応募多数時抽選）。
- ④ プログラム

回	月日(曜日)	学習テーマ	学習内容	講師
1	11月12日(日) 10:00~12:00	病気対策に必要な栄養とは何か？	臨床栄養学の基礎を学ぶ	薬剤師 ・臨床検査技師 畑 義治 (はた よしはる) 氏
2	12月10日(日) 10:00~12:00		アレルギー・糖尿病・高脂血症・痛風・認知症	
3	1月14日(日) 10:00~12:00		高血圧・心筋梗塞・脳卒中・骨粗鬆症・便秘	

#### ⑤講座を終えて

「食と栄養」について、関心はあるがなかなか学ぶ機会がないテーマだが、病気と食事の関係について学ぶ貴重な機会となった。受講者の殆どが高齢者という事もあり、高齢者に必要なことは医療ではなく食事・運動・精神療法であるという世間では知られていない事を、医療の現場に従事している立場から具体例を紹介し、日常生活習慣の見直しや取組みについて学習した。

## 5. 団体育成事業

### 第44回 志津公民館祭

① 開催趣旨 志津公民館の利用団体が、自ら企画・運営して、日ごろの学習活動の成果を発表し、団体および地域住民との交流を深め、学習活動・地域活動の啓発をはかる。

② プログラム

開催日時 平成29年10月20日(金)～22日(日) 10時～16時(最終日は10時～15時)  
会場 (第1会場) 志津公民館・(第2会場) 西志津ふれあいセンター

③ 公民館祭を終えて

志津公民館祭は、志津公民館で活動するサークルや団体が一堂に会し、作品展示・公演・作品販売など、日頃の学習成果を発表することと、団体間の交流、地域との交流を図ることを目的として開催している。運営は参加団体の代表者で構成された実行委員会を組織して、手作りで運営している。

開館翌年の昭和49年から毎年欠かさず開催され、今年度で第44回を迎える伝統ある行事である。

今年度は新公民館となって2回目の開催となったが、今回は準備の段階から台風と、台風の影響による雨に見舞われ、日曜日にはテントを早々とたたみ、展示も午前中に終わりにする事態となった。連日の雨のため、来場者数は3,699人と、昨年の半分強と少なかった。

今後も、志津公民館祭の開催趣旨である志津公民館の利用団体が、自ら企画・運営して、日ごろの学習活動の成果を発表し、団体および地域住民との交流を深め、学習活動・地域活動の啓発をする場として、反省すべきところを改善しながら実施することとする。

### 定期利用サークル運営研修会

① 開設趣旨 社会教育施設を活動拠点とする「グループ」・「サークル」が、活発で継続的に学習活動されるよう、団体運営のあり方等について学習の場を提供する。また、各グループの情報交換や公民館の利用方法・要望等について懇談し、各グループ・サークル団体間の親睦を図る。

② 募集対象・募集人数 志津公民館利用グループ・団体の代表者

③ 学習内容 ・公民館でのサークル活動とは  
・公民館の予約・使用について  
・参加者による意見交換  
・第44回志津公民館祭について

④ 今後に向けて

各サークル団体に対する必要かつ適切な助言・指導等について研究・検討し、公民館を拠点としたサークル活動の更なる飛躍と活性化を目指し実施した。

公民館の施設・設備の有効活用と地域住民ニーズに即した適正な運営管理に努め、「多くの住民が集う公民館」「地域づくりの核」となるよう、施設・設備の充実及び利用者との連携を図っていく必要がある。

### 調理室利用サークル懇談会

① 開設趣旨 調理室を定期利用している「グループ」・「サークル」を対象に、サークル団体の交流・共通理解を求め、調理室の効率的な活用と適正な運営・衛生管理の向上を図る。

② 募集対象・募集人数 定期利用している料理サークル

③ 学習目標 開設趣旨と同じ

④ プログラム ・調理室の利用説明と要望・意見交換  
・調理室の清掃(調理器具の点検)  
・印旛保健所による講義 内容:食中毒の予防について

⑤ 今後に向けて

新公民館2回目の実施である。利用方法については、周知が進んだため、質問事項は少なくなった。利用について意見を伺ったところ、今回も多方面にわたりさまざまな意見をもらった。なお、今回はおやじの食事学同好会からの依頼があり、印旛保健所の職員による、食中毒の予防に関する講義を行った。実際に利用している方々の意見を聞き、これからの調理室運営の方向性を定め、進めていきたいと考える。

### 志津地区の子ども会育成活動

- 概要 志津地区子ども会育成連絡協議会は、参加団体の減少により平成10年度から志津子連独自の事業は実施していないが、千葉県子ども会安全会加入手続きの補助のほか、行事に関する情報提供を中心に、子ども会育成者の支援を行っている。
- 加入団体 単位子ども会 12 団体
- 活動内容
  - ・千葉県子ども会安全会説明会・志津JLC活動紹介
  - ・千葉県子ども会安全会 加入・追加・手続き 受付
  - ・活動支援相談・連絡調整

### 志津ジュニア・リーダーズ・クラブ（志津JLC）

- 概要 志津ジュニアリーダーズクラブは、主にジュニアリーダーの育成を目的として、志津地区を中心に活動している。志津地区子ども会連絡協議会や単位子ども会の活動における主要な協力団体であり、志津公民館ではその活動を支援している。
- 主な活動
  - ・単位子ども会への協力・行事支援
  - ・ジュニアリーダー初級認定講習会への指導・運営協力(8月)
  - ・志津公民館祭参加(10月)
  - ・佐倉市子連主催「子ども会中央交流フェスティバル」への運営協力(10月)  
(荒天のため中止)
  - ・志津JLCクリスマス会（志津公民館共催）企画・運営（11月）

## 6. 広報・展示事業

### 志津公民館だより

- ねらい 公民館活動への理解と、積極的参加をはかることを目的として、公民館主催事業の案内を中心に、地域の話題などについて、紙面を通して発信する。
- 発行回数 年3回（5月・10月・1月）
- 発行部数 5月 23,000部、10月 25,000部、2月 23,000部
- 配布方法 志津地区内に新聞折り込み配布・市内公民館および志津地区内公共施設に配架
- 内 容

第239号 (平成29年5月1日)	第240号 (平成29年10月1日)	第241号 (平成30年2月1日)
<ul style="list-style-type: none"> <li>●募集案内（主催事業）</li> <li>お母さんと遊ぼう</li> <li>しづ市民大学</li> <li>子どもクッキング教室</li> <li>子ども手づくり工房</li> <li>子ども自然観察</li> <li>子ども理科実験教室</li> <li>●募集案内</li> <li>中高ちょこボラ</li> <li>●募集案内（共催事業）</li> <li>文学講座</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●第44回志津公民館祭</li> <li>●募集案内（主催事業）</li> <li>子どもクッキング教室</li> <li>子ども手づくり工房</li> <li>子ども自然観察</li> <li>子ども理科実験教室</li> <li>●佐倉学講座</li> <li>「佐倉道を歩く」</li> <li>●コミュニティ事業</li> <li>さくら学び塾（学びあい講座）</li> <li>●募集案内</li> <li>中高ちょこボラ</li> <li>●募集案内（共催事業）</li> <li>志津JLCクリスマス会</li> <li>文章講座</li> <li>●しづ市民大学公開講座</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●募集案内（主催事業）</li> <li>笑顔で子育て応援講座</li> <li>●佐倉市表彰「花の輪」</li> <li>●志津公民館1年間を振り返って</li> <li>●志津公民館抽選会案内</li> <li>●志津公民館使用方法使用料案内</li> <li>●志津公民館利用抽選日案内</li> <li>●第44回志津公民館祭について</li> </ul>

### ○今後に向けて

今年度は、例年どおり3回（5、10、2月）「公民館だより」を発行した。紙面に限りがあるため、毎年主催事業の募集記事やイベントの様子を紹介等が主な内容になっている。

志津公民館だより第241号では、情報発信として、志津公民館1年間を振り返ってという特集を作り、4月から12月まで実施した主催事業・共催事業の様子を紹介した。

しかし、新聞折込に頼る現在の配布方法では、新聞をとらない家庭に届かないという難点があることから、配布については検討を要する。

志津公民館の情報が幅広い世代に行き渡るよう、発行方法や配布の方法についても検討していきたい。



# 臼井公民館

# 臼井・千代田地区の概要

## ○臼井地区

臼井地区は、北に印旛沼、東に鹿島川、西に手繰川というように三方を沼と河川に囲まれている。

地区の歩みでみると、鎌倉時代に桓武平氏一族の臼井氏が開発領主として臼井地方に拠って以後発展し、江戸時代中期以降は成田街道の宿場臼井として賑わった。

昭和53年には土地区画整理地の中に京成臼井駅が移転し、ここを中心にショッピングセンターや商店などが集まった地区が形成され、臼井地区の新しい核となっている。

また、街の賑わいに水と緑と歴史に恵まれた環境を活かして、臼井ふるさとにぎわい祭や佐倉チューリップまつりなどのイベントが開かれる他、計画的なまちづくりが進んでいる。

## ○千代田地区

千代田地区は、佐倉市誕生後に四街道市(当時四街道町)から編入した5地区から成っている。

大半は農業地域であったが、北部の生谷・飯重・吉見地区には、大手開発業者による大規模宅地開発(染井野)に伴い、公園が整備され小中学校が相次いで開校するなど、公共施設も充実してきた。21世紀初頭には、人口約1万人の新しいまちが完成する計画がゆるやかに進行している。

地区全体としては、都市形成が進む北部地域と従来からの農業地域に二分しつつあるといえる。

古くからある団地内では自治会・文化活動、農業地区では地域ぐるみの農業と、コミュニティー活動がさかんである。この活動の輪は、住民の交流としていざという時に助け合う「防災姉妹地区制度」の調印市内第一号という形でも表れている。

## 臼井・千代田地区のデータ

【平成30年3月末現在】

○臼井・千代田地区	: 面積	約18.5km <sup>2</sup>	(佐倉市: 面積	103.69km <sup>2</sup> )	
○	住基人口	41,375人	(	住基人口	176,059人)
○	人口密度	2,236人/km <sup>2</sup>	(	人口密度	1,697人/km <sup>2</sup> )

# 1. 公民館運営計画

## 運営方針

白井公民館は、常に地域の実情や市民生活の変化に即した学習要求や生活課題を的確に捉えながら、新しいまちづくりをめざした事業を進める。これと共に、市民が自主的に「集い」「学び」そして「伝えていく」活動を助成することで、市民の生涯学習と地域社会教育活動の中心施設としての役割を果たす。

## 努力目標

- より多くの市民に親しまれ、活用される公民館として、その学習環境づくりに努める。
- 市民の自主的な学習活動を援助するために、各種情報・資料の整理・提供に努める。
- 学級・講座の精選と学習内容の充実に努める。
- 複合施設（市民音楽ホール等）の持つ機能をより効果的に発揮するための研修、調査を進める。

## 事業内容

### 1. 学級・講座の開設

地域の特性を考慮しながら市民生活に身近な課題をとりあげて、継続的・体系的に学習していく。また、与えるだけの学習ではなく参加者が自らつくり出す学習をめざし、内容を充実させていく。

### 2. 団体育成事業

各種の団体が自主的・継続的に充実した活動が進められるように、情報資料の提供や適切な助言、各機関との連絡調整を行う。

### 3. 広報・展示事業

○学級・講座のお知らせや、グループ活動の紹介、その他さまざまな情報を提供し、公民館への認識と理解を深める。

○市民の学習活動の発表展示の場として、広く市民に展示室を提供する。また、郷土の自然・生活・文化・芸術その他市民生活に関することなど幅広い分野からテーマを設定して展示会を催す。

### 4. 図書事業

○市立図書館の分館的機能を持ちながら、複合館としての特殊性と地域性を考慮しつつ運営していく。

○音楽関係図書の充実と一般図書・児童図書の蔵書数の増加をめざし、利用増大をはかる。

### 5. 施設・設備提供事業

○開館日・貸出時間 第1・3・5月・火・木・日曜日及び祝日 9:00～17:00

水・金・土曜日 9:00～21:00

(夜間の利用のない場合は17:00まで)

(ただし、図書室は第1火曜日を除く火～日曜日の9:00～17:00に業務を行う)

※使用の受付は原則として、2カ月前の月初に設定した利用抽選日から、月2回分の予約を受け付ける。3回以上の使用は使用日の前々月末日から受け付ける。

○休館日 第2・4月曜日、年末年始(12月28日～1月4日)、施設保守点検日

○その他 ・使用料については市民音楽ホールを有料で使用する団体には有料で、減免又は無料で使用する場合には無料で提供する。

・利用抽選会は2ヶ月前の月初に実施し、予約を入れていく。

これは各団体が一堂に集まる機会でもあるので、団体交流と公民館活動への認識を深める場としても有効に利用する。

## 2. 公民館利用状況

年度別利用状況

区 分	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
利用件数 (件)	2,629	2,636	2,713	2,553	2,530
利用人数 (人)	45,924	47,069	49,440	46,554	45,325
開館日数 (日)	333	333	335	333	333

平成 29 年度施設別年間稼働率

施設名称	利用可能回数	利用回数	稼働率
集会室	812	681	83.9%
学習室	812	654	80.5%
創作室	812	631	77.7%
展示室	812	664	81.8%
和室	812	478	58.9%

領域	事業名	対象	期間・回数	内容
家庭教育	おはなし会	5歳～成人 30人	毎月1回 4/ 8 20人 5/13 24人 6/10 8人 7/ 8 24人 8/23 12人 9/ 9 18人 10/14 15人 11/11 3人 12/ 9 17人 1/20 10人 2/10 16人 3/10 9人	白井公民館図書室の読書活動推進事業。子どもたち向けに、すばなしと絵本の読み聞かせ等によるおはなし会。本の世界に親しむとともに豊かな感受性を育むことを目的とした講座。
	0歳半～3歳児 親子遊び	0歳半～3歳児 と保護者 10組20人	3/15 親子3組 6人	絵本の読み聞かせや手遊びで、温もりある親子関係を育むとともに参加者間のコミュニケーションを図る。
青少年教育	バック・ステージ・ツアー	小学校4年生 ～成人20人	8/ 4 小学生19人 保護者10人	音楽ホールの普段見ることのできない裏廻り(バックステージ)の見学と、演奏会を支えている音響、照明などを体験し、舞台芸術の仕事への理解を深める。
	佐倉っ子塾共通講座 「こども水辺 探検ツアー」	小学校 4～6年生 22人	7/31 22人	環境意識を育む「水辺の自然観察会」を実施し、水辺環境を身近なものと感じる目を養う講座(環境政策課共同事業)。
	「手作り講座」 三角ヘリコプター をとばそう	小学生 20人	8/22 13人	ゴムや割りばしなど、身近なものを使って手軽な飛行機(ヘリコプター)を作った。
	星空観察教室	小学生と保護者 20人	8/ 9 小学生14人 保護者 6人 10/ 6 雨天中止	夜空を見上げ、星や星座を探すことを通じ、雄大な自然に親しんでもらうことで自然に興味関心を持ってもらう。夏の星空についての解説と望遠鏡で月や惑星の観測をした。 (草ぶえの丘共催事業)
	佐倉っ子塾共通講座 「手作り講座」 かんたんかわいい クリスマスリース作り	小学生 10人	12/ 9 10人	蓄光ねんどを自分の好きな形に作り上げるなど、自らの手で創意工夫をこらしながらリース作りを行った。

領域	事業名	対象	期間・回数	内容
成人教育	コミュニティカレッジ さくら	18歳以上 30人	5月～2月 18回 1年生 17名 2年生 19名	平成25年度に開設した2年制の市民大学。地域を見つめ、実践活動を通してまちづくりに取り組む人材の育成を目的とし、年間18日程度(月2回)学習する。
	さくら学び塾 「裁判員制度と 司法について 考える」	成人 20人	11/18 11人 12/ 2 9人 12/16 9人	さくら学び塾(学びあい講座)として、市民公募による講師の企画に基づき開設した。施行から8年を経た裁判員制度について検証し議論を深める。
	佐倉学入門講座 「映像でたどる 臼井・千代田」	成人 30人	2/10 25人	臼井・千代田地区にゆかりのある映像資料を上映し、地区の自然や歴史の移り変わりについて学習した。
	佐倉学専門講座 「利根川図志 赤松宗旦ゆかりの 布川を訪ねて」	成人 30人	2/20 32人	「印旛沼」「臼井八景」などの古文書ともいえる「利根川図志」の著者である赤松宗旦のゆかりの地を訪れ、当時の自然や文化、歴史や伝説について学習した。
	佐倉学体験講座 「ちょっといいとこ 見て歩き」 ～臼井の成田道～	成人 30人	3/27 21人	江戸時代に宿場町としてにぎわった臼井の歴史や史跡について、当時の成田道を辿ることで地域の理解と関心を深めた。
	団体育成等	臼井地区子ども会 育成会連絡協議会	加盟子ども会 7 団体	年間随時
広報・展示活動	臼井公民館だより発行	主に 臼井・千代田地区 600部	年2回	公民館の事業紹介や募集、地域の情報などを提供する。
	まちづくり資料室展示	小学生～成人	通年	臼井地区に関する歴史や遺跡などについて理解と関心を深める資料展示を行う。
	サークル展示活動支援	市内団体	通年	市内の美術サークル等に対して展示室を1週間単位で提供し、各種展示会を開催することで、地域文化の向上に寄与する。
図書事業	図書の貸出等	幼児～成人	通年	図書の貸出/返却受付/相談などを行い、市民の学習活動促進を図る。

# 1. 家庭教育事業

## おはなし会

①開設趣旨 子どもにおはなしをすることで、物語（ストーリー）に親しませ、子どもと本をむすびつける。すばなしの他に絵本の読み聞かせやテーブル人形劇などを組み合わせ、年齢の低い子どもたちにも「物語の世界」を楽しめるように実施する。

②募集対象 5歳～成人 30人

③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	4月 8日（土） 14:00～14:30	「カメのこうらはなぜひびだらけ」「どろぼうがないた」 「アンガスとあひる」「5人のきょうだい」	佐倉おはなしの会
2	5月13日（土） 14:00～14:30	「ジオジオのかんむり」「まほうのふで」 「おどけ鬼の子」「ねことごむまり」	
3	6月10日（土） 14:00～14:30	「ちぎれたしっぽ」「しょうじき50円ぶん」「あめの日のおさんぽ」「ねずみのよめいり」	
4	7月 8日（土） 14:00～14:30	「ひよこのリッキン」「コケーナとであったチャンゴ」 「こんたのおつかい」「トラとほしがき」	
5	8月23日（水） 14:00～14:30	「コウノトリの卵」「ふしぎなやどや」「バターぼうや」 「おぼさりてえ だかさりてえ」「恐怖のなわとび」	
6	9月9日（土） 14:00～14:30	「魔法のビール」「ぼくにげちゃうよ」 「傘屋の天のぼり」「笑わない王女」	
7	10月14日（土） 14:00～14:30	「笛を吹くオオカミ」「オニのぼうや がっこうへい く」「ウサギの裁判官」「まほうつかいのノナばあさん」	
8	11月11日（土） 14:00～14:30	「風の神と子ども」「どっこいしょ」 「じゃがいもポテトくん」「ソメコとおに」	
9	12月 9日（土） 14:00～14:30	「とうさんおはなしして」「まちのねずみといなかの ねずみ」「年こしのたき火」「てぶくろ」「あわてんぼ うのサンタクロス」	
10	1月20日（土） 14:00～14:30	「チョコレートきっぷ」「ふくろうのそめものや」 「三匹のくま」「かみなりさまとくわのき」	
11	2月10日（土） 14:00～14:30	「アナンシと五」「ぬくぬく」 「ぴよんとこしょ」「はなをくんくん」	
12	3月10日（土） 14:00～14:30	「友だちをみつけた犬」「うみにしずんだうす」「ち かてつライオンせん」「アルマジロくんとカメくん」	

④講座を終えて 毎月1回、第2土曜日を基本に開催しており、8月については「こわーいおはなし会」と題して、普段のおはなし会とは違う雰囲気で開催した。

幼児や小学校低学年の子どもの参加が多く、テーブル人形を使ったおはなしは特に反応が良かった。毎回、おはなしの元となる絵本や、関連する本を紹介している。

## 0歳半～3歳児親子遊び 「絵本のおはなし会 ちびちびクラブ」

①開設趣旨 乳幼児を持つ親子（保護者も含む）に絵本の読み聞かせとわらべうたを通して、乳幼児からの絵本の楽しみ方と親子のふれ合い方を伝える。（佐倉図書館との共催事業）

②募集対象 0歳半～3歳児と保護者 10組

③プログラム

回	実施日 (曜日)	学習内容	講師
1	3月15日 (木) 10:00~11:00	「いないいないばあ」「だるまさんが」「たかひやまひくいやま」「かじだしゅつどう」「もこもこもこ」ほか	佐倉図書館・ 臼井公民館職員、 ちびちびクラブスタッフ

④講座を終えて 今回の参加者は1歳児もいたため、できるわらべ歌がいつもより限られてしまった。また、小さいので手をつなぐことが難しかった。特に今回は男の子だけの参加であったためか、車の絵本や「もこもこもこ」への集中度が高かった。幼稚園に入園前の、保護者以外と触れ合う機会の少ない子どもたちのため、最初はぎこちなさがあるが、次第に保護者とともに絵本とわらべうたを楽しんでいた。絵本の中での経験が日々の生活体験を豊かにしていくはずである。



## 2. 青少年教育事業

### バック・ステージ・ツアー

- ①開設趣旨 複合施設である市民音楽ホールで、普段見ることのできない「舞台裏」を見学し、事業がどういった仕事の積み重ねで完成されるのかを体験しながら学ぶ。
- ②募集対象 小学4年生～成人 30人
- ③プログラム

回	実施日 (曜日)	学習内容	講師
1	8月4日 (金) 10:00～12:00	前半は、音楽ホールの施設を見学し、後半は、実際のホール・スタッフの仕事(コンサート開始の流れ)を体験してもらう。	市民音楽ホール職員

- ④講座を終えて この講座は、舞台芸術を鑑賞するときに、その下準備にはどういったものがあり、どのような苦労があるのかを実際に体感し、文化事業の良き理解者となって欲しいと考えた事業である。施設の設備を体験し、音楽ホールでの裏方の実際の仕事を知ったことで、小学生のほか保護者も文化活動に関心を持ったようだった。

### 佐倉っ子塾共通講座 「自然講座」 (夏休み こども水辺探検ツアー)

- ①開設趣旨 市内の水辺環境について、講義や野外観察を実施することで、子どもたちが自然に親しみ自然を大切にする心を養うとともに、自然環境の重要性を認識してもらう。(環境政策課との共同事業)
- ②募集対象 小学4年生～6年生 22人
- ③プログラム

回	実施日 (曜日)	学習内容	講師
1	7月31日 (月) 9:20～16:00	<ul style="list-style-type: none"> <li>・紙漉きによるハガキの作成</li> <li>・印旛沼船上観察 (観光船)</li> <li>・印旛沼、手繰川の水質測定 (透視度計、パックテスト等)</li> <li>・畔田沢の水質検査、魚取り観察</li> </ul>	(財) 千葉県環境財団職員

- ④講座を終えて 葦を利用した紙漉きでのハガキ作りに始まり、観光船での印旛沼やそこに住まう生き物の観察、水質のパックテストや透視度測定によって自ら測定したことで、水質や自然環境等を考えるきっかけとなった。

また、畔田沢では生き物の捕獲や観察を行い、自然を大切にする心を養うことにつながる感受性を育む効果もあったと思われる。

### 佐倉っ子塾共通講座 「手作り講座」 三角ヘリコプターをとばそう

- ①開設趣旨 物づくりを通して、自らの手で工夫しながら作り出す喜びを味わうことにより、個性や想像力を培う。
- ②募集対象 小学生 20人

③プログラム

回	実施日 (曜日)	学習内容	講師
1	8月22日 (火) 10:00~12:00	紙やゴムやプロペラ等で簡単なひこうき (ヘリコプター) を作成する。	とばそう会

④講座を終えて 参加者は幼児～小学4年生だったため、作り終えられるか不安な面もあったが、全員が完成させることができ、アンケートでは自分で作ったヘリコプターをとばせたことが楽しかったという意見がほとんどを占め、成功を収めた。

星空観察教室

①開設趣旨 夜空を見上げ、星や星座を探すを通じ、雄大な自然に親んでもらうことで自然に興味関心を持ってもらう。(草ぶえの丘との共同事業)

②募集対象 小学生と保護者 20人

③プログラム

回	実施日 (曜日)	学習内容	講師
1	7月31日 (月) 19:00~20:30	夏の星空についての解説と望遠鏡で月や惑星の観測をする。	臼井公民館職員

④講座を終えて この講座では、夏の星座の見つけ方をはじめ、この年に起こる「アメリカでの皆既日食」「ペルセウス座流星群」の話を含めた解説は保護者にも好評を得た。全2回講座を予定していたが、10月6日の講座は雨天中止となった。

佐倉っ子塾共通講座 「手作り講座」 かんたんかわいいクリスマスリース作り

①開設趣旨 季節感のある物づくりを体験しながら、想像力を育むとともに幅広い年代との交流を図る。

②募集対象 小学生 10人

③プログラム

回	実施日 (曜日)	学習内容	講師
1	12月 9日 (土) 9:30~12:00	蓄光ねんどや様々な飾りをつけ、個性あるクリスマスリースを作る。	スイーツデコデザイナー 國本 幸栄 スイーツデコアシスタント 高橋 みち乃

④講座を終えて 蓄光ねんどやいろいろな飾りをグルーガン (ホットボンド) を使って接着した。「自分でデザインを考えて作ったことが楽しかった」「上手いと言ってもらえてうれしかった」という感想が寄せられ、子どもたちにとって良い体験になったことがうかがえた。

### 3. 成人教育事業

#### 佐倉学専門講座 「利根川図志赤松宗旦ゆかりの布川を訪ねて」

- ①開設趣旨 佐倉学の一環として、白井八景を採り上げた「利根川図志」を記した赤松宗旦ゆかりの地、利根町布川を訪ねて、利根川中下流域の歴史や、宗旦と白井の関係について考察する。
- ②募集対象 成人 30人
- ③プログラム

回	実施日 (曜日)	学習内容	講師
1	2月20日(火) 9:00~16:00	「印旛沼」「白井八景」などの地誌である「利根川図志」の著者である赤松宗旦のゆかりの地を訪れ、当時の自然や文化、歴史や伝説について学習する。	利根町文化財審議員 利根町歴史探訪の会

- ④講座を終えて 「宗旦に親しみが持てた」「白井の対岸にある布川とのつながりが興味深かった」また「利根町歴史探訪の会の方々の説明がわかりやすい」との感想が多く、好評であった。

#### 佐倉学専門講座 「映像でたどる白井・千代田」

- ①開設趣旨 白井・千代田に関連する身近な自然環境・文化や歴史について学び、豊かな自然を次世代へと伝えていくことの重要性を認識してもらう。
- ②募集対象 成人 30人
- ③プログラム

回	実施日 (曜日)	学習内容	講師
1	2月10日(土) 13:30~16:00	白井・千代田の昔の姿を振り返り、今に至るまでの歴史を映像により学習する。	白井八景・八ヶ寺めぐり実行委員会

- ④講座を終えて 佐倉市広報番組で今の白井・千代田地区の姿を概観した後、視聴覚ライブラリー所蔵の1970年代の映像から今までの白井・千代田地区を振り返った。また、白井八景・八ヶ寺めぐり実行委員会による「白井八景と印旛沼の今」の講義を交え、地域への理解が深まった。

#### 佐倉学体験講座 「ちょっといいとこ見て歩き」～白井の成田道を歩く～

- ①開設趣旨 宿場町として栄えた白井の歴史について、当時の成田道を実際に辿ることで地域を再発見し、地域への理解と関心を深める。
- ②募集対象 成人 30人
- ③プログラム

回	実施日 (曜日)	学習内容	講師
1	3月27日(火) 9:30~12:00	江戸時代に宿場町としてにぎわった白井の歴史や史跡について、当時の成田道を実際に辿ることで地域の理解と関心を深める。	森 秀夫

- ④講座を終えて 「白井宿回顧」の明治期の復元地図と照らし合わせながら成田道を歩き、現在の国道との違いが理解できた。旅籠跡などから当時の成田山詣の賑わいに関心が深まった。

## 4. コミュニティ事業

「コミュニティ事業」は、自らの居住地での人間関係を見直し、地域で共に生活し、見守り、支え合い、日常生活で声を掛け合いながら、地域づくり（防災・防犯、少子高齢化、まちの活性化等のまちづくり）に参加する人材の育成を図るため開設する。

市民協働の取り組みの一つとして、学習者一人ひとりの持つ、技術・知識・能力を高め、次世代に継承していただくだけでなく、地域リーダーとして多種多様な取り組みを、佐倉の様々な地域において実践いただくことにより、社会の人と人との絆を深め、お互いを支え合う地域社会の形成を目指す。

○コミュニティ事業	①『コミュニティカレッジさくら（2年制）』 1年次：基礎講座 活力ある地域社会とするため、地域課題の発掘や、多種多様な人々が集う場での合意形成能力を培うと共に、家庭・家族との地域的役割、乳幼児や小中学生を取り巻く社会環境や課題等について学ぶ。 2年次：実践講座 地域で主体的に課題解決に向けた実践活動を行うため、地域の各種資源（人材等）を活かした、様々な地域活動例、具体的な実践手法等、共に生き、支え合う地域づくりについて学ぶ。
	②『さくら学び塾』 優れた技術・知識・能力を持った方を講師とする講座。 対象は、市民及びコミカレさくら受講生。 (産業の担い手を支援する産業教育の講座も含む)

### コミュニティカレッジさくら

#### ○特色

- ・地域で共に生活し、支え合い、地域づくりに参加する地域人材の育成を図るための学習の場。学んだ成果を生かし、地域の様々な場面で多種多様な活動を実施し、元気で住み良い、活力ある佐倉市の地域づくりやまちおこしに貢献することを期待する。

#### ○概要

- ・受講資格 : 佐倉市内に在住・在勤されている18歳以上の方  
設置目的に共感と賛同をし、2年間通学できる方
- ・定員 : 30名
- ・費用 : 無料(資料代等実費徴収)
- ・開催日時 : 5月～2月の土曜または日曜 おおむね月2回程度 18回実施予定  
講義時間 午前10時～12時 午後1時～3時

平成29年度 コミュニカレッジさくら 第1学年 基礎講座 学習カリキュラム

学習時間		9:50~10:00	10:00~12:00		
回	日	場所	H R	テーマ	講師予定
1	5月 20日 (土)	臼井公民館		○入学式【1・2年合同】 ○オリエンテーション	学長(佐倉市長) 事務局 コーディネーター
2	6月 10日 (土)	臼井公民館	事務連絡	○よりよいコミュニケーションとは(1) ～グループエンカウンター体験～	千葉敬愛短期大学教授 吉村 真理子 氏
3	7月 8日 (土)	臼井公民館	事務連絡	○よりよく「聴く」ことへの「責任」 ～守秘義務と個人情報の扱い ・傾聴技術の習得～	千葉敬愛短期大学教授 大野 雄子 氏
① ②	7月 22日 (土)	中央公民館		○さくら学び塾(講師塾)① ～公民館の学びとは～	千葉県公民館連絡協議会 元事務局 長 朱膳寺宏一氏
4	8月 26日 (土)	臼井公民館	事務連絡	○地域課題の発掘(1) ～実践現場より～ 福祉ボランティア まちづくり協議会等の活動	自治人権推進課職員 社会福祉協議会職員
5	9月 16日 (土)	臼井公民館	事務連絡	○地域課題の発掘(2) ～他市の実践より～ コミュニティビジネス NPO活動	NPOクラブ 代表理事 牧野 昌子 氏
6	9月 24日 (日)	臼井公民館	事務連絡	○地域課題の発掘(3) ～市の計画から見る地域課題～	佐倉市担当課職員
7	10月 14日 (土)	臼井公民館	事務連絡	○地域課題の発掘(4) ～各分野における地域課題①～ ・子育て・福祉(全般、高齢者対策)	佐倉市担当課職員
8	11月 11日 (土)	臼井公民館	事務連絡	○地域福祉と介護予防について	高齢者福祉課
9	11月 25日 (土)	中央公民館 ・市内散策	事務連絡	○地域の現状と社会資源(2) ～地域を活性化する取り組み～	NPO法人 佐倉一里塚 慶田 康郎 氏
10	12月 9日 (土)	臼井公民館	事務連絡	○地域福祉と介護予防について(1)	高齢者福祉課
11	12月 16日 (土)	臼井公民館	事務連絡	○身近な人権 ～ひとを人として認める地域とは?～	元千葉敬愛短期大学教授 松本 峰雄 氏
12	1月 13日 (土)	香取市	事務連絡	○バス見学会 ～他市町における先進的な取り組み～	コーディネーター 事務局
13	2月 11日 (日)	臼井公民館	事務連絡	○中間研究発表 『地域が元気になる』実践方策 ～研究発表準備～	コーディネーター 事務局
14	2月 18日 (日)	臼井公民館	事務連絡	○2学年研究発表会を通して【1・2年合同】 ～2年生の研究発表をもとに考える～	千葉大学准教授 清水 洋行 氏
15 ～ 18	9月～2月 (各班の計画による)			○自主学習	コーディネーター 事務局

平成29年度 コミュニティカレッジさくら 第1学年 基礎講座 学習カリキュラム

学習時間		13:00～15:00	15:00～16:00	
回	日	テーマ	講師予定	H R
1	5月 20日 (土)	○記念講演 「佐倉発 千葉共和国は可能か？」	千葉敬愛短期大学学長 明石 要一 氏	
2	6月 10日 (土)	○地域のリーダーになるために ～地域の人の意見をまとめるには～	千葉敬愛短期大学専任講師 清水 一巳 氏	
3	7月 8日 (土)	○よりよいコミュニケーションとは(2) ～アサーション・トレーニングとDESC法体験	千葉敬愛短期大学教授 大野 雄子 氏	班編成について 役員選出
① ②	7月 22日 (土)	○さくら学び塾(講師塾)② ～意見交換～	実践者	
4	8月 26日 (土)	○地域の現状と社会資源(1) ～学校の現状と子どもたちの学び～	千代田小学校 地域実践者	
5	9月 16日 (土)	○異年齢社会の構造と課題(1) ～小・中学生が抱えているもの～	千葉敬愛短期大学准教授 鈴木 健一 氏	
6	9月 24日 (日)	○コミュニティカレッジの目指すもの 【1・2年合同】	学長(佐倉市長) 事務局 コーディネーター	研究課題・ 自主学習日
7	10月 14日 (土)	○地域課題の発掘(5) ～各分野における地域課題②～ 商工業・農業・防犯・防災	佐倉市担当課職員	『地域が元気になる』実践方策
8	11月 11日 (土)	○異年齢社会の構造と課題(2) ～乳幼児を取り巻く社会環境～	元千葉敬愛短期大学准教授 小田 ひとみ 氏	単位取得について
9	11月 25日 (土)	○地域の現状と社会資源(3) ～地域を活性化する取り組み～	NPO法人 佐倉一里塚 慶田 康郎 氏	
10	12月 9日 (土)	○地域福祉と介護予防について(2)	高齢者福祉課	機器の取り扱いについて
11	12月 16日 (土)	○家庭・家族と地域の社会的役割 ～青少年を取り巻く現代社会の環境～	千葉敬愛短期大学准教授 新田 司 氏	バス見学会について 発表会に向けて
12	1月 13日 (土)	○バス見学会 ～他市町における先進的な取り組み～	コーディネーター 事務局	
13	2月 11日 (日)	○中間研究発表【1・2年合同】 『地域が元気になる』実践方策 ～班ごとの研究課題の経過発表～	千葉敬愛短期大学学長 明石 要一 氏	研究発表
14	2月 18日 (日)	○修了式【1・2年合同】	事務局 学長(佐倉市長)	
9月～2月 (各班の計 画による)		○自主学習	コーディネーター 事務局	

平成29年度 コミュニティカレッジさくら 第2学年 実践講座 学習カリキュラム

学習時間		9:50～10:00			10:00～12:00	
回	日	場 所	日直	H R	テーマ	講師予定
1	5月 14日 (日)	臼井公民館	1 班	事務連絡	○地域活動を行うために(1) 情報の活用(収集及び発信)	東京情報大学助教 河野義広 氏
2	5月 20日 (土)	臼井公民館	2 班	事務連絡 9:40 集合予定	○入学式【1・2年合同】 ○オリエンテーション	学長(佐倉市長) 事務局 コーディネーター
3	6月 25日 (日)	臼井公民館	3 班	事務連絡	○コミュニティについて(1) 地域住民が手を取り合う事例	東洋学園大学専任講師 小山 弘美 氏
4	7月 16日 (日)	臼井公民館	1 班	事務連絡	○地域の様々な実践(1) ～実践者を囲んで民生委員・児童委員～	元福祉部長 川根紀夫 氏 民生委員・児童委員協議会
①	7月 22日 (土)	中央公民館	2 班	/	○さくら学び塾(講師塾) ～公民館の学びとは～	千葉県公民館連絡協議会 元事務局長 朱藤寺宏一氏
5	8月 27日 (日)	臼井公民館	3 班	事務連絡	○コミュニティについて(3) 身近な地域のコミュニティとは 身近なコミュニティ施設: 学校・自治会館・寺等	千葉大学准教授 清水 洋行 氏
6	9月 10日 (日)	臼井公民館	1 班	事務連絡	○地域活動を行うために(3) 市民協働型事業・サポセン登録等	自治人権推進課 市民公益活動サポートセンター
7	9月 24日 (日)	臼井公民館	2 班	事務連絡	○地域の様々な実践(3) ～実践者を囲んで 自治会・まちづくり協議会～	自治人権推進課 自治会 まちづくり協議会
②	10月 中旬～	市内公民館	/	/	○さくら学び塾 ～公民館事業の支援～	さくら学び塾の市民講師 各公民館職員
8	10月 8日 (日)	松戸市	3 班	事務連絡	○現地見学会(公共交通機関利用) ～他市町における先進的な取り組み～	コーディネーター 事務局
9	11月 26日 (日)	佐倉白翠園	1 班	事務連絡	○地域の課題を考える(1) ～高齢社会から超高齢社会へ、 その社会が及ぼす課題～	佐倉白翠園 竹内 淳 氏
10	12月 10日 (日)	臼井公民館	2 班	事務連絡	○地域の課題を考える(2) ～青少年を取り巻く環境と課題～ 社会背景を考えよう	和洋女子大学准教授 佐藤まゆみ 氏
11	12月 17日 (日)	臼井公民館	3 班	事務連絡	○実践・現場から 自治会・学校支援・福祉施設支援等	自治人権推進課 自治会・町内会、 福祉施設支援等実践者
12	1月 21日 (日)	横浜市	1 班	事務連絡	○バス見学会 ～他市町における先進的な取り組み～	コーディネーター 事務局
13	2月 11日 (日)	臼井公民館	2 班	事務連絡	○地域の課題を考える(4) ～認知症の課題をもとに～	高齢者福祉課
14	2月 18日 (日)	臼井公民館	3 班	事務連絡	○研究発表【1・2年合同】 『地域が元気になる』実践方策	千葉大学准教授 清水 洋行 氏
15 ～ 18	4月～2月 (各班の計画による)				○自主学習	コーディネーター 事務局

平成29年度 コミュニティカレッジさくら 第2学年 実践講座 学習カリキュラム

学習時間		13:00～15:00	15:00～16:00	
回	日	テーマ	講師予定	H R
1	5月 14日 (日)	○地域活動を行うために(2) リスク管理 普通救命講習会	佐倉消防署	
2	5月 20日 (土)	○記念講演 「佐倉発 千葉共和国は可能か？」	千葉敬愛短期大学学長 明石 要一 氏	
3	6月 25日 (日)	○コミュニティについて(2) コミュニティについて語ろう	東洋学園大学専任講師 小山 弘美 氏	
4	7月 16日 (日)	○地域の様々な実践(2) ～実践者を囲んで子育て支援実践例～	千葉敬愛短期大学教授 吉村真理子 氏 子育て支援センター 児童センター	
①	7月 22日 (土)	○地域福祉と介護予防について	高齢者福祉課	
5	8月 27日 (日)	○コミュニティについて(4) 地方分権時代の佐倉の課題	千葉大学准教授 清水 洋行 氏	
6	9月 10日 (日)	○地域活動を行うために(4) NPO・まちづくり協議会等の設立	コーディネーター 事務局	
7	9月 24日 (日)	○コミュニティカレッジの目指すもの 【1・2年合同】 ～班の研究課題を見直そう～	コーディネーター 事務局	
②	10月 中旬～			
8	10月 8日 (日)	○現地見学会(公共交通機関利用) ～他市町における先進的な取り組み～	コーディネーター 事務局	研究発表に向けて
9	11月 26日 (日)	○福祉施設での体験実習	佐倉白翠園 竹内 淳 氏	
10	12月 10日 (日)	○地域の課題を考える(3) ～乳幼児・少年期の課題～ 児童虐待や家庭での孤立化等	和洋女子大学准教授 佐藤まゆみ 氏 児童青少年課	
11	12月 17日 (日)	○地域の様々な実践(4) ～防犯・防災・安全～ 防犯パトロール・自主防災・ガードボランティア	危機管理室	○地域の社会資源(1) ～防犯・防災・安全～
12	1月 21日 (日)	○バス見学会 ～他市町における先進的な取り組み～	コーディネーター 事務局	
13	2月 11日 (日)	○中間研究発表【1・2年合同】 『地域が元気になる』実践方策 ～班ごとの研究課題の経過発表～	千葉敬愛短期大学学長 明石 要一 氏	
14	2月 18日 (日)	○修了式【1・2年合同】	事務局 学長(佐倉市長)	

9月～2月 (各班の計画による)	○自主学习	コーディネーター 事務局
---------------------	-------	-----------------



### 佐倉学び塾 「裁判員制度と司法について考える」

①開設趣旨 本講座は、地域そのものや地域課題への関心を高める学習機会を提供することで「共に生き、支えあう」地域づくりに寄与する人材の育成を図る「コミュニティ事業・さくら学び塾（学びあい講座）」として、市民公募による講師の企画に基づき、開設する。

施行から8年を経た裁判員制度について検証し議論を深める。

②募集対象 成人 20人

③プログラム

回	実施日 (曜日)	学習内容	講師
1	11月18日 (土) 13:00~15:00	国民の司法参加について 裁判員制度の意義とは?	元東洋大学教授 黒沢 香
2	12月 2日 (土) 13:00~15:00	裁判員制度の基本 裁判員制度の現在の問題点	
3	12月16日 (土) 13:00~15:00	制度の評価 合衆国との対比 裁判員の仕事、役割	

④講座を終えて 裁判員制度の施行後、市民の司法参加への理解、制度の意義、目的について学習した。できれば裁判員に選ばれたくないという風潮を検証し、市民の日常的な判断が、裁判員の公平・公正な立場に求められることを理解した。

## 5. 団体育成事業

### 臼井地区子ども会育成会連絡協議会（臼井地区子連）

①開設趣旨 臼井地区の単位子ども会の発展を願い、関係機関団体との連携を図りながら、各育成会同士の情報交換や育成者の研修を行う。

②対象団体 7団体

③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	参加者
1	4月20日（木） 10:00～11:30	臼井地区子ども会育成会連絡協議会総会 安全会説明会	各単位子ども会役員 児童青少年課 地区子連事務局
2	8月19日（土） 13:00～20:00	「臼井ふるさとにぎわい祭」に参加 （模擬店出店・チャリティ寄付）	各単位子ども会役員 地区子連事務局
3	10月22日（日） 9:00～15:00	佐倉市中央交流フェスティバル ※選挙のため中止	地区子連役員 地区子連事務局
4	3月28日（水） 8:15～16:45	臼井地区子連子ども会員（小学6年生） 卒業バスハイキング	地区子連役員 地区子連事務局

### かたりべの会

①開設趣旨 昭和60年度の講座「民話を語る会」の受講生を中心に、昭和61年2月に発足。子どもにお話を語ることを目的に、毎月1回お話の練習として定例会を行っている。

②会員 25人

③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1～ 11	毎月1回 第2水曜日 4月12日, 5月10日, 6月14日, 7月12日, 9月13日, 10月11日, 11月8日, 12月13日, 1月10日, 2月14日, 3月14日 10:00～12:00	定例会を開催し、各人が覚えてきたお話を語り、感想を述べ合うことでおはなしの技術の向上を図る。	かたりべの会

## 6. 広報・展示事業

---

### 公民館だより

- ねらい 公民館事業などへの理解を深め積極的な参加を図るために情報提供する。
- 発行回数 年2回発行
- 発行部数 600部
- 配布方法 抽選会場及び各公民館等に配置

### まちづくり資料室の展示

- ねらい 臼井地区に関する歴史や遺跡等について理解と関心を深めるため、資料展示を行う。
- 展示期間 通年
- 展示パネル 「臼井に伝わる話」と題し、小学生から大人までを対象に臼井・千代田地区に伝わる昔話や伝説（『たんたん山』など）についてパネルによる展示資料で紹介し、地域に関心を寄せてもらう機会とした。

### 展示室の貸出し

- 市民ギャラリーとして、広く市民の日頃の活動の発表・展示の場として提供している。グループの発表に使いやすい施設との評判があり、年間で27前後の利用団体がある。
- 開室日・開室時間 月（第1・3・5）・火・木・日曜日 9:00～17:00  
水・金・土曜日 9:00～21:00
- 休 室 日 第2・4月曜日、年末年始等
- 使用について 予約受けは6ヶ月前から  
貸出期間は1団体、火曜日から日曜日までの6日間を基本とする。
- 利用団体数 27団体
- 観覧者数 9,724人
- 使用料について 原則として無料。但し、個展・〇〇先生展・〇〇教室展示会等営利や売名行為的内容のあるものや、市外の方の使用については有料とする。  
使用料 午前960円、午後1,280円、夜間1,260円

・29年度開催展示会一覧

※ 入場者数は主催者届出による

番号	行事	主催者 (ジャンル)	期日	入場者
1	第26回刻字展	佐倉刻字愛好会	4/18 ~ 4/23	361
2	翔 第28回作品展	翔	5/9 ~ 5/14	423
3	佐倉写真連盟	文化課	5/31 ~ 6/4	343
4	第24回ふれあい作品展	臼井ルネサンス会	5/24 ~ 5/28	919
5	第7回水彩仲間18作品展	水彩仲間18	6/14 ~ 6/18	414
6	杉の子展	杉の子	6/27 ~ 7/2	515
7	木版画作品展	佐倉木版画の会	7/4 ~ 7/8	277
8	第17回アビロン絵画展	水彩画グループ AVIRON	7/18 ~ 7/23	684
9	和田機織り保存会	和田機織り保存会	8/1 ~ 8/9	203
10	元気庵展示の会	元気庵	8/15 ~ 8/16	56
11	第15回春秋展	春秋会	8/20 ~ 8/25	603
12	市高連作品展	高齢者福祉課	9/5 ~ 9/8	349
13	第9回サークルK水彩画	サークルK	9/19 ~ 9/23	244
14	市民文化祭手工芸展	文化課	10/4 ~ 10/8	476
15	Art of Pradaise 8	リブ フォーエバー	11/1 ~ 11/5	225
16	「創」第2回作品展	絵画サークル「創」	11/6 ~ 11/10	367
17	第4回水彩展 SAIMONKAI	柴門会	11/14 ~ 11/18	251
18	第26回作品発表会	佐倉SC写真同好会	11/21 ~ 11/26	420
19	うすい竹の子会	文化課	11/28 ~ 12/3	352
20	しづ美術サークル作品展	しづ美術サークル	12/5 ~ 12/10	326
21	第10回吐夢展	吐夢の会	12/19 ~ 12/24	361
22	伝統文化親子いけばな作品展	伝統文化いけばなサークルひまわり	1/27 ~ 1/28	111
23	永劫不変	順天堂大学硬式野球部の球跡実行委員会	1/31 ~ 2/3	136
24	第13回ワールサークル絵画展	ワールサークル	3/6 ~ 3/11	340
25	第9回あすなろ画会水彩画展	あすなろ画会	3/13 ~ 3/18	363
26	白蝶会絵画展	白蝶会	3/19 ~ 3/25	357
27	グループ木彫作品展	グループ木彫	3/28 ~ 4/1	248
計		27団体		9,724

## 7. 図書事業

○開室日・開室時間 火（第1火曜日を除く）～日曜日 9:00～17:00

○休 室 日 月曜日・第1火曜日・年末年始・特別整理期間

（月曜・第1火曜日が祝日の場合は次の平日）

○貸 出 方 法 登録制で貸出券による。

1回につき1人10冊まで15日間貸出する。

○蔵 書 数

・一般図書	27,892冊	・郷土資料	1,974冊
（音楽関係図書を含む）		・その他	55冊
・児童図書	11,327冊	・楽 譜	4,181冊
・洋 書	36冊	・参考図書	649冊
・蔵書冊数	47,054冊（平成30年3月末現在）		
・雑 誌	25誌	・新 聞（朝刊）	8紙

○月別図書室利用状況

月 区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
利用者数 (人)	4,662	4,626	4,709	4,800	5,066	4,664	4,599	4,531	4,166	4,369	2,614	4,865	53,671
貸出冊数 (冊)	12,011	12,005	12,328	12,529	13,040	11,835	11,916	11,552	11,022	11,480	7,183	13,141	140,042
開館日数 (日)	25	25	25	25	26	25	25	25	22	23	12	26	284

※2月はシステムの更新に伴い2月16日から28日まで休館。

※白井公民館図書室は図書館の分館的な機能を持ちながら、市民音楽ホールとの複合施設としての特殊性と地域性を考慮しつつ、児童・一般図書その他、楽譜・音楽関係図書の充実を図ることにより、特色ある図書室運営を目指している。

平成29年度 佐倉市立公民館のまとめ

発行 佐倉市立公民館